

音更町まちづくり町民アンケート 結果報告書

平成21年3月

音更町

もくじ

1	調査の概要	1
2	回答者について	2
	(ア)性別	2
	(イ)年齢	3
	(ウ)出生地	4
	(エ)職業	4
	(オ)居住行政区(町内会)名	4
	(カ)勤務地または通学地	5
	(キ)音更町での居住年数	5
3	設問別調査結果	6
	【問1】音更町での暮らしについて	6
	【問1】-2 今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目	12
	【問1】-2 今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目(記述)	14
	【問2】音更町の住み良さ	24
	【問3】音更町への定住意向	27
	【問4】町外に移りたいと思う主な理由	30
	【問5】音更町の将来像	32
	【問6】特に力を注ぐべき産業振興	35
	【問7】今後力を注ぐべき農業振興	37
	【問8】農業とのかかわりを深めるためにしたい(できる)こと	40
	【問9】行政運営(まちづくり)や町民参加について	42
	【問10】町民協働のまちづくりで重要なこと	50
	【問11】参加したいまちづくり活動	52
	【問12】町政(まちづくり)や地域に関する情報を伝えるために重視すべき方法	55
	【問13】町政(まちづくり)や地域の情報で欲しい内容	57
	【問14】「広報おとふけ」と町のホームページを読む程度	59
	【問15】「広報おとふけ」とホームページの改善点	63
	【問16】これからの行政サービスのあり方	67
	【問17】重点をおくべき行政改革	70
	【問18】なくしても良いと思う制度、施設、事業など	72
	【問19】まちづくりへのアイデアや提案	75
4	アンケート票	91

1 調査の概要

調査の目的

この調査は、「音更町新総合計画」を策定するにあたり、住民のみなさまを対象に、暮らしの中で感じる意識や意向、まちづくりへの評価、意見や提案などを把握し、計画策定の基礎資料にするため実施したものです。

調査の実施方法などについては、次のとおりです。

実施時期：平成20年12月

実施地域：音更町全域

対象者(数)：音更町に住む18歳以上の住民から無作為に抽出した3,000名

調査方法：郵送にて配布・回収(回答は無記名)

回収状況

配布数：3,000票

回収数：1,272票 (回収率42.4%)

集計・表記方法

- ・比較や順位付けは回答率(一部では加重平均値)で行っており、“高い”“低い”という表現は、回答率の高低を意味しています。
- ・集計は各属性で行っていますが、本報告書では、「全体」のほか、特徴のある属性のみ、コメントしています。
- ・集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から1つだけ選び回答する設問では、構成比の和が100.0%にならないことがあります。
- ・属性別の集計結果については、属性の無回答者を除いて表示しているため、総数と異なる場合があります。
- ・本文やグラフ中の選択肢は、調査票の言葉を短縮しているものがあります。
- ・自由記述回答については、回答者の実際の記述事項を整理・要約して掲載しています。同じ内容のものについてはまとめ、回答数を()に示しています。

調査の実施機関

企画・編集：音更町 企画部 企画課

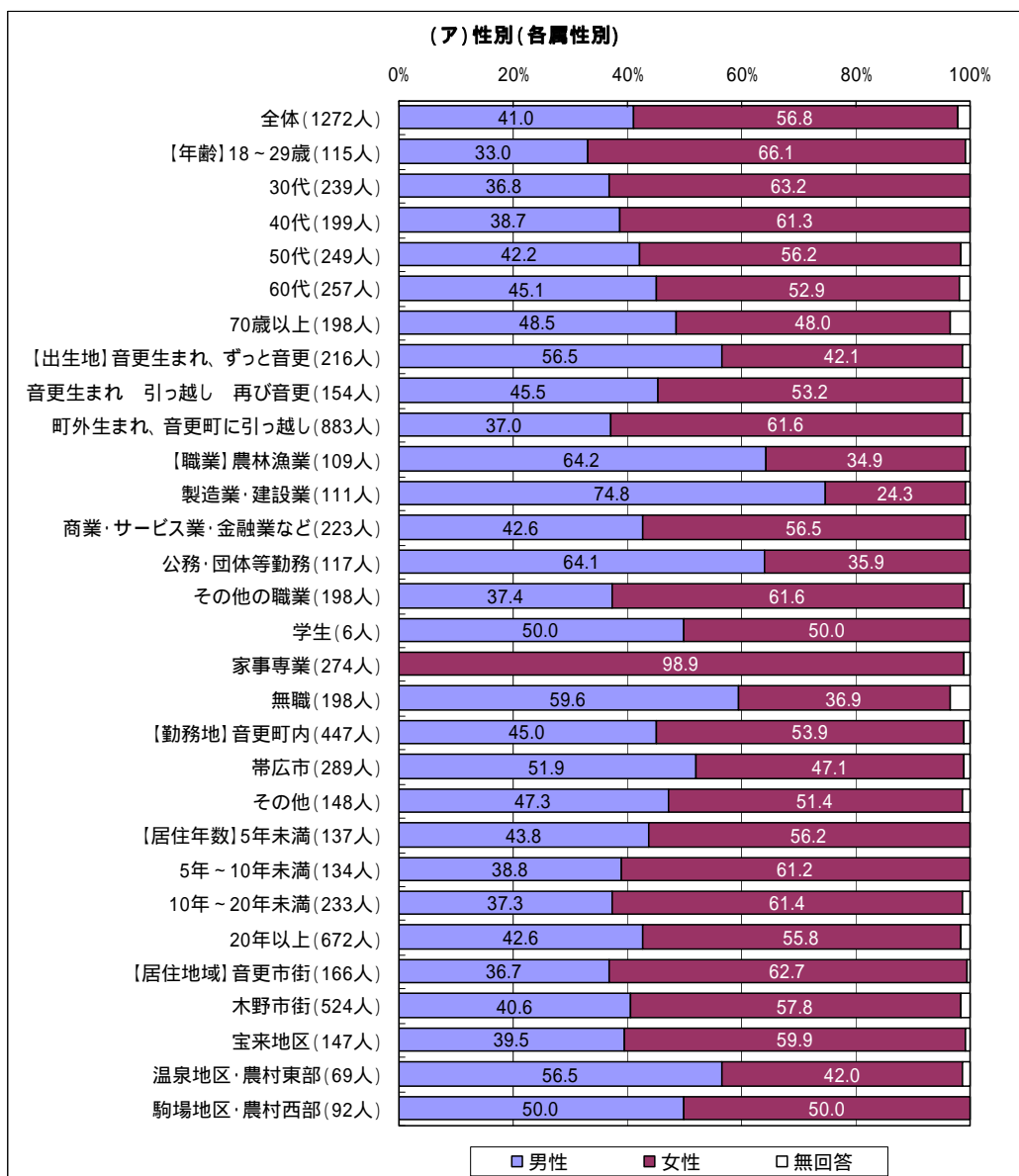
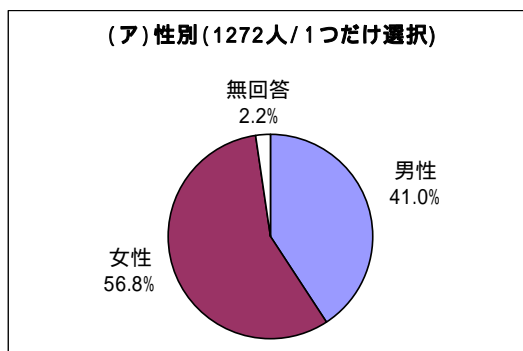
集計・分析：株式会社 日本コンサルタントグループ

2 回答者について

はじめに、回答される方についておたずねします。次の各項目について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。(居住地については記述)

(ア) 性別

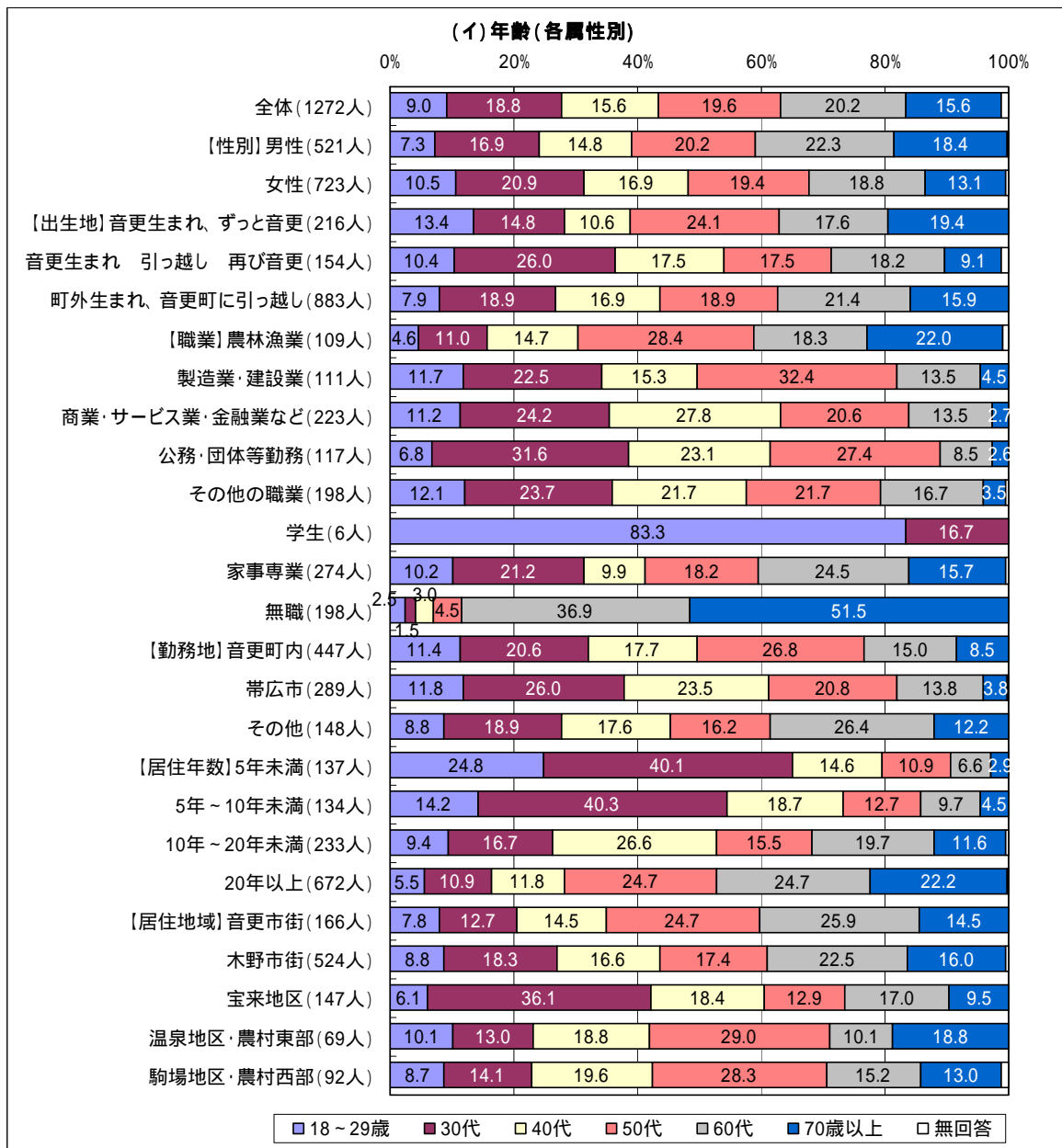
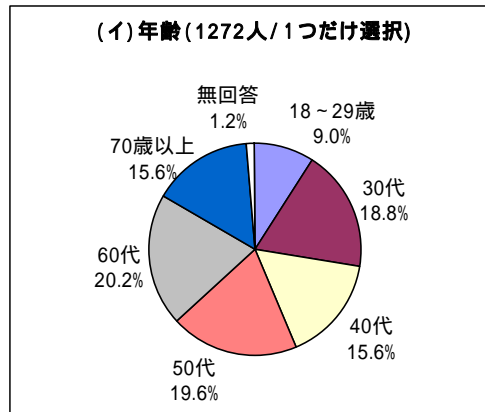
性別で比較すると、「女性」が56.8%、「男性」が41.0%で、女性が多めです。
年齢ごとの性別をみると、年齢が高まるにつれて「男性」の割合が高くなっています。



(イ) 年齢

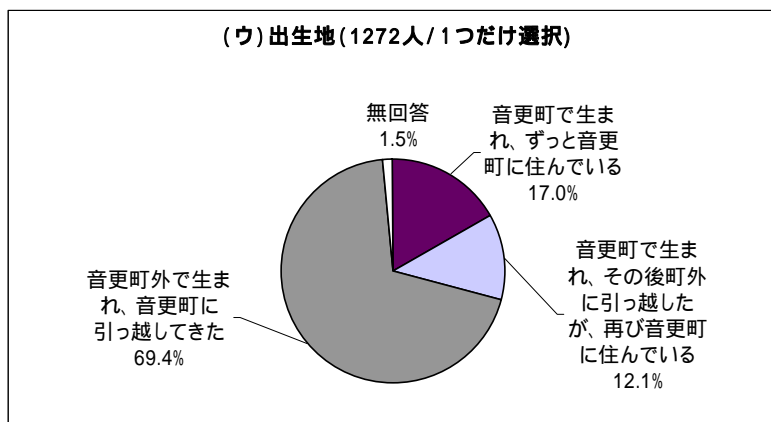
「60代」(20.2%)が最も多く、「50代」(19.6%)で続きます。最も少ないのは「18～29歳」(9.0%)です。

性別ごとの年齢内訳をみると、男性は70歳以上、女性は30代が最多です。



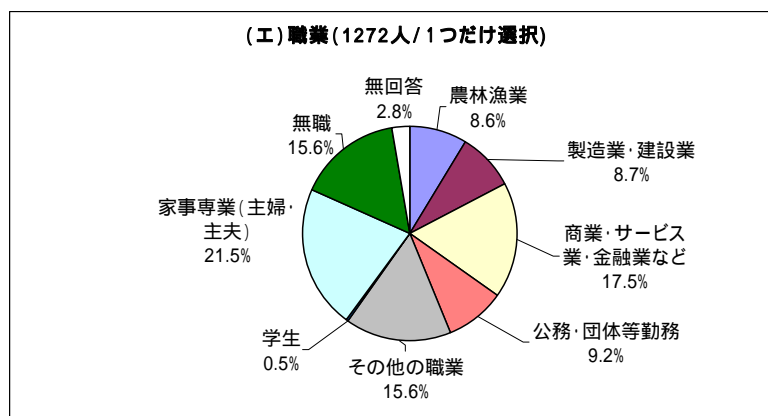
(ウ) 出生地

「音更町外で生まれ、音更町に引っ越してきた」(69.4%) が最も多く、「音更町で生まれ、ずっと音更町に住んでいる」(17.0%)、「音更町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び音更町に住んでいる」(12.1%) と続きます。



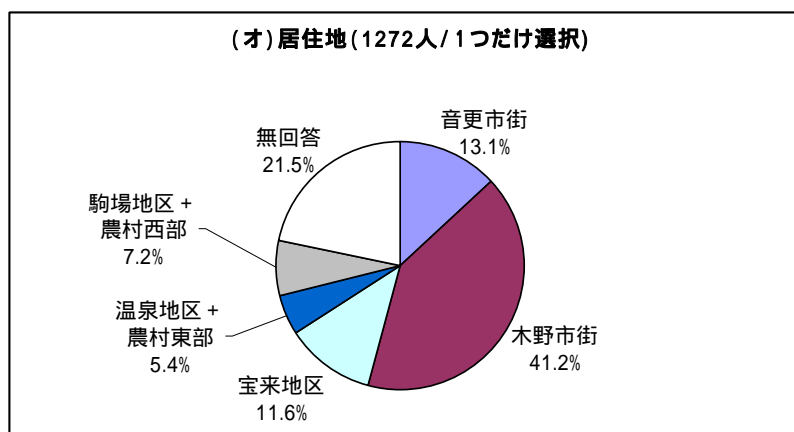
(エ) 職業

「家事専業(主婦・主夫)」(21.5%) が最も多く、「商業・サービス業・金融業など」(17.5%) が続きます。



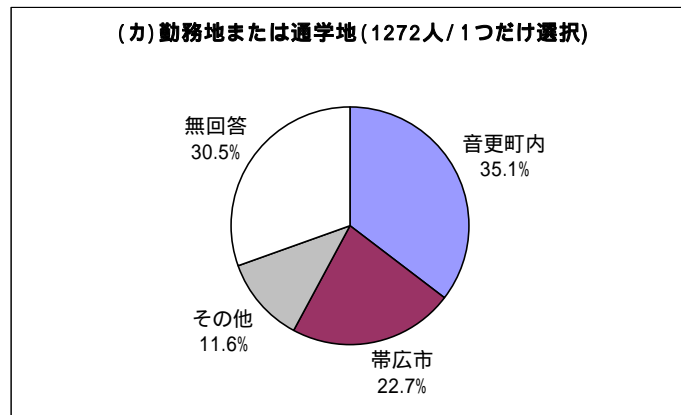
(オ) 居住行政区(町内会)名

「木野市街」(41.2%) が最も多く、「音更市街」(13.1%) が続きます。また、無回答が約2割を占めます。



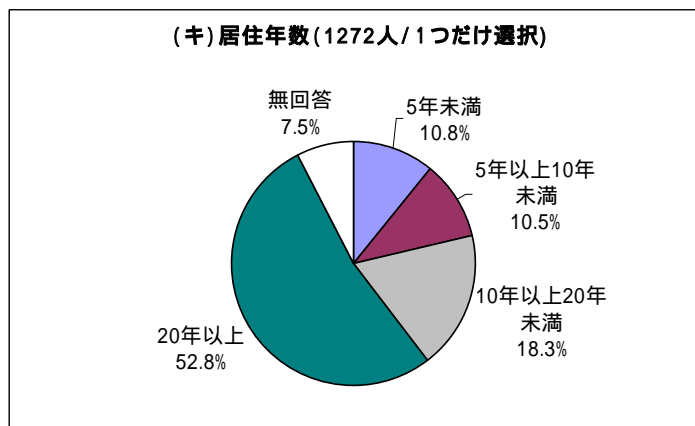
(カ) 勤務地または通学地

「音更町内」(35.1%) が最も多く、「帯広市」(22.7%) が続きます。



(キ) 音更町での居住年数

「20年以上」(52.8%) が最も多く、「10年以上20年未満」(18.3%) が続きます。「5年未満」と「5年以上10年未満」はそれぞれ約1割を占めます。



3 設問別調査結果

【問1】音更町での暮らしについて

【問1】音更町での暮らしについて、各分野の【現在の「満足度」】と、【今後の「重要度」】をおたずねします。下の「満足度」と「重要度」の各選択肢（A～E）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

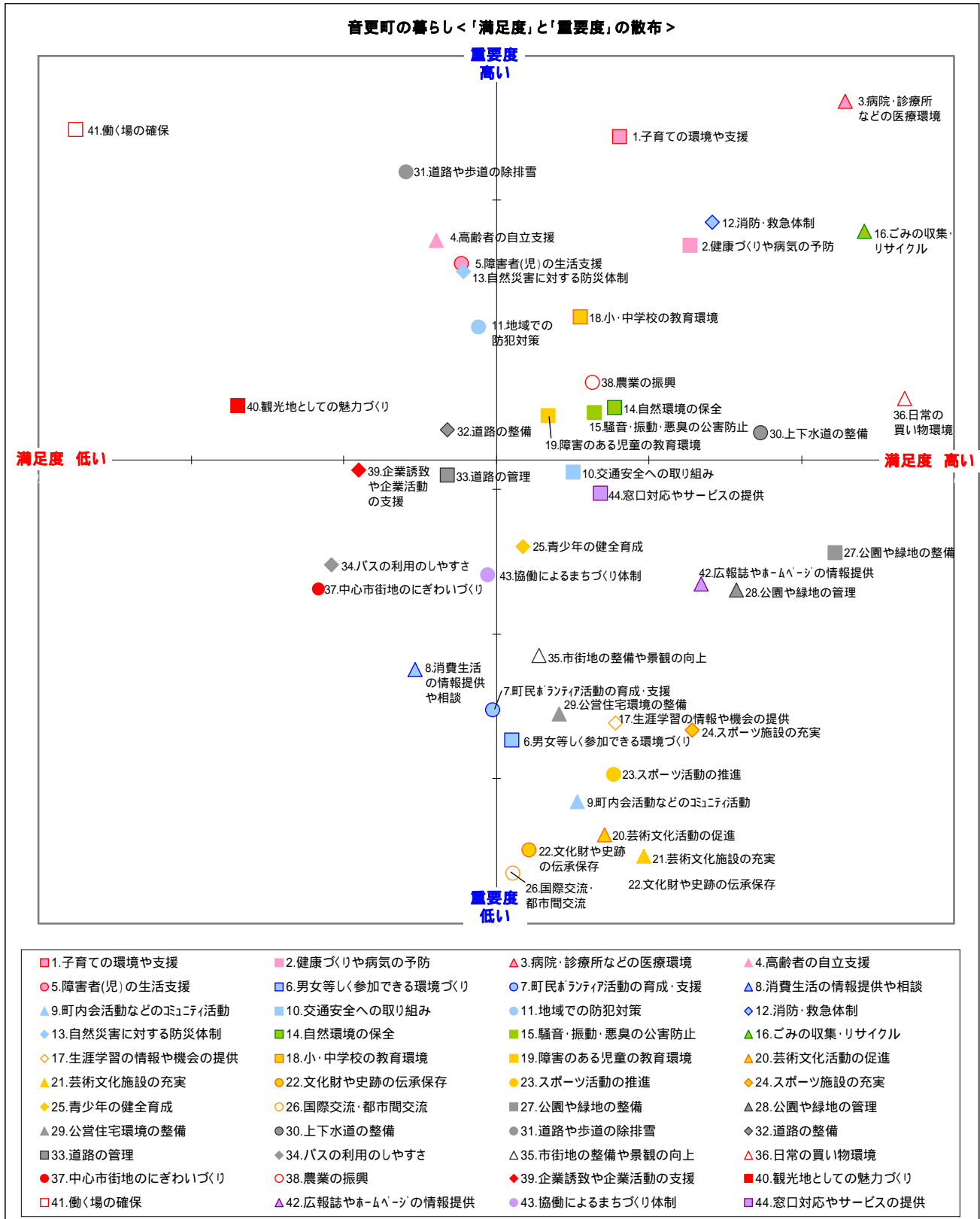
加重平均値を算出すると、「満足度」で最も値が高かったのは「36. 日常の買い物環境」(0.54)で、最も低かったのは「41. 働く場の確保」(-0.55)です。

「重要度」で最も値が高かったのは「3. 病院・診療所などの医療環境」(1.34)で、最も低かったのは「26. 国際交流・都市間交流」(0.27)です。

	満足度の加重平均	重要度の加重平均
1.子育ての環境や支援	0.16	1.29
2.健康づくりや病気の予防	0.25	1.14
3.病院・診療所などの医療環境	0.46	1.34
4.高齢者の自立支援	-0.08	1.15
5.障害者(児)の生活支援	-0.05	1.11
6.男女等しく参加できる環境づくり	0.02	0.45
7.町民ボランティア活動の育成・支援	0.00	0.49
8.消費生活の情報提供や相談	-0.11	0.55
9.町内会活動などのコミュニティ活動	0.11	0.37
10.交通安全への取り組み	0.10	0.82
11.地域での防犯対策	-0.02	1.02
12.消防・救急体制	0.28	1.17
13.自然災害に対する防災体制	-0.04	1.10
14.自然環境の保全	0.16	0.91
15.騒音・振動・悪臭の公害防止	0.13	0.91
16.ごみの収集・リサイクル	0.48	1.16
17.生涯学習の情報や機会の提供	0.16	0.48
18.小・中学校の教育環境	0.11	1.04
19.障害のある児童の教育環境	0.07	0.90
20.芸術文化活動の促進	0.14	0.32
21.芸術文化施設の充実	0.19	0.29
22.文化財や史跡の伝承保存	0.04	0.30
23.スポーツ活動の推進	0.15	0.41
24.スポーツ施設の充実	0.26	0.47
25.青少年の健全育成	0.03	0.72
26.国際交流・都市間交流	0.02	0.27
27.公園や緑地の整備	0.44	0.71
28.公園や緑地の管理	0.32	0.66
29.公営住宅環境の整備	0.08	0.49
30.上下水道の整備	0.35	0.88
31.道路や歩道の除排雪	-0.12	1.24
32.道路の整備	-0.06	0.88
33.道路の管理	-0.06	0.82
34.バスの利用のしやすさ	-0.22	0.70
35.市街地の整備や景観の向上	0.06	0.57
36.日常の買い物環境	0.54	0.93
37.中心市街地のにぎわいづくり	-0.23	0.66
38.農業の振興	0.13	0.95
39.企業誘致や企業活動の支援	-0.18	0.83
40.観光地としての魅力づくり	-0.34	0.92
41.働く場の確保	-0.55	1.30
42.広報誌やホームページの情報提供	0.27	0.67
43.協働によるまちづくり体制	-0.01	0.68
44.窓口対応やサービスの提供	0.14	0.80

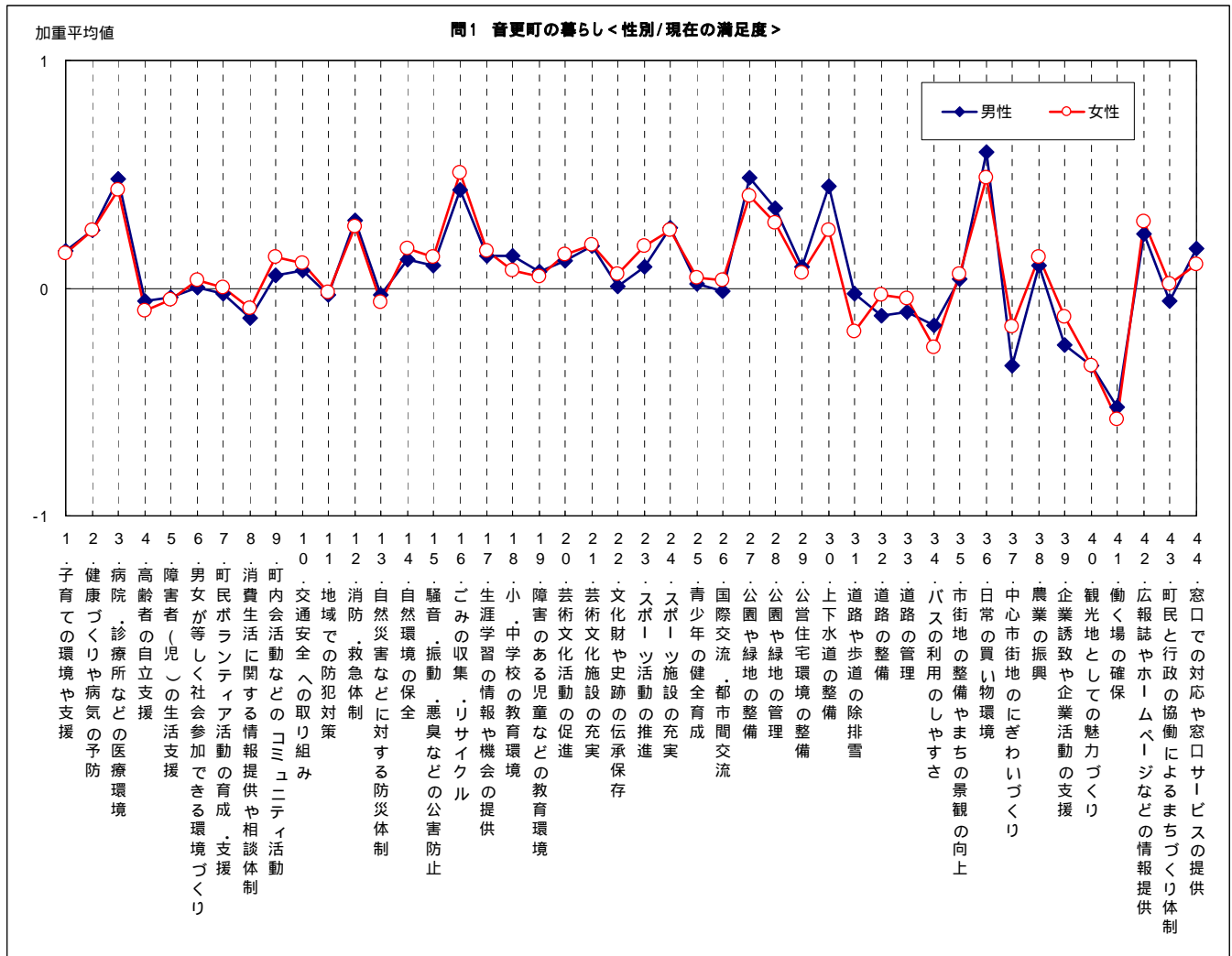
回答者数によって平均値を算出したものを「加重平均」といいます。
 満足度の算出：(満足×2+やや満足×1+やや不満×-1+不満×-2)÷回答者数
 重要度の算出：(重要×2+やや重要×1+あまり重要でない×-1+重要でない×-2)÷回答者数
 数値の範囲は-2～+2の間で、-2に近いほど評価は低く、+2に近いほど評価は高い、とみます。

44 項目の満足度、重要度の加重平均値の分布を相対的に比較してみると、
 “満足度が低く重要度が高い”のは「41.働く場所の確保」、
 “満足度も重要度もともに高い”のは「3.病院・診療所などの医療環境」や「16.ごみの収集・リサイクル」、
 “満足度が高く、重要度は低い”のは「27.公園や緑地の整備」などであることが分かります。



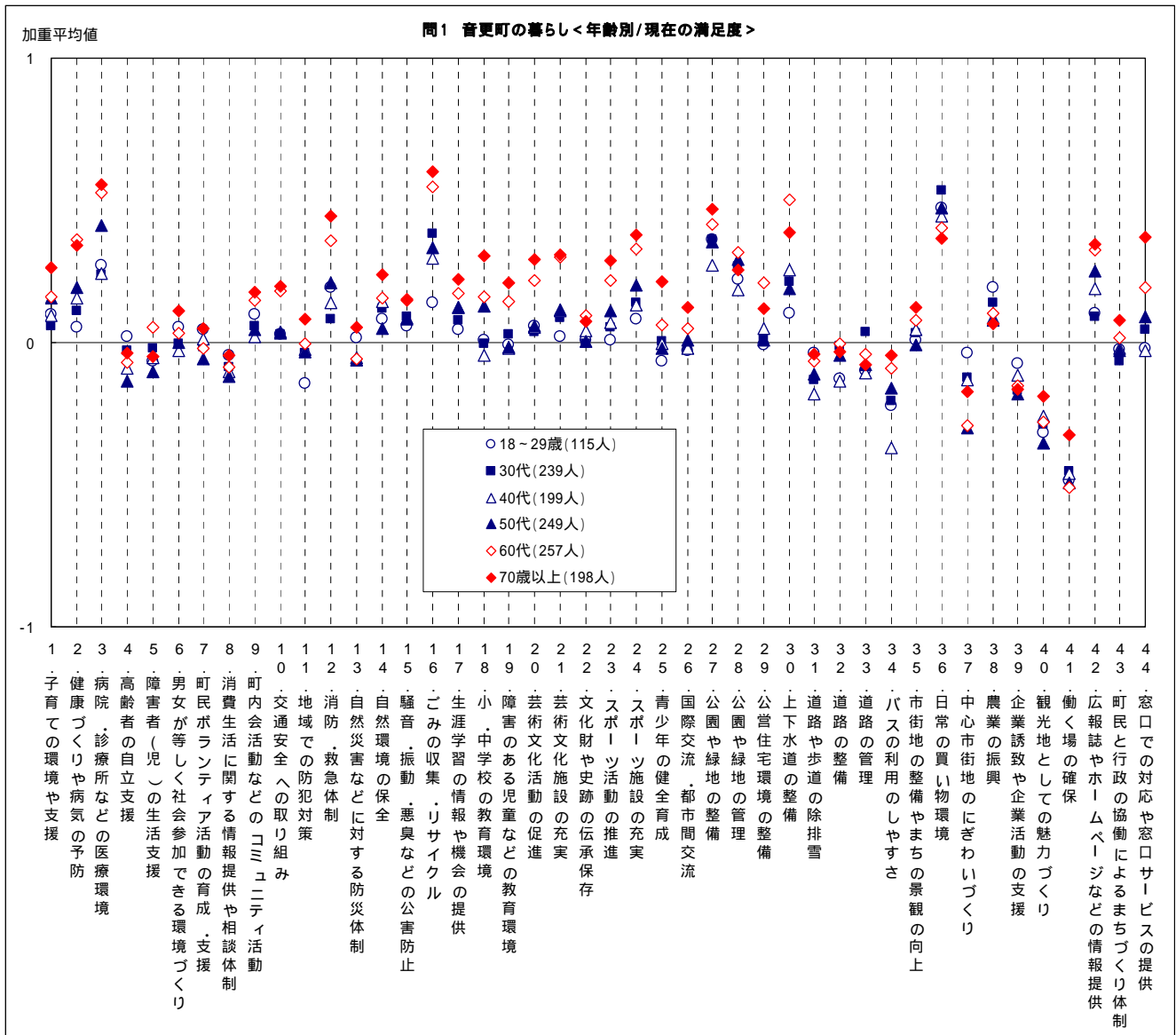
< 満足度について/性別 >

性別にみると、「30.上下水道の整備」や「31.道路や歩道の除排雪」では女性の満足度が男性より低く、「37.中心市街地のにぎわいづくり」では男性の満足度が女性より低くなっており、それぞれ男女の差がみられます。



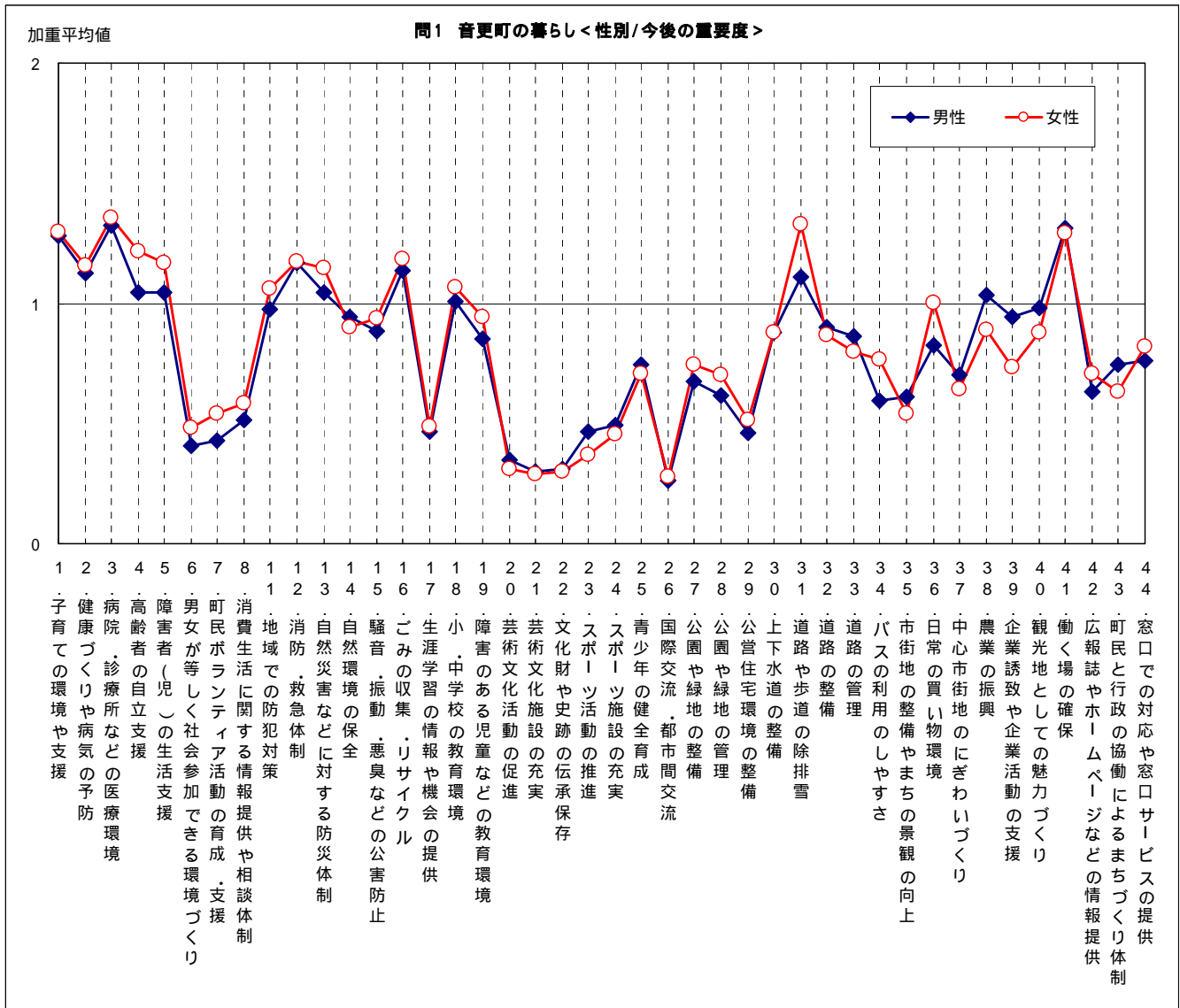
< 満足度について/年齢別 >

年齢別にみると、60代、70歳以上といった高い年代の満足度が、全体的に高くなっています。一方、「37.中心市街地のにぎわいづくり」や「38.農業の振興」などは若い年代の満足度が高くなっています。



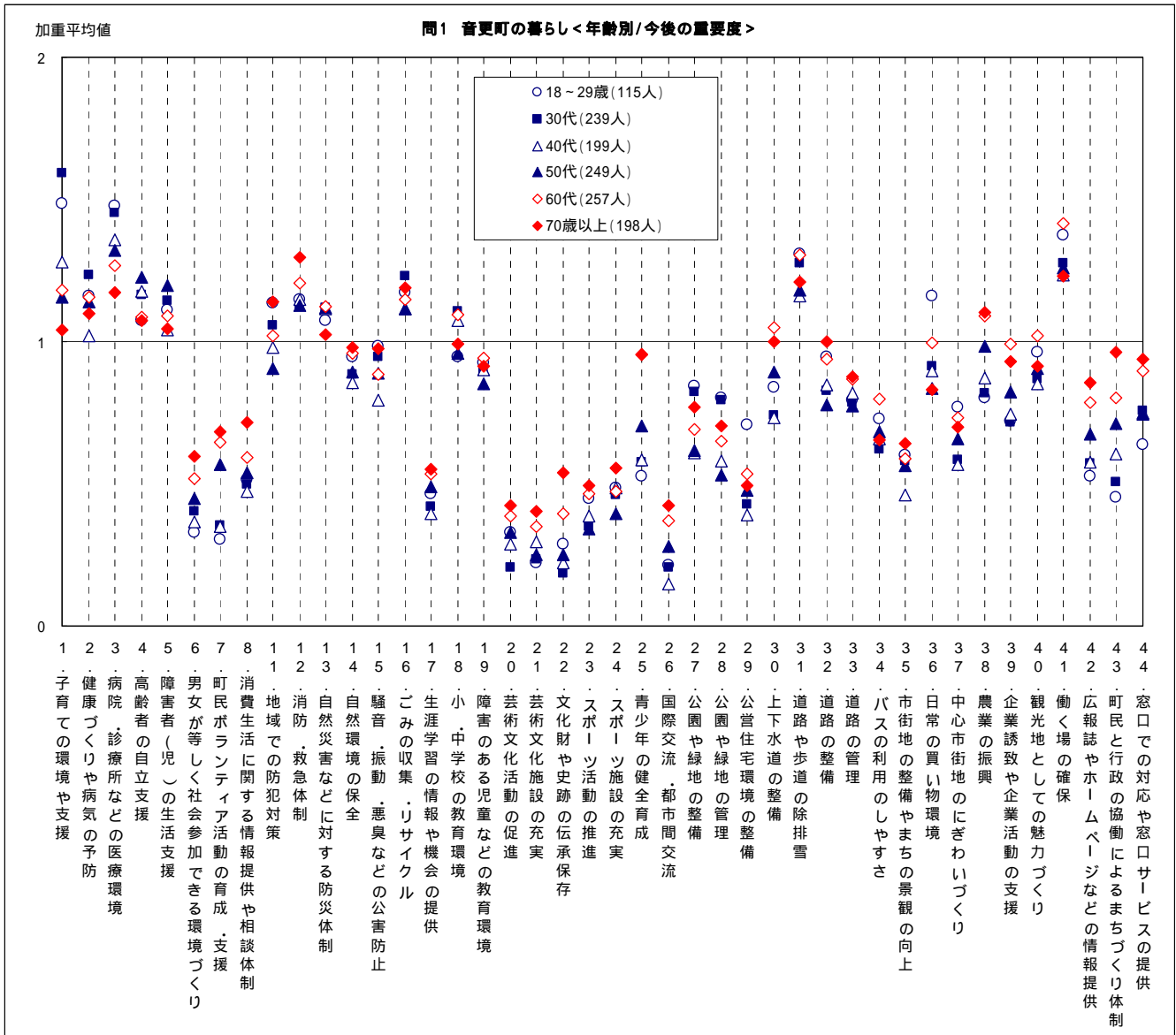
< 重要度について/性別 >

性別にみると、「4.高齢者の自立支援」「31.道路や歩道の除排雪」「34.バスの利用のしやすさ」「36.日常の買い物環境」では女性の重要度が男性より高く、「38.農業の振興」「39.企業誘致や企業活動の支援」では男性の重要度が女性より高くなっており、それぞれ男女の差がみられます。



< 重要度について/年齢別 >

年齢別にみると、60代、70歳以上といった高い年代の重要度が、比較的高くなっています。
 一方、「1.子育ての環境や支援」や「3.病院・診療所などの医療環境」などは若い年代の重要度が高くなっています。
 また、「25.青少年の健全育成」では70歳以上、「36.日常の買い物環境」では18～19歳の数値が、他に比べて高く、差がみられます。

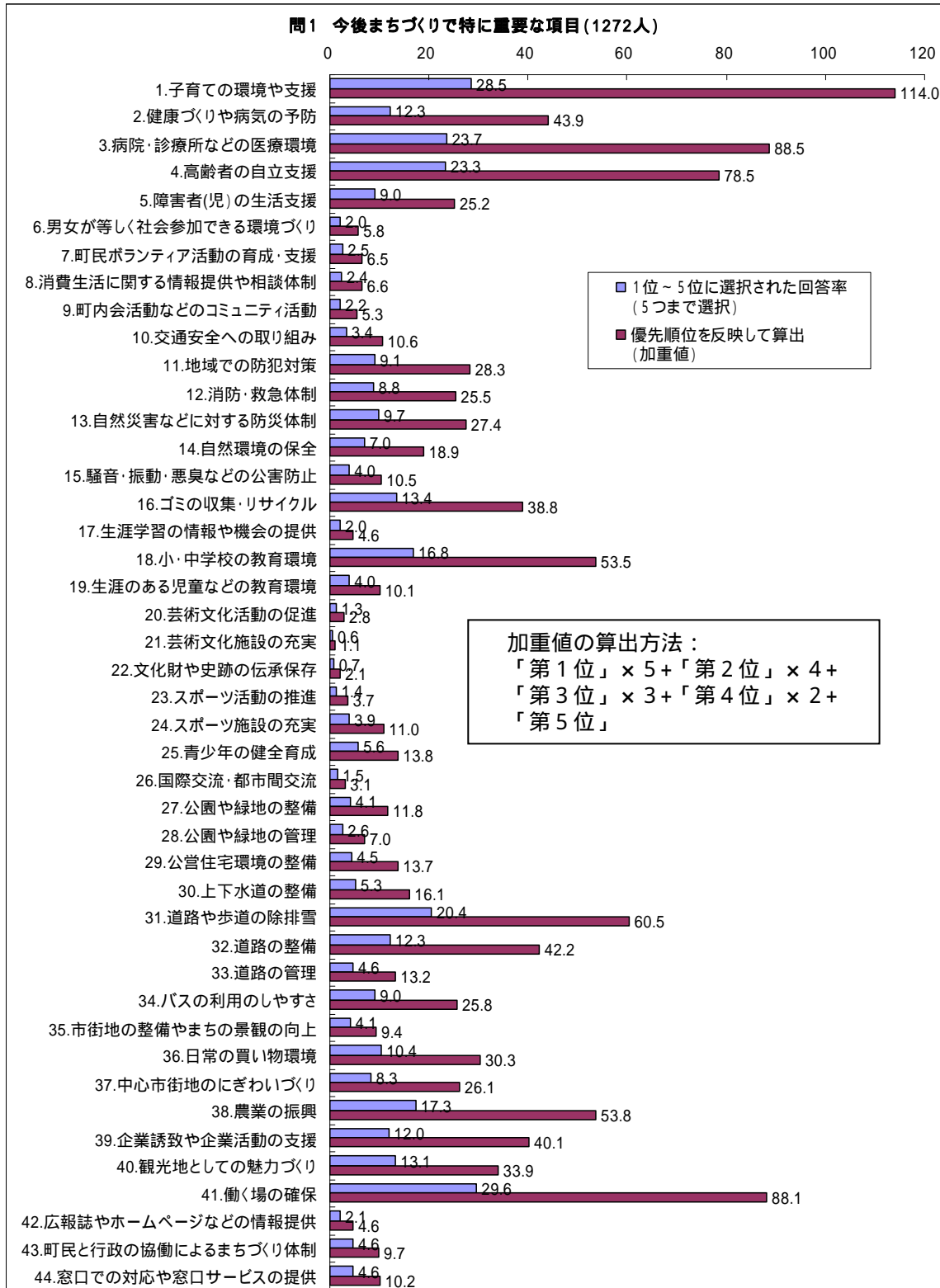


【問1】-2 今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目

上の全 44 項目の中で、今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目を優先順位の高いものから 5 つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

第 1 位から 5 位までに選択された回答率を比較すると「41.働く場の確保」が最も高く、「1.子育ての環境や支援」、「3.病院・診療所などの医療環境」、「4.高齢者の自立支援」が続きます。

また、優先順位の高さにあわせて加重を与え、合計した数値（加重値）で比較すると、「1.子育ての環境や支援」が最も高く、「3.病院・診療所などの医療環境」が第 2 位となり、「41.働く場の確保」「4.高齢者の自立支援」が続きます。



加重値での順位を性別でみると、男女とも「1.子育ての環境や支援」が第1位ですが、女性の方が高くなっています。第2位については、男性は「3.病院・診療所などの医療環境」、女性は「4.高齢者の自立支援」をそれぞれあげています。

加重値での順位を年齢別でみると、18～29歳、30代、40代、60代では「1.子育ての環境や支援」を第1位にあげていますが、特に18～29歳と30代の若い世代で高くなっています。また、50代では「41.働く場の確保」、70歳以上では「4.高齢者の自立支援」をそれぞれ第1位にあげています。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性別	男性 (521人)	1.子育ての環境や支援	3.病院・診療所などの医療環境	41.働く場の確保	38.農業の振興	39.企業誘致や企業活動の支援 4.高齢者の自立支援
		101.7	95.2	92.1	75.8	64.1
性別	女性 (723人)	1.子育ての環境や支援	4.高齢者の自立支援	41.働く場の確保	3.病院・診療所などの医療環境	31.道路や歩道の除排雪
		125.0	90.3	86.0	84.8	67.6
年齢別	18～29歳 (115人)	1.子育ての環境や支援	41.働く場の確保	3.病院・診療所などの医療環境	31.道路や歩道の除排雪	16.ゴミの収集・リサイクル
		181.7	113.9	97.4	63.5	54.8
	30代 (239人)	1.子育ての環境や支援	3.病院・診療所などの医療環境	18.小・中学校の教育環境	41.働く場の確保	31.道路や歩道の除排雪
		196.7	91.6	86.2	75.7	62.8
	40代 (199人)	1.子育ての環境や支援	3.病院・診療所などの医療環境 18.小・中学校の教育環境		41.働く場の確保	4.高齢者の自立支援
		122.6	92.0		86.9	83.4
	50代 (249人)	41.働く場の確保	4.高齢者の自立支援	3.病院・診療所などの医療環境	1.子育ての環境や支援	31.道路や歩道の除排雪
		121.3	110.8	105.6	86.3	74.3
	60代 (257人)	1.子育ての環境や支援	3.病院・診療所などの医療環境	4.高齢者の自立支援	41.働く場の確保	38.農業の振興
		91.4	91.1	86.8	86.4	63.0
	70歳以上 (198人)	4.高齢者の自立支援	32.道路の整備	38.農業の振興	31.道路や歩道の除排雪 3.病院・診療所などの医療環境	
		72.7	55.6	55.1	53.0	

【問1】-2 今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目（記述）

また、限られた予算の中で、どのようなことが実施できるか（すべきか）具体的に考えられるものがあればご記入ください。

1.子育ての環境や支援

- 保育所の充実/保育所の増加（14）
- 保育料を安く/保育料の助成（6）
- 年末年始保育園の休みが長すぎる。一般企業と同期間程度に（12/30～1/5 休み 1/3 まで）
- 待機児童の解消（5）
- 子育て支援施設の充実
- 保育園等を日曜、祭日も行ける様に。日、祭日も仕事があります。夜も預かってほしい。
- 子供が風邪などひいていてもみてくれるような所があれば働きやすいのですが
- ベビーシッターなどの充実

- 子供の医療費控除の年齢をもう少し長く/小学生まで無料に/未就学児は医療費無料、小学生1割に/子どもの医療費を中学生まで無料にしている自治体がある。音更町でもやって欲しい（9）
- 産科医院の配備が必要/産科や婦人科がないために帯広まで行くのはつらい（2）
- 健診の数を増やしてほしい/芽室町は妊婦検診券が10回分も発行されている。もっと回数か金額を増やしてはどうか（3）
- 妊婦健診費用の補助（2）
- 乳幼児予防接種（インフルエンザ含む）の一部助成
- 出産費用の助成拡大
- 子供のフッ素を無料にしてほしい
- 児童手当の充実/金銭支援/子供がいる世帯に減税すべき（5）

- 子育ての相談窓口を増やす/若い母親が孤立しない様に配慮する（3）
- 支援センターの増加（3）
- 子供がのびのびと遊べる場所を/子どもが安心して遊べる場を（3）
- 小さい子のあそび場（冬）を増して欲しい/児童の冬期の室内あそび場がほしい（3）

- 学童の時間帯など/学童の19時までの預かり（2）
- 学童の朝の時間（冬休みなど）8時半からではおそすぎるので7時半くらいから見てもらえるとありがたい。/学童をのばしてほしい（2）
- 学童保育所ですが帯広市は19時、音更町が18時となっています。人件費の問題などむずかしいと思いますができれば同じにしてほしいです
- 放課後の子供達の居場所
- 家計を支える者がしっかり収入を得る事が出来れば子育ても安心して出来ると思うので働く場の確保を/子どもがいても安心して働ける環境（2）
- もっと参加しやすい子育て支援
- 公共の場へ子供連れでも不便なく行ける様に。例えば授乳室、おむつ替えトイレを増やす
- 子育て支援の内容をわかりやすくPRすると、もっと多くの人が利用できると思う
- 子育て中の親を集めて楽しい講話会を開く
- サークル活動の支援
- 未就園児と母親のイベント、行事の充実
- 孤独でつらい子育てにならないよう息抜きできる仲間作り
- 教育にもっと力を入れてほしい。各会館などをまわってあそびの場を提供するとか
- 住宅も支援の一つです
- 帯広市では0歳4ヶ月健診の時に絵本のプレゼントがあるのに音更はない
- 広報などでもっと情報提供する

2.健康づくりや病気の予防

- 予防接種などの補助負担/予防注射の金額が高い/インフルエンザ予防接種6才未満も高齢と同金額にして欲しい(4)
- 集団検診の充実(実施回数は増す)/健康診断の奨励/定期検診を毎年出来る様にする/健診を常に受けられることが、健康づくりに役立つ(4)
- 予防接種の推進(2)
- 町内でインフルエンザ注射の金額統一して欲しい(医療機関で全々ちがう)
- 検診料の見直し/自己負担を少し多くする(2)
- 定期健康診断の補助金(専門科目)
- 医療費の割引/医療費の軽減化(2)
- 乳ガン検診など早期発見と言われているのに、該当年齢が高く受けられない。
- 通院していても補助が受けたい
- 温泉療養のための交通便を考えてほしい

- ウォーキングできる環境を整える/ウォーキングロードや、ジョギングロードの完備(3)
- 講演会や料理講習会など(2)
- 保健センターにある体操・運動の設備のPR
- 居住行政区での活動の重視
- 自分の体は自分で守る。日々の暮しに意識するよう働きかけてほしい
- 自分が病気になると、自分が払う病院代以外にどれだけのお金を保険や市町村が負担しているか知らせて、健康の大切さを伝える
- メタボ健診のPR
- 木野地区などにドームのようなものを作ってもらって今から50才ぐらいから未病をアピール

3.病院・診療所などの医療環境

- 病院・診療所などの医療環境の充実/安心してかかれる病院の確立/医療の充実/総合病院を/信頼できる病院を(27)
- 優秀な医師確保/医師とのコミュニケーションで医師が増える環境を(5)
- 産婦人科が必要(5)
- 高齢者に関わる医療施設の充実
- 皮膚科が少ない
- いい整形外科があったらいい
- IC、PT、ICU、設置の病院
- 内科が町の大きさからみると少ないような気がする
- スポーツドクターのいる病院を増やして欲しい。帯広まで行くのは大変です
- 夜間診療・休日診療の充実(診療科全般)
- 急病の時、時間外でも診療を受けられるような医療体制の充実
- 緊急時に対応できる病院がほしい
- 病院からのアピールが欲しい
- あと一時間診療時間が延長されれば、仕事帰りに通院できるので時間延長
- 時間外土・日・祝日の当番院をそれを広報誌に
- 日祭日、夜間の救急時相談できる場所があるとよい
- 夜間救急病院があるが、整形外科、脳外がないため救急性に欠け死亡率がふえる
- 夜間における小児医療において安心感が欲しい
- 病院等の紹介や、交通経路、休日、体制についてに回覧等で知らせる等のサービスがあれば
- 音更町内の病院の案内一覧を作成

- 予防医療の具体化/予防医学を推奨したら(2)

- 中央に大きな病院が集まっているのでアクセスを便利にする
- 病院のある場所を必要としている人の居住地が離れている
- 病院が中心部に集中して農村部では交通で苦労
- 町内外の病院間の連携体制の整備、システム作り
- 保健センターや種々の医療機関の連携をもっと円滑に
- 音更町内の地域医療ネットワークづくりが重要。管内の連携も重要
- 在宅で安心して療養できる環境づくり

4.高齢者の自立支援

- 高齢者の介護施設、老健施設の充実（４）
- グループホームを増やしてほしい（３）
- 家庭で老人の世話をするのは限度があるので安い老人ホームを増やしてほしい
- 高齢者が入りたくても施設料が高かかわいそう
- 年金で暮らせる高齢者マンションなどあったらいい
- 高齢化社会になって来るので、住環境整備
- シニアマンション（アパート）の家賃を安くして欲しい
- 人口や高齢者割合と比べ在宅介護事業所が少なく感じる
- 老人ホームなどあまりお金がない人でも入る事ができるような所がもっとあれば

- 高齢者の社会参加の促進/高齢者が生き生きできる場/生き甲斐の場を（４）
- 健康な高齢者が気軽に集える場所（保健婦付き）が増えて欲しい/高齢者が気軽に行くことができる場所がない。地域に何ヶ所かその場所があって、日常的に集まれるところが必要と思う。/集える場を多く設定して欲しい（３）
- 独り暮らしの老人が生活しやすい環境を（２）
- 元気なお年寄のために、もっとパークゴルフ場を増設
- ベンチが少ない
- 除雪のボランティア活動
- 高齢者が自立するために有料のボランティアの方向を探る
- 冬期交通機関の確保
- 孤独にならないコミュニティの充実
- 役場が中心に運営するものではなく、地域が（町内会単位で）高齢者が集まれる場を作り、その住民が運営していけるような活動を町がサポートする
- お年寄りが安心して暮らせるよう病気などになった時のケアをして欲しい

- 自立支援に伴う就業施設
- 企業と協力し高齢者の働き場をつくり、健康維持の目的もつくる
- 小さなグループの支援
- 自立だけでなく、介護する人の（も含め）環境支援
- 家族介護教室の充実。高齢者学級（認知予防など）の充実。
- 病気を持つ高齢者を助ける介護の充実。
- 認知症の方の支援体制
- 高齢者の自立支援もしくは住民が介護に関わる地域又は仕事とし、皆で共存していく体勢をとっていく北欧の福祉を旨とする。
- 複数世帯家族で暮らす事に支援し、高齢者の一人暮らしを減らす
- 車のない人や窓口の開いている時間に行かない人の為に何かサービスを考えて下さい
- 自立支援の詳細の公開の拡大
- 無年金者の保護
- 介護士が仕事の内容に見合う報酬と仕事の量

5.障害者(児)の生活支援

- 障害者の雇用の確保、生活支援の拡充（３）
- 支援の内容がわからない。もっと情報がほしい（３）
- 学校を卒業して就職出来ない障害者に対して施設に丸投げでは困るので仕事を
- 障害者の方でもできる仕事を探す。毎日や一日中でなくても、できる部分をして、給料をもらうことで、自分のお金で暮らせる方も増えるのでは
- 障害者（児）の生活支援（一割負担・自立支援法）
- 障害者を持つ家族の苦しみを支援してほしい
- 身体・知的障害に比べ精神障害者への対応遅れている
- 夫にもっとりハビリをさせたいが、介護保険のワクがせまい
- 将来の自立を目指した支援が大切
- 親は普通であれば先に亡くなられる。残された子供の生活不安がないようにしてほしい
- 小、中、高卒業後の家以外での生活支援の場など
- 障害を持った子を対象にダンス教室やプール教室（２才～でも参加できる様な）
- 障害者の学校がない。
- しょうがいのある人も、ない人も共存する街づくりを

6.男女等しく参加できる環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> • 男女が均しく社会参加できる環境づくり • 女性に対する理解力が特に役場職員の意識が低い • 参加出来る機会が少ないのでは。 • 年令など考えずに社会に出たい • 男女の差がありすぎる
7.町民ボランティア活動の育成・支援
<ul style="list-style-type: none"> • 広報等で具体的に知らせてほしい • 農村の1人暮らしの買物が出来るよう、有料でのボランティアが利用出来るシステムが必要 • 必要であるなら広報活動を積極的に。プチ報酬に賛成。 • さびしい転入者の子育ての手伝いができる会への支援がほしい • ボランティア意識の定着づくり • 共存共栄を皆でやっていく場所をつくる
8.消費生活の情報提供や相談
<ul style="list-style-type: none"> • 消費生活に関する情報提供(3) • 相談に行っても結局解決されない事が多いので、もっとしっかり相談にのってほしい
9.町内会活動などのコミュニティ活動
<ul style="list-style-type: none"> • 町内会の班会議も集まらない住人。婦人部会を作ってほしい • 宝来福祉館のみでは町内会活動に支障が。宝来地区にコミセンを • 老人ばかりの町内会をどうしたらいいのか • 住民の地域活動への参加啓発 • 町内会に頼り過ぎていないか • 決算の報告ない • 新興住宅地での、町内会等、コミュニティ活動の推進 • 連帯感を高める
10.交通安全への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> • 信号機をつけてほしい(すずらん台ファーマーズ前とか)/新橋が開通出来る迄に(点滅信号機設置)整備を促進してほしい(6) • 標識の配置をわかりやすく/住宅街と農道の標識不足(2) • 通学路のガードレール整備等(宝来大橋のガードレール取付) • 横断歩道の増設 • 歩道での駐車禁止の徹底 • 特に子供達の教育が良くない交通ルール • 自動車の早目点灯への強い指導を • 交通安全にもつながるので道路を整備してほしい
11.地域での防犯対策
<ul style="list-style-type: none"> • パトロールの増加/下校時の見守り/職員による定期巡回/老人だけの家庭などの見まわり(10) • 街灯をもっと増やしてほしい。(4) • 交番が少ない(2) • 不審者対策の強化、情報提供のスピード(2) • (時間制限で見守っている人がいる)公園などで子供が遊べる体制(不審者がいる) • 個人情報保護などの誤解で町内会活動に支障が生じている • とび出しする人が多いので徐行するカンバンがほしい • 最近増加している幼児・児童への犯罪防止の取組み • 市外の主要ヶ所に防犯カメラの設置 • 防犯対策(体制づくり)の指導と地域組織づくり • ひびき野堤防駐車場へ真夜中降りて行く不審車が多すぎる。築堤の上で暴走行為をするバイク、スノーモービルに歩行者がひかれそうになる場面もあり非常に危険。車両は全面通行止めに • 詐欺行為や押し売り防止の対策など • 地域での防犯対策 • 町内会会員の交流に依る連絡網等の活用 • 不審者情報がひんぱんに出ていることを考えると、子供の登下校が心配。近所で班をくんで集団登校だけでもできれば大きい子も小さい子もいて安心

12.消防・救急体制
<ul style="list-style-type: none"> 救急車が来るのが遅い/救急車出動の時、農村に的確に到着できるように(4) 町内会費などで維持しているもの(消防団他)を広報すべき 救急対応に対する住民の意識、モラルの向上 消防署の統廃合はすべきでない。緊急を要する事なので、各地域に必要
13.自然災害に対する防災体制
<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の実施/地域単位での防災訓練の実施(5) 自主防災体制の確立/万が一に備えて地域の防災組織が必要/各町内会で設立されている自主防災組織の助成の増額(4) 耐震設備への投資/ここ数年のうちに小、中学校の完全耐震化を完成させる(2) 自然災害などに対する防災体制(2) 急激に増加する人口に対しての食料、医療確保(大地震での橋の落下など想定)/万が一の時の備えの拡充(2) 防災時に備え、町として備蓄してある諸物品がどの様になっているのか知りたい 書類などで災害時の対応等、くわしく教えてほしい 防災体制マップを作り町民に 何かあった時にどこに避難すれば良いかはっきりしていない
14.自然環境の保全
<ul style="list-style-type: none"> ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止(3) 無駄な伐採はしない/むやみな伐採・整備はやめてほしい(2) 自然環境保全の順位、計画も大切と思われる。 自然環境の保全の研究 自然破壊は絶対しない行政 つくられた自然整備ではなく本当の自然保護 おとふけの森を数ヶ所作り、ウォーキングできる道でつなく 森林の環境の整備 護岸せず魚の住める川をつくる
15.騒音・振動・悪臭の公害防止
<ul style="list-style-type: none"> ペットの飼育マナーの向上(糞の放置禁止など)(2) 畑に推肥を、まく時の悪臭の防止(ゼオライト灰、木水) 野火の防止 地域で協力し合い、よりよい環境にしていく 広報車の廃止(騒々しいだけで、何を言っているのかわからないため、広報車は不必要) 住居地での住居建設などの公害多く、地区公害防止委員などの設置
16.ごみの収集・リサイクル
<ul style="list-style-type: none"> ごみの収集場所に「カゴ」等を設置/ゴミステーションの設置等/各地区にきめられた所に(カラス等で汚染されないよう)柵を設置する(5) リサイクル等出す人に対する指導/リサイクル項目の細かい周知/ゴミ収集所に看板を付ける(4) まだ出来るごみのリサイクル/発泡トレイ他分別し収益にする/リサイクルの付加価値づけ/リサイクルゴミを(アルミ缶や新聞、ダンボール等)町の収入源とできないものか/ファクス用紙の資源化/毎月1回町内でリサイクルゴミを集めて町内会に役立ててほしい(7) リサイクルとして出している物を他人が持っていってしまう(5) 収集する場所の格差解消/平等なゴミの収集/ゴミの集収のあり方について地域格差をなくす(4) カラス対策にも力を入れてほしい/カラスに荒らされない穴のあいてないネットを(4) 収集日の徹底/ごみ収集方法を守らない(特にマンション住人)への指導 ゴミのシールの貼り方の徹底 燃やせないゴミが2週間に一度はおかしい 5リットルの袋を作ってほしい ごみぶくろ、値段が高すぎます。高いならば高いなりに町民にもメリットを リサイクルでペットボトルのキャップの回収窓口を作って欲しい。800個集まれば発展途上国の子どものワクチン1回分が買えます 風の強いにプラゴミが道路にころがって危険なので何か対策を

17.生涯学習の情報や機会の提供
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯学習の発信できる場があるといい。 ● 高齢者にも活気のあるイベント等 ● 生涯学習の年間表（活動予定） ● 高老化社会に合せ生涯学習を充実すべき（情報交換、地域防犯対策にも寄与） ● 生涯学習の情報や機会の提供 ● 利益追及ではなく、児童に知識を教える（学ぶ）場所作り
18.小・中学校の教育環境
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校施設の改築など環境の充実/教育環境施設の充実（7） ● 教育現場の質の向上/教師の質の向上（6） ● 少人数学級で学力の向上/少人数学級の早期実現（3） ● 学力向上を民間にたよらず、学校で努力してほしい（2） ● 社会生活、地域とのつながりがある教育を。一般社会人、おじいさんおばあさんの話を聞かせる。補助員をボランティアで付けるなど/将来を見すえ、社会性を育てる。（2） ● 不登校の子供達に対する対策（2） ● 教育費負担の軽減（2） ● 楽しみが持てる教育環境づくり ● 教育行政が学校の教育内容に口出しせず、学校の主体性を尊重する ● 生命に関する教育を幼少期に徹底すべき（麻薬の恐ろしさ、食の安全、生物） ● 自然環境を生かした教育の充実 ● 退職先生によるボランティア的学習指導の実施 ● 小、中、高校で実習すべき事が多々あると思う ● 環境より学習重視 ● ゆとり教育がなくなり勉強が急に難しくなるので放課後勉強会 ● 公立の小・中・幼稚園を増やす ● 緑南中学校の設置場所の再検討 ● 学校、PTA、教育委員会等の協力体制づくり ● 特認校への通学バスの確保 ● へき地小規模校の統廃合を含めた適正な配置。1クラスの児童数が少なすぎる
19.障害のある児童の教育環境
<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育についての情報交換など ● バリアフリーの整っている学校が少なすぎる。もっと改善してほしい ● 障害の有る子が、一緒に学ぶ難しさ、周りでサポートする事の難しさを毎日感じている。先生達はその場しのぎの解決を障害を持たない子に求めてきている。学校としての取組み、音更町としての取組みは、どうなっているのか、大変不満である。 ● 支援者や教員増への予算措置 ● 脳の発達の活発な時期の療育が大切であり、勉強してほしい ● 障害のある児童などの教育環境 ● 障害者が学習出来る施設は作れないのでしょうか
20.芸術文化活動の促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術鑑賞の機会を増やす（有料でもよいので） ● 文化センターの活用促進と特色あるイベントづくり ● コンサートを増やしてほしい ● 文化センターにいろんなアーティストが来るといいです
21.芸術文化施設の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館の本をもっと増やしてほしい（2） ● 文化センター、図書館の休館日を月1回に ● 札幌芸術の森のような様々な芸術に親しめる施設があれば
22.文化財や史跡の伝承保存
<ul style="list-style-type: none"> ● 伝承保存活動の交流、情報提供、小・中への補助教材 ● 地域の人々で史跡の保存 ● 音更町史跡めぐりロード（散歩用）整備 ● 古い建造物等の保存に配慮すべき

23.スポーツ活動の推進
<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ活動の推進（２） ● 中学校に柔道や剣道が取り入れられる。武道に堪能な教育者を増員し現在有る同好会を存続させる ● 活動団体の案内 ● 町の主催による大会を増やす（有名選手にての指導） ● 健康増進を含め、医療費との連携が必要
24.スポーツ施設の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 陸上競技場の改善/陸上競技場の新設/運動公園第２期事業（３） ● 町営リンクの設備の改善/室内リンクの造成（２） ● 野球場の建設/野球場のナイター設備（２） ● 木野地区などにドームのようなものを/木野地区にも体育館のような施設を（２） ● 施設利用料の増加（利用者負担） ● 帯広のような、スポーツ対応のコミセン ● ミニバレー施設の確保 ● 体育館の利便性向上 ● 冬期間に使用できる野球・壘球等の練習施設 スポーツは屋内だけのモノではない ● トイレの整備を行う
25.青少年の健全育成
<ul style="list-style-type: none"> ● 夜おそく出歩いている中・高生に指導を（２） ● 青少年の活動の場をを考えたらどうか ● 若者の居場所づくり ● 青年団の活動（体育、文化、研修）の促進 ● 未成年者の喫煙、飲酒の防止の徹底 ● 各種相談窓口の充実、「コンクール」等諸健全な活動を紹介 ● 情報化社会の今、人間同士のコミュニケーションをもっと多く ● 青少年の健全育成の為に変質者（つけまわし等）に注意してほしい
26.国際交流・都市間交流
<ul style="list-style-type: none"> ● 国際交流・都市間交流/国際的視点に立った交流の促進（２） ● 国際、都市は子供達みんなが一日行ける様にしてほしい ● 英語教育に力を入れてほしい
27.公園や緑地の整備
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供があそべる公園づくり（３） ● 川河公園など管轄のちがう施設へも整備（管理）要求 ● ぎんよくの沢公園に時計を設置してほしい。 ● 農村地帯での公園化を考えてほしい。 ● 公園に山を ● 街路樹の種類に配慮がたりない ● 公園や河川等、子どもの遊び場を整備、造成等する場合、普段の状況を長い期間かけて観察した後、計画に取りかかっては。知らないうちに森や川に手が増えられていくのはいい気分ではありません ● 町内の公園の情報を集めたものがあるといいです（場所や特徴など）
28.公園や緑地の管理
<ul style="list-style-type: none"> ● 近くの公園の遊具が秋頃から使用禁止となっているので、早く使えるようにして欲しい。/公園の遊具がこわれていても今だになおっておらず恐くて行けない（２） ● 樹木の整備。枝がたれ下り雪がつもれば下までついている/街路地の木の剪定を（３） ● 公園の清掃/ボランティアによる清掃業務の推進（２） ● 連合町内会単位等に管理をまかせ補助をする ● 公園のトイレをきれいにしてほしい ● 安全に関連するか、管理人を常駐すべきでは ● 公園のゴミ、駐車場の不審者が気になる ● 噴水の水の管理 ● 夏になるとゴミを公園になげている人がいる ● 白樺を減らしてほしい ● 公営設備の見直し（古い公園） ● 子供達の遊び道具が少ない ● パークゴルフ場の使用が安すぎる

29.公営住宅環境の整備	
<ul style="list-style-type: none"> • 公営住宅の増設/公営住宅の大幅な整備（高い家賃のアパートしかない）(10) • 駐車場をもっと増やしてほしい/2台まで1台分の駐車料で(3) • 古い町営の建て直し(2) • 公営住宅の高層化（平家公営住宅地の有効活用、解体後） • 住宅前の道路の整備 • 新しく建てて民間並みの家賃を取れば一良いと思う • 暖房設備の改善（断熱材を増やすなど） • マナーの向上 	
30.上下水道の整備	
<ul style="list-style-type: none"> • 上下水道料の値下げ(8) • 下水道の整備(6) • 水質の向上(5) • 水道が早く通って欲しい/水道供給地域の拡大/早く生活用水（農業用水）を希望(4) • 上下水道の恩恵に当たらない地域への補助金制度 • 排水口がほしい 	
31.道路や歩道の除排雪	
<ul style="list-style-type: none"> • 除雪の地域格差の解消(4) • 路上駐車等をなくすようにしてほしい(3) • 圧雪・アイスバーン状態、砂等散布してスリップ防止、歩行者の転倒防止。(3) • 融雪法を考えてほしい • 排雪の完全実施（自宅前の排雪） • 狭い道路の除雪 • バス停までの安全確保 • 地区内除雪支援の検討 • 除排雪の民間委託入札の見直し（高く払い過ぎ） 	
32.道路の整備 33.道路の管理	
<ul style="list-style-type: none"> • 開発所管であるが国道241の2車線化/2台平行走行をやめる。中央分離帯等をつくる。(16) • 道路の補修(13) • 子供が安全に通れる歩道の整備/歩道の段差解消/学童の歩行する歩道（危険区域は特に）に、ガードレールの設置。(12) • 道路の舗装(7) • 道路の拡張/国道の拡張/南鈴蘭地域の改修(5) • 路上駐車の対応を/町道の歩道上への駐車（学生の歩行障害）(2) • 柳町団地内の道路整備（バス通り） • 郊外道路の整備 • 農村地帯の路盤改良、抜木（見通し）等。幅路盤改良。 • 緑陽台小学校東側道路8線～7線間の通学の安全策 • 帯広との渋滞緩和（橋の増設） • 通勤時間に鈴蘭大橋に向う大形車両の制限 	
34.バスの利用のしやすさ	
<ul style="list-style-type: none"> • バスのルート改善・工夫/木野大通あたりから直接西の方の高校へ行ける様にしてほしい/路線バスの通らない所を100円バスが回るべき/コミュニティバスの乗り降り場の効率化/農村部にもバスを//バスの回数と止まる所を多くしてほしい(13) • バスの便数の増加/最終バスを遅く(4) • バスの便の現状維持 • 住民の生活・活動に見合った交通システムの検討 	

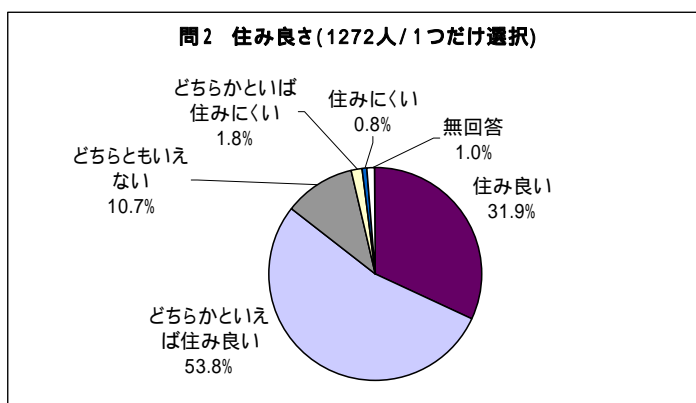
35.市街地の整備や景観の向上
<ul style="list-style-type: none"> ● 段階的に電線等を地下埋設する(2) ● 駐車場の整備(2) ● 特に木野地区で廃業家屋や空き地の環境整備 ● 歩行者や観光客にとって魅力的な景観整備 ● 各町内会と協力して、景観向上に努める ● 木野地区の再開発・整備 ● 100年計画で市街地周辺を森で囲む。 ● まだ汚いところがあるのでこういったことも含めてもっと景観を良くしたい ● より美しい町並へ。看板や標識がわかりにくい
36.日常の買い物環境
<ul style="list-style-type: none"> ● 大手スーパー等の誘致/ひびき野地区へのスーパー誘致(5) ● 商業用地の確保、斡旋 ● 近くに商店が無くなり老人が特に冬期間買い物が大変。TEL・FAX等で注文を受け品物を受け取る機関を業者と立ち上げ働く人の職づくり ● 農家地区などに送迎サービスとかあるとよいかも ● 駒場など週に一度でも100円バスが通ってほしい。一日一コースでもであると安心出来る。 ● 商店街合同のイベントなどがたくさんあるといいのに
37.中心市街地のにぎわいづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅をもっと美しく、欧州風に/もっと目につく様にする(2) ● 昔よく行ってた「夜更け市」や「1万人おどり」などの祭りをもう1度行い活気づけてほしい ● イベント、物産等の企画 ● 本町市街地の活性化を図る ● 本町の商店街で使用できる、クーポンや商品券の発行して本町での買い物客をふやす ● コミュニティ活動をより積極的に! ● 集まりやすい場所がほしい(本町) ● 大型店に規制を加えてでも、街の商店が成り立つようにするべき ● 町民情報紙みたいなのがほしい
38.農業の振興
<ul style="list-style-type: none"> ● 特産品のブランド化、音更をアピール/音更ブランドへの取り組みと強い農業作り(3) ● 農産物の販売支援(3) ● 農作物のはね品売場の確保(2) ● 農業法人を立ち上げ支援(2) ● 地産地消の推進(2) ● 農産物の売りこみ(加工)・制度資金など、いろいろな情報の提供 ● 十勝の農産物に ● 基幹産業としての積極的取り組み(安心・安全な食を地元へ。若い労働力を育てる) ● 町内で生産から加工まで確立し雇用を町内で確保してほしい ● 農業と観光を結びつけるアイデアを町民から募る ● 資質、意欲ある人材の育成 ● 町民が体験できる農園施設の整備 ● 農業予算を削減し、自立した農家を多くつくる ● ボラバイトの斡旋支援(居住地など)
39.企業誘致や企業活動の支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致を積極的にはたらきかける/土地がまだたくさんあるので格安で企業に提供する/優遇支援策の充実/他町村に負けない条件の提示(9) ● 農業をサポートするような企業を創るなり誘致する/農業中心の企業を誘致支援(6) ● 町内で生産から加工まで確立し雇用を町内で確保してほしい(2) ● 大企業の誘致 ● 製造から廃棄まで責任ある企業の誘致 ● 大企業にこだわらない企業誘致 ● エコ関連企業の誘致 ● 役場の仕事で、町内の民間に回すことが出来るものは回していく

40.観光地としての魅力づくり
<ul style="list-style-type: none"> • 十勝川温泉の有効活用、道外へのアピール（6） • 道の駅の充実（3） • 空港・高速に近い条件を生かし1泊型のプランの提供 • 十勝川温泉や農業体験を中心としたPR • 十勝川温泉高台に高所作業者を固定し展望台にする • 観光地としてのアイデア（十勝音更町としての特色）を多くつくる • 花や食べ物のイベント • 面白いイベントの実行と住民その他遠方の方への告知 • 食と温泉に関連させ、いやしの湯（花等）を充実させリピーターを増やす • ホームページの充実 • 音更の土産物の有名度アップ • よつば乳業を柳月のような雰囲気にして音更名物を開発する
41.働く場の確保
<ul style="list-style-type: none"> • 若い人が働ける場所を誘致すべき（6） • 町内で生産から加工まで確立し雇用を町内で確保してほしい（3） • 高齢でも働く場があってほしい/50代の働く場所をもっと確保してほしい（3） • 工場の誘致（3） • 女性（主婦）の就職支援を企業に徹底してほしい。又は働ける環境作りを（2） • 農業の手伝いなどの働く場の斡旋（2） • 会社型農業の設立・誘致 • 青少年の雇用促進。Uターン就職の斡旋拡充 • パートタイマーの労働条件をよく（サービス残業など）してほしい • 失業者支援 • 中小企業への支援充実 • 役場の仕事で、町内の民間に回すことが出来るものは、回していく • 企業を起こし労働力を増やして年平均1,000人の人口増加を図る
42.広報誌やホームページの情報提供
<ul style="list-style-type: none"> • HPの充実（分かりやすく）、更新（2） • パソコンの使えない人に分かり易い情報提供を（2） • 広報誌充実&全戸配布 • 町の広報誌の充実（分かりやすく） • ホームページの「町の声」への対応を
43.協働によるまちづくり体制
<ul style="list-style-type: none"> • 町議の町民評価の実施 • 町民一人一人とのネットワークの構築、町内の助け合い • 町民が活動してほしい内容を具体的にしてほしい • 帯広市との合併を選択すべき
44.窓口対応やサービスの提供
<ul style="list-style-type: none"> • 窓口対応の向上/専門知識の取得/事務的対応の解消/上から目線の解消/待ち時間の短縮化（23） • 職員の意識改革、接客マナーの習得 • 転入後の手続きの説明を丁寧に • 土・日の営業を

【問2】音更町の住み良さ

【問2】総合的にみて、現在の音更町の住み良さはいかがですか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

「どちらかといえば住み良い」が53.8%と約半数を占め、「住み良い」(31.9%)、「どちらともいえない」(10.7%)が続きます。「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計は85.7%で、程度の差はあれ、8割以上は住み良さを評価しています。



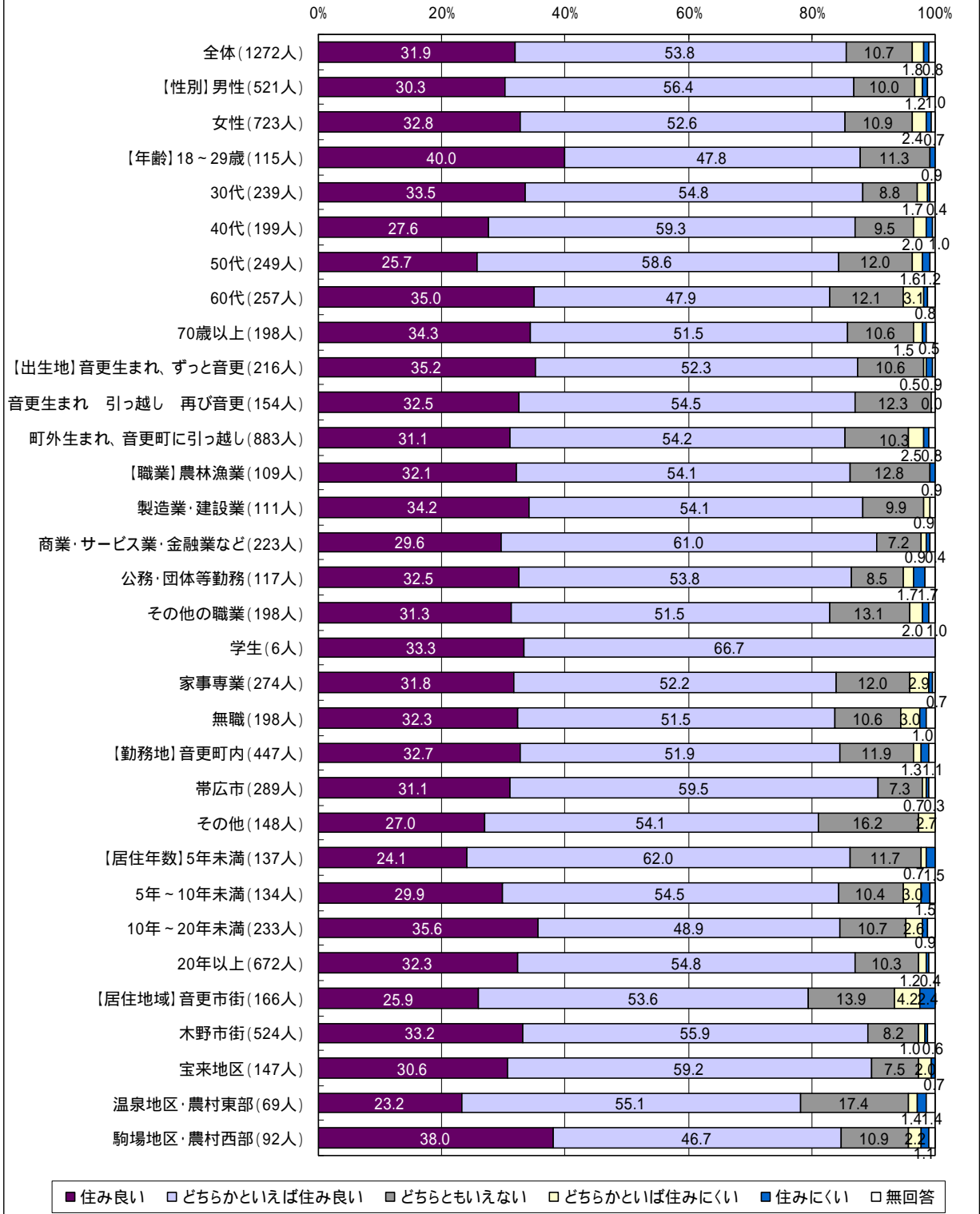
性別にみると、「住み良い」は女性、「どちらかといえば住み良い」は男性の回答率がそれぞれ高くなっています。

年齢別にみると、「住み良い」は18～29歳、「どちらかといえば住み良い」は40代の回答率がそれぞれ最も高く、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が最も高いのは30代(88.3%)で、18～29歳(87.8%)が続きます。

居住年数別にみると、「住み良い」は、10年～20年未満の回答率が最も高くなっています。

居住地区別にみると、「住み良い」は駒場地区・農村西部地区が最も高いですが、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計が高いのは木野市街(89.1%)や宝来地区(89.8%)です。

問2 住み良さ(属性別/1つだけ選択)



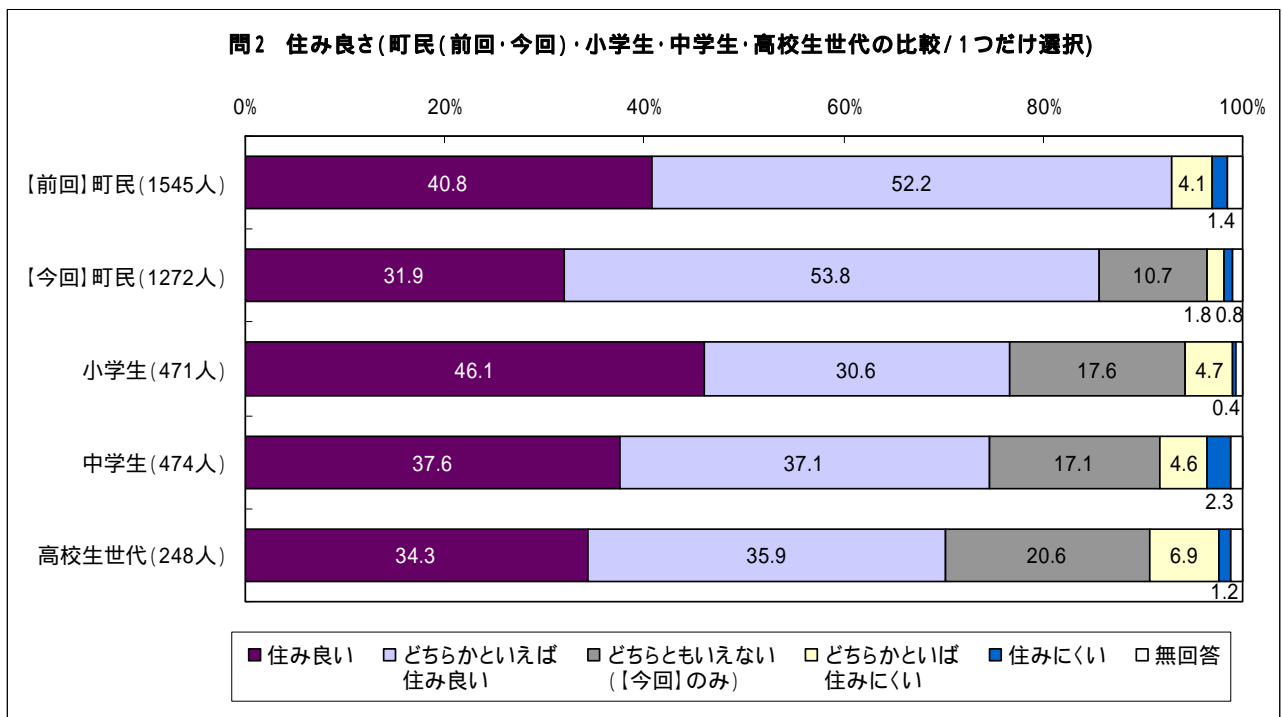
前回のアンケートとの比較

平成10年に実施したアンケート結果と比較すると、「どちらかといえば住み良い」はほぼ同率ですが、「住み良い」が低くなっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」はともに低くなっています。

また、小学生、中学生、高校生世代のアンケート結果と比較すると、「どちらかといえば住み良い」は最も高いものの、「住み良い」は最も低くなっています。

「どちらともいえない」は今回のみです。

小中学生、高校生世代では「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」「どちらともいえない」「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」という選択肢で調査しました。

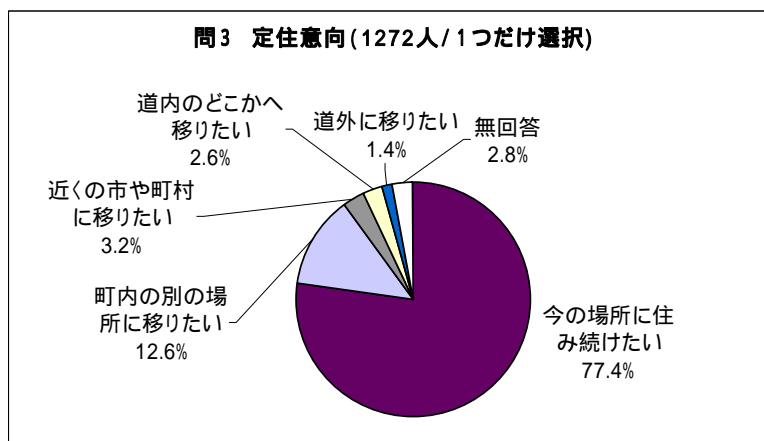


【問3】音更町への定住意向

【問3】これからも、音更町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に印をつけてください。

「今の場所に住み続けたい」が77.4%と最も高く、「町内の別の場所に移りたい」(12.6%)、「近くの市や町村に移りたい」(3.2%)が続きます。

「今の場所」と「町内の別の場所」の合計は90.0%で、9割は今後も町内に住む意向を持っています。

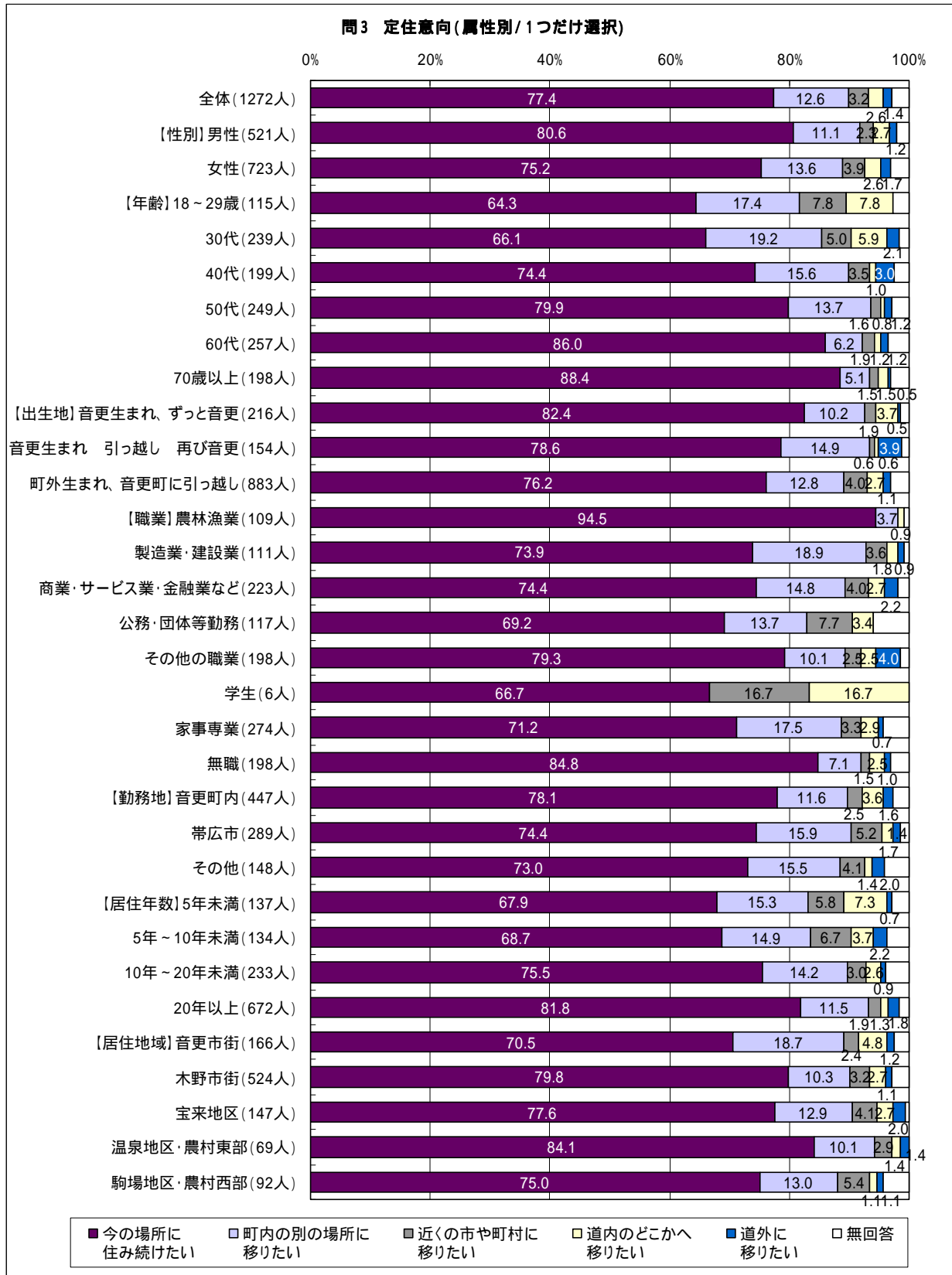


性別にみると、「今の場所に住み続けたい」は男性の回答率が高くなっています。

年齢別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、年齢が高まるにつれて回答率が高くなっています。一方、18～29歳や30代では「近くの市や町村に移りたい」「道内のどこかへ移りたい」なども、他に比べて高くなっています。

居住年数別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、居住年数が長くなるにつれて回答率が高くなっています。

居住地区別にみると、「今の場所に住み続けたい」は、温泉地区・農村東部地区が最も高くなっています。



< 「例えば」の記述内容 >

近くの市や町村：帯広市（26）芽室町（4）鹿追町（2）幕別町（2）網走市

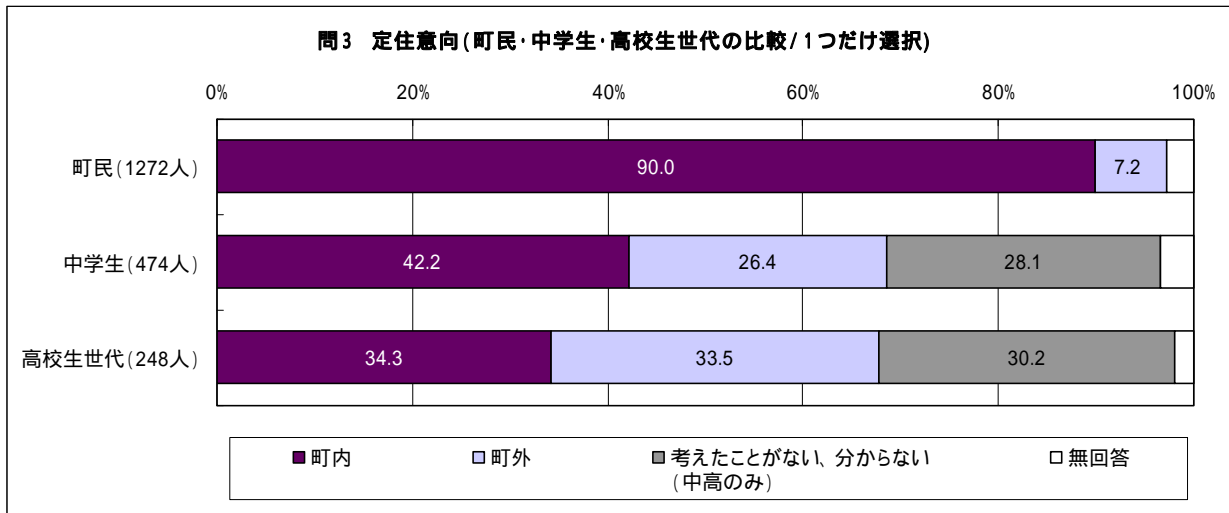
道内：札幌市（14）函館市（3）伊達市（3）旭川市（2）室蘭市、上湧別町

道外：東京（3）名古屋、静岡、山口県、宮城県、本州や九州、伊豆あたりのあたたかい所、雪がない所、海外（2）

中学生アンケート・高校生世代アンケートとの比較

中学生、高校生世代のアンケートと比較すると、町民の定住意向が最も高く、中学生、高校生世代との間に大きな差がみられます。

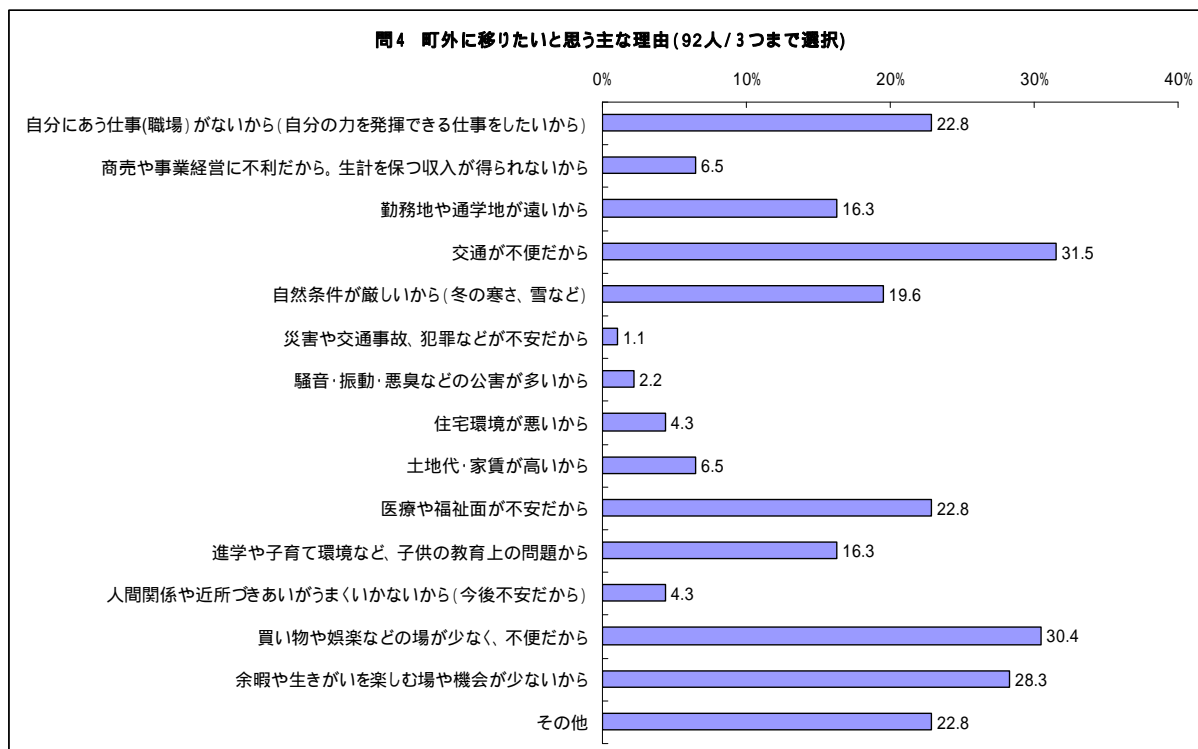
小中学生、高校生世代の選択肢は「音更町に住み続けたい」「他の市町村に移りたい」「考えたことがない、分からない」という選択肢のため、町民アンケートの結果を「町内」「町外」「考えたことがない、分からない」に再区分し、比較しています。



【問4】町外に移りたいと思う主な理由

【問4】前問（問3）で、3～5に 印をつけられた方におたずねします。町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「交通が不便だから」（31.5%）が最も高く、「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」（30.4%）、「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」（28.3%）が続きます。



性別にみると、男性は「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」、女性は「交通が不便だから」をそれぞれ第1位にあげています。

年齢別にみると、18～29歳は「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」、30代は「自分にあう仕事(職場)がないから(自分の力を発揮できる仕事をしたいから)」、40代と60代は「交通が不便だから」、50代は「自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)」と「余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから」を同率で、70歳以上は「医療や福祉面が不安だから」と「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」を同率で、それぞれ第1位にあげており、差がみられます。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
性別	男性 (32人)	余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない 31.3	交通が不便だから 医療や福祉面が不安だから 21.9		その他	自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など) 18.8
	女性 (59人)	交通が不便だから 買い物や娯楽などの場が少なく、不便 37.3		自分にあう仕事(職場)がないから 27.1	余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない 25.4	医療や福祉面が不安だから その他 23.7
年齢別	18～29歳 (18人)	買い物や娯楽などの場が少なく、不便 44.4	自分にあう仕事(職場)がないから 交通が不便だから 27.8		その他	勤務地や通学地が遠いから 22.2
	30代 (31人)	自分にあう仕事(職場)がないから 35.5	交通が不便だから 32.3	進学や子育て環境など子供の教育上の問題 買い物や娯楽などの場が少なく、不便 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない 29.0		
	40代 (15人)	交通が不便だから 40.0	医療や福祉面が不安だから 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない その他 33.3			自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など) 26.7
	50代 (9人)	自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)/余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない 33.3		勤務地や通学地が遠いから 22.2	自分にあう仕事(職場)がないから 商売や事業経営に不利 生計を保つ収入が得られないから 11.1	
	60代 (11人)	交通が不便だから 45.5	自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など) 36.4	余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ない 36.4	医療や福祉面が不安だから 27.3	自分にあう仕事がない/買い物や娯楽の場が少なく不便 18.2
	70歳以上 (7人)	医療や福祉面が不安だから 買い物や娯楽などの場が少なく、不便 57.1		交通が不便だから 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)/その他 28.6		

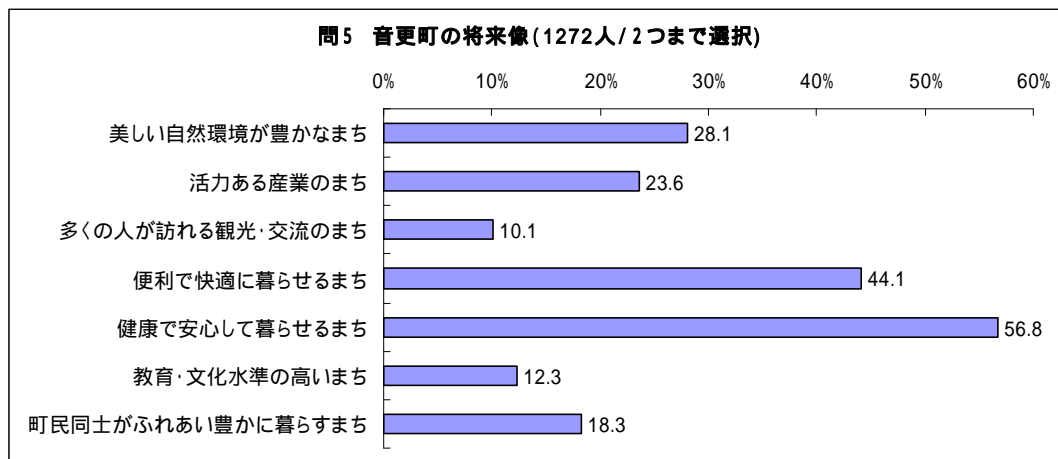
< 「その他」の記述内容 >

地元ではないので(2)/買物が不便(3)/交通アクセス/好きな仕事をしていても収入が少ない/出身地(実家)から遠い/もっと自然の中に住みたい/十勝の魅力さが足りないから
水道水がよくない、水道代が高いので/冬期の家の廻りの除雪や雪の為/冬期間の通勤時間延長が毎年大変
本屋の品揃え、注文から届くまでの日数に不満/医療機関が遠い為
良い町だと本当に思って居ます。ただ寒さだけが年齢とともに・・・
実家(町外)からの方が勤務地が近いので/勉強のため/閉鎖的なので/勝組しか相手にしないから
他の自治体から見て、この町は不平等な面がありすぎる

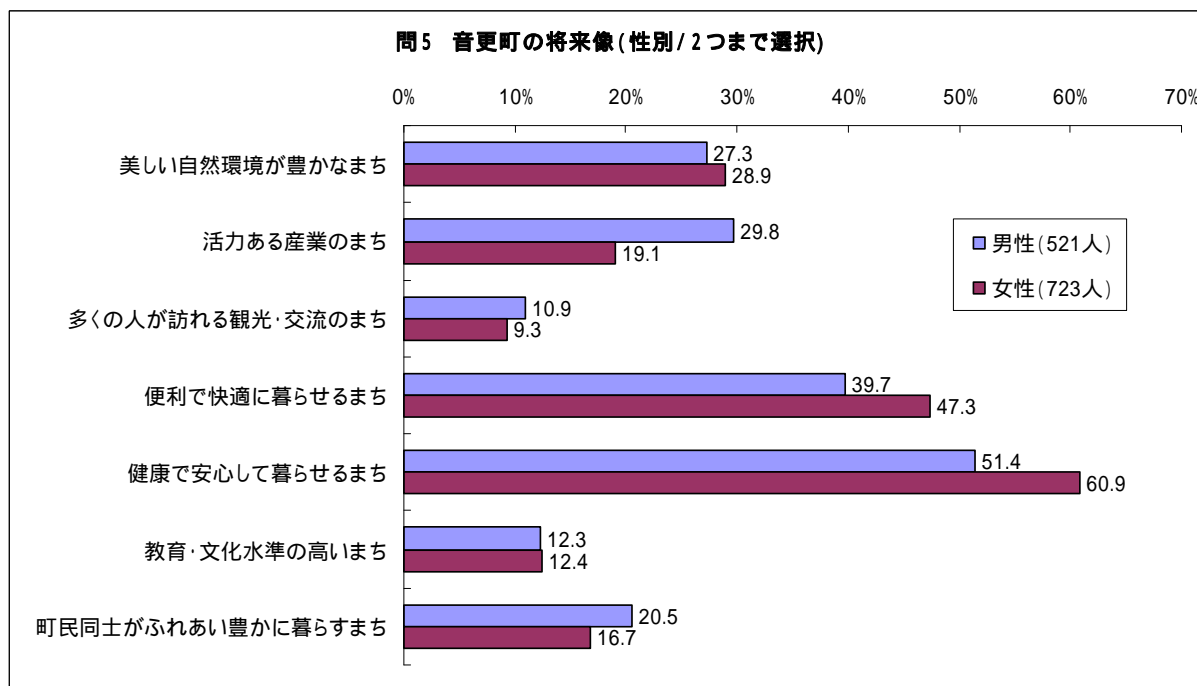
【問5】音更町の将来像

【問5】音更町の将来像としてどのような姿を望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に印をつけてください。

「健康で安心して暮らせるまち」(56.8%)が最も高く、「便利で快適に暮らせるまち」(44.1%)が続きます。



性別にみると、男女とも「健康で安心して暮らせるまち」が第1位ですが、特に女性の回答率が高く、差がみられます。第2位の「便利で快適に暮らせるまち」も同様に女性の回答率が高くなっています。一方「活力ある産業のまち」では男性の回答率が女性より高く、差がみられます。

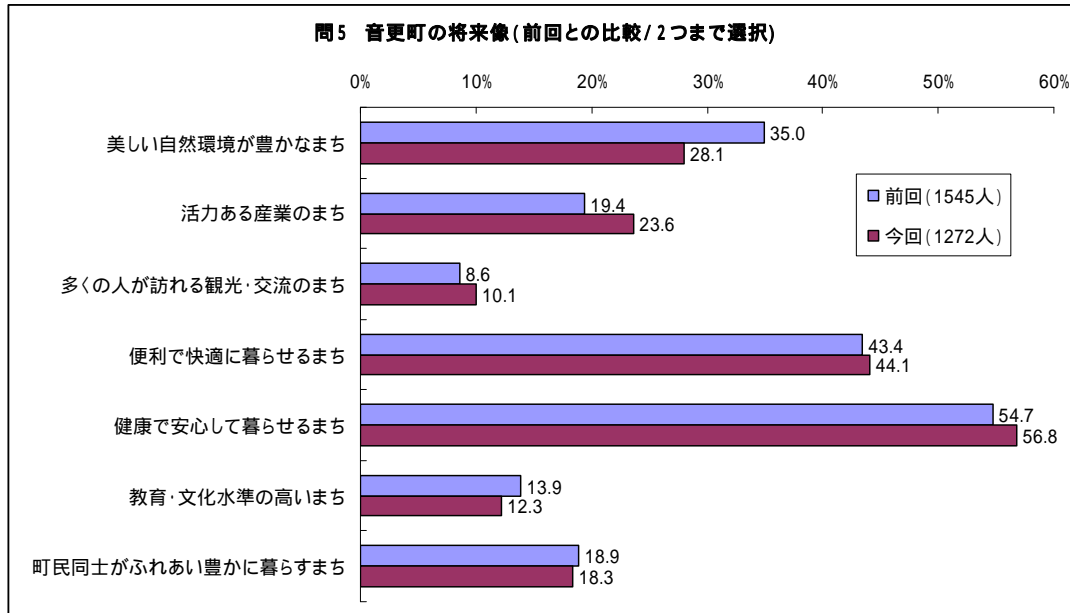


年齢別にみると、18～29歳は「便利で快適に暮らせるまち」と「健康で安心して暮らせるまち」を同率で、30代は「便利で快適に暮らせるまち」、40代以上は「健康で安心して暮らせるまち」をそれぞれ第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	便利で快適に暮らせるまち 健康で安心して暮らせるまち		美しい自然環境が豊 かなまち	活力ある産業のまち	多くの人を訪れる観 光・交流のまち
	50.4		35.7	17.4	15.7
30代 (239人)	便利で快適に暮ら せるまち	健康で安心して暮ら せるまち	美しい自然環境が豊 かなまち	教育・文化水準の高 いまち	活力ある産業のまち
	57.3	52.7	30.1	19.2	15.1
40代 (199人)	健康で安心して暮ら せるまち	便利で快適に暮ら せるまち	活力ある産業のまち	美しい自然環境が豊 かなまち	教育・文化水準の高 いまち
	52.3	49.7	25.6	25.1	18.1
50代 (249人)	健康で安心して暮ら せるまち	便利で快適に暮ら せるまち	活力ある産業のまち	美しい自然環境が豊 かなまち	町民同士がふれあい 豊かに暮らすまち
	59.0	39.4	30.5	28.9	15.7
60代 (257人)	健康で安心して暮ら せるまち	便利で快適に暮ら せるまち	美しい自然環境が豊 かなまち	活力ある産業のまち 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち	
	63.8	37.7	29.2	24.5	
70歳以上 (198人)	健康で安心して暮ら せるまち	町民同士がふれあい 豊かに暮らすまち	便利で快適に暮ら せるまち	活力ある産業のまち	美しい自然環境が豊 かなまち
	59.1	32.8	32.3	25.3	22.7

前回のアンケートとの比較

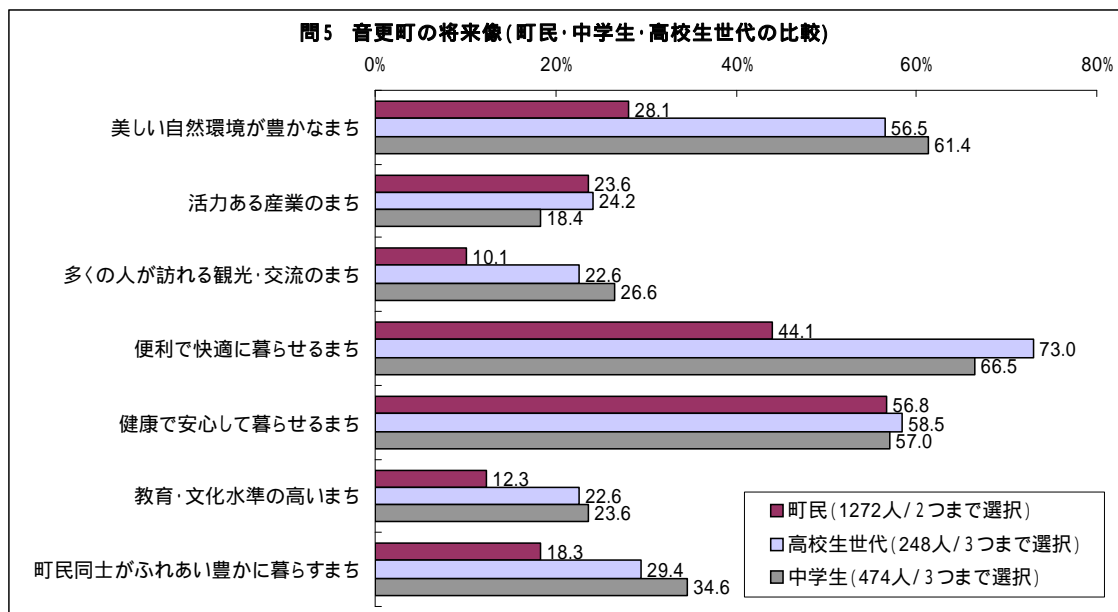
平成 10 年に実施したアンケート結果と比較すると、「健康で安心して暮らせるまち」が第 1 位、「便利で快適に暮らせるまち」が第 2 位と、同様の回答傾向となっていますが、「美しい自然環境が豊かなまち」が低くなった一方、「活力ある産業のまち」が高くなっています。



中学生アンケート・高校生世代アンケートとの比較

中学生、高校生世代のアンケートと比較すると、町民は「健康で安心して暮らせるまち」を第 1 位にあげているのに対して、中学生、高校生世代は「便利で快適に暮らせるまち」をあげています。

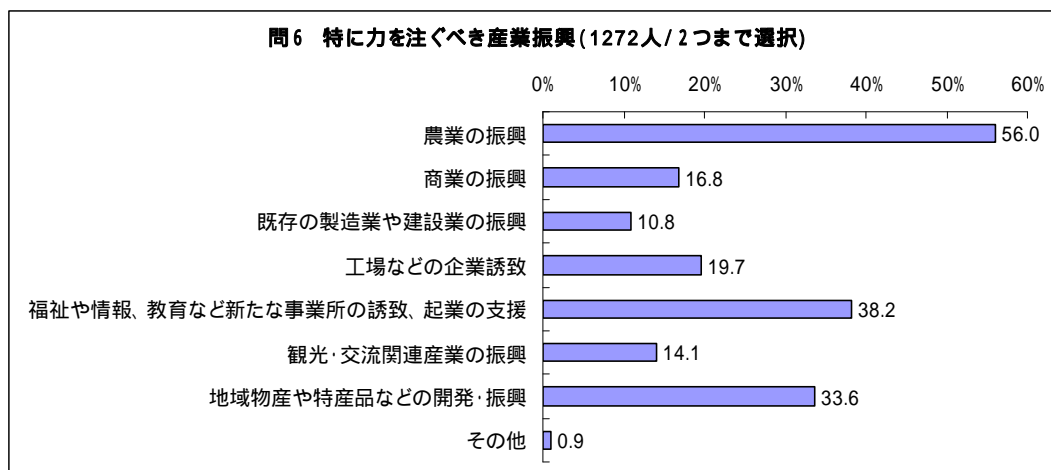
町民は「2つまで選択」、中学生、高校生世代は「3つまで選択」のため、中学生、高校生世代の回答率が町民に比べて高くなっています。



【問6】特に力を注ぐべき産業振興

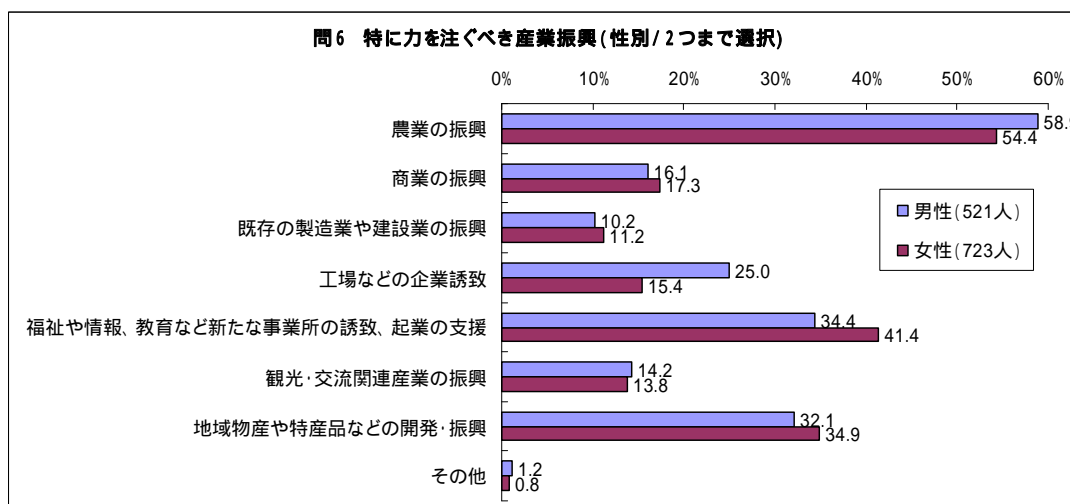
【問6】音更町の産業振興について、特にどの分野に力を注ぐべきだとお考えでしょうか。次の中から2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「農業の振興」(56.0%)が最も高く、「福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援」(38.2%)、「地域物産や特産品などの開発・振興」(33.6%)が続きます。



性別にみると、男女とも「農業の振興」が第1位ですが、男性の回答率が女性よりやや高くなっています。一方、第2位は男女とも「福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援」ですが、女性の回答率が男性より高く、差がみられます。

また、「工場などの企業誘致」は、男性の回答率が女性より高く、差がみられます。



< 「その他」の記述内容 >

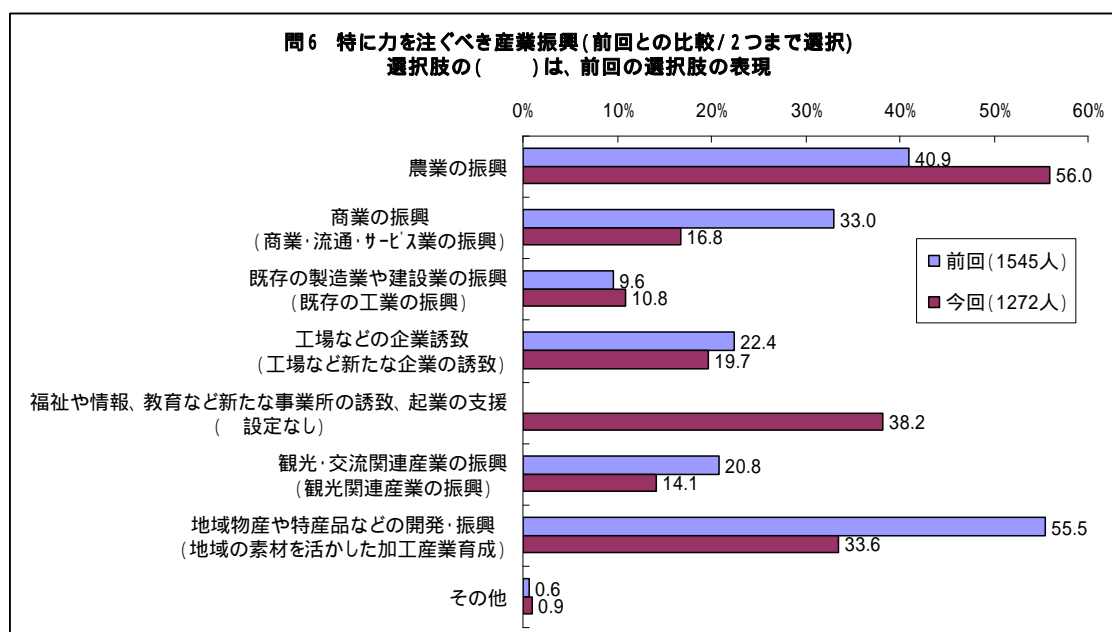
- ・町営、第3セクター等による新規事業の創出。民間に譲渡も良く、リベート取るも良し。
- ・民、学と新規事業創出の勉強会を設立しては？異業種文流から新規事業は良くあることで。
- ・自然を活かした産業の創出。環境ビジネス、農地付宅地を全国にPR等々
- ・既存の物産展等の違う意味での開発、振興。
- ・リサイクル施設、光発電施設を！
- ・工場その他、箱物をつくるのではなく、あるものをうまく利用する。

年齢別にみると、18～59歳のみ「福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援」を第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	農業の振興	地域物産や特産品などの開発・振興	商業の振興	観光・交流関連産業の振興
	49.6	47.0	25.2	24.3	20.0
30代 (239人)	農業の振興	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	地域物産や特産品などの開発・振興	商業の振興 観光・交流関連産業の振興	
	51.5	42.7	30.5	18.8	
40代 (199人)	農業の振興	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	地域物産や特産品などの開発・振興	商業の振興	工場などの企業誘致
	62.8	34.2	25.6	21.6	20.1
50代 (249人)	農業の振興	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	地域物産や特産品などの開発・振興	工場などの企業誘致	観光・交流関連産業の振興
	55.4	36.9	34.1	24.1	18.1
60代 (257人)	農業の振興	地域物産や特産品などの開発・振興	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	工場などの企業誘致	商業の振興
	58.8	40.5	37.4	20.6	16.0
70歳以上 (198人)	農業の振興	地域物産や特産品などの開発・振興	福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援	工場などの企業誘致	商業の振興
	58.6	41.9	32.8	25.3	10.6

前回のアンケートとの比較

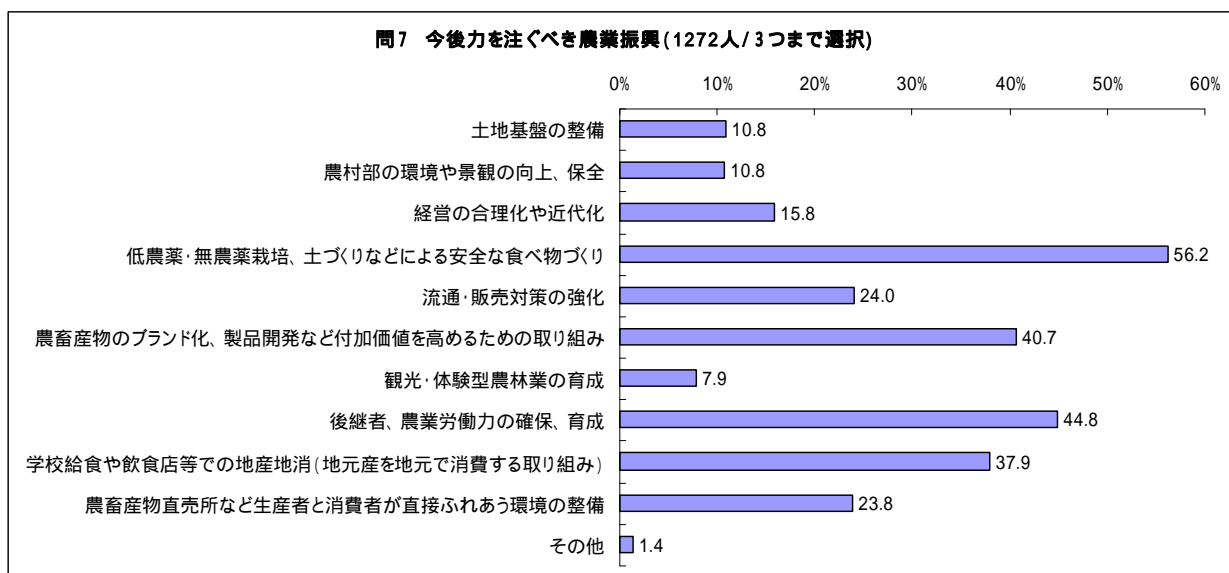
平成10年に実施したアンケート結果と比較すると、「商業の振興」や「地域物産や特産品などの開発・振興（前回は「地域の素材を活かした加工産業育成）」が低くなった一方、「農業の振興」が高くなっています。



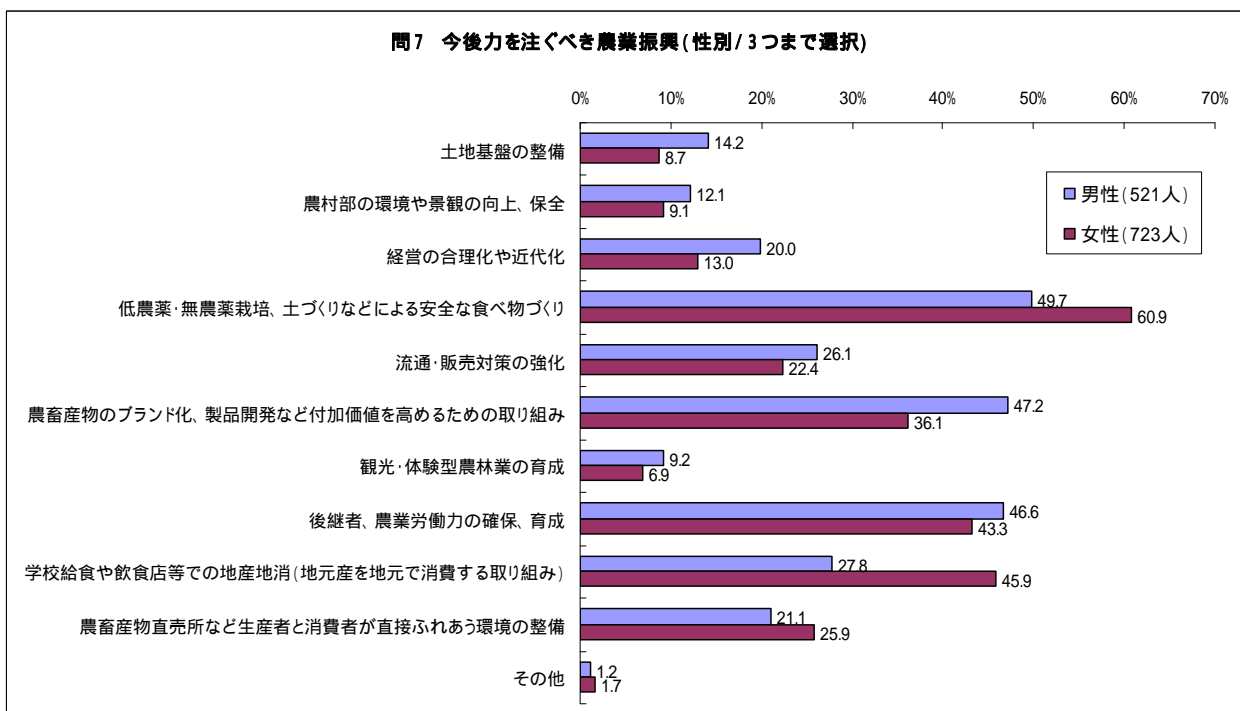
【問7】今後力を注ぐべき農業振興

【問7】音更町の基幹産業である農業を振興するために、今後どのようなことに力を注ぐべきだ
とお考えでしょうか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり」(56.2%) が最も高く、「後継者、農業労働力の確保、育成」(44.8%)、「農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み」(40.7%)が続きます。



性別にみると、男女とも「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり」が第1位ですが、特に女性の回答率が高く、差がみられます。また、第2位については男性は「農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み」、女性は「学校給食や飲食店等での地産地消(地元産を地元で消費する取り組み)」をあげており、それぞれ男女差がみられます。



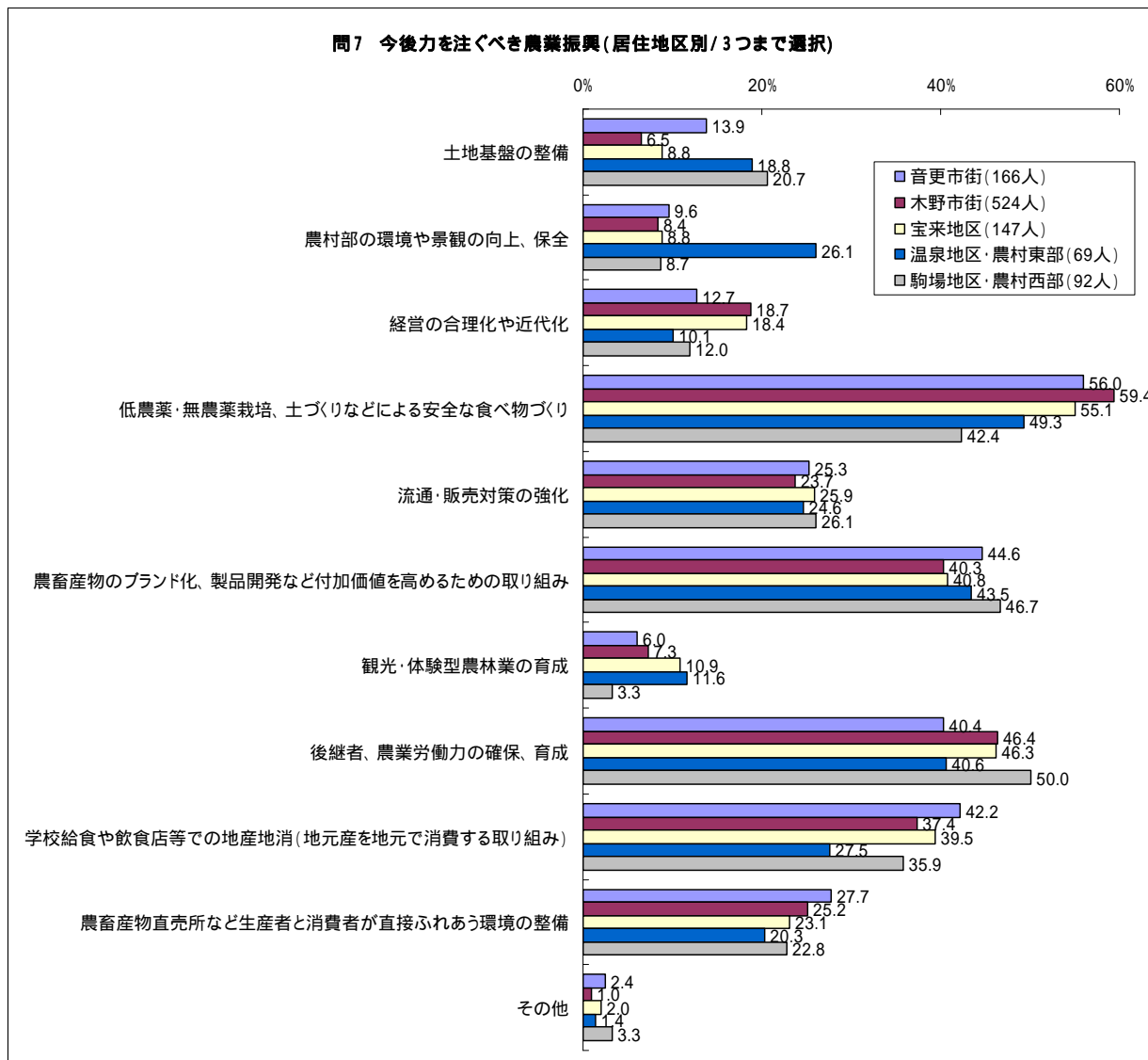
年齢別にみると、18～29歳のみ「学校給食や飲食店等での地産地消（地元産を地元で消費する取り組み）」を第1位にあげています。30代以上は「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり」が第1位ですが、特に50代、60代の回答率が高くなっています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	学校給食や飲食店等での地産地消	後継者、農業労働力の確保、育成	安全な食べ物づくり	付加価値を高めるための取り組み	流通・販売対策の強化
	51.3	49.6	48.7	38.3	26.1
30代 (239人)	安全な食べ物づくり	学校給食や飲食店等での地産地消	付加価値を高めるための取り組み	後継者、農業労働力の確保、育成	流通・販売対策の強化
	50.6	47.7	45.6	40.2	25.5
40代 (199人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成 学校給食や飲食店等での地産地消	付加価値を高めるための取り組み	付加価値を高めるための取り組み	流通・販売対策の強化
	50.3	42.7	39.7	30.7	
50代 (249人)	安全な食べ物づくり	付加価値を高めるための取り組み	後継者、農業労働力の確保、育成	学校給食や飲食店等での地産地消	流通・販売対策の強化
	63.9	45.4	41.8	32.9	26.1
60代 (257人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	学校給食や飲食店等での地産地消	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備
	62.3	49.4	40.5	34.2	32.7
70歳以上 (198人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備	学校給食や飲食店等での地産地消
	57.1	47.5	32.3	27.8	25.8

職業別でみると、農林漁業は「農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み」、学生は「後継者、農業労働力の確保、育成」をそれぞれ第1位にあげており、それ以外の職業との差がみられます。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
農林漁業 (109人)	付加価値を高めるための取り組み	後継者、農業労働力の確保、育成	土地基盤の整備	流通・販売対策の強化	安全な食べ物づくり
	46.8	43.1	34.9	32.1	31.2
製造・建設業 (111人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	学校給食や飲食店等での地産地消	流通・販売対策の強化
	55.9	45.0	40.5	34.2	27.9
商業・サービス・金融業 (223人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	学校給食や飲食店等での地産地消	流通・販売対策の強化
	56.5	44.4	40.8	38.6	29.6
公務・団体等勤務 (117人)	安全な食べ物づくり	付加価値を高めるための取り組み	後継者、農業労働力の確保、育成	学校給食や飲食店等での地産地消	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備
	61.5	48.7	45.3	37.6	20.5
その他職業 (198人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	学校給食や飲食店等での地産地消	付加価値を高めるための取り組み	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備
	53.0	48.5	39.9	35.4	25.3
学生(6人)	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	農村部の環境や景観の向上、保全 安全な食べ物づくり 学校給食や飲食店等での地産地消		
	83.3	50.0	33.3		
家事専業 (274人)	安全な食べ物づくり	学校給食や飲食店等での地産地消	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備
	64.6	46.4	40.5	39.1	27.7
無職 (198人)	安全な食べ物づくり	後継者、農業労働力の確保、育成	付加価値を高めるための取り組み	学校給食や飲食店等での地産地消	生産者と消費者が直接ふれあう環境整備
	60.6	48.5	39.9	30.8	30.3

居住地区別にみると、「農村部の環境や景観の向上、保全」は温泉地区・農村東部の回答率が他の地区に比べて高く、差がみられます。



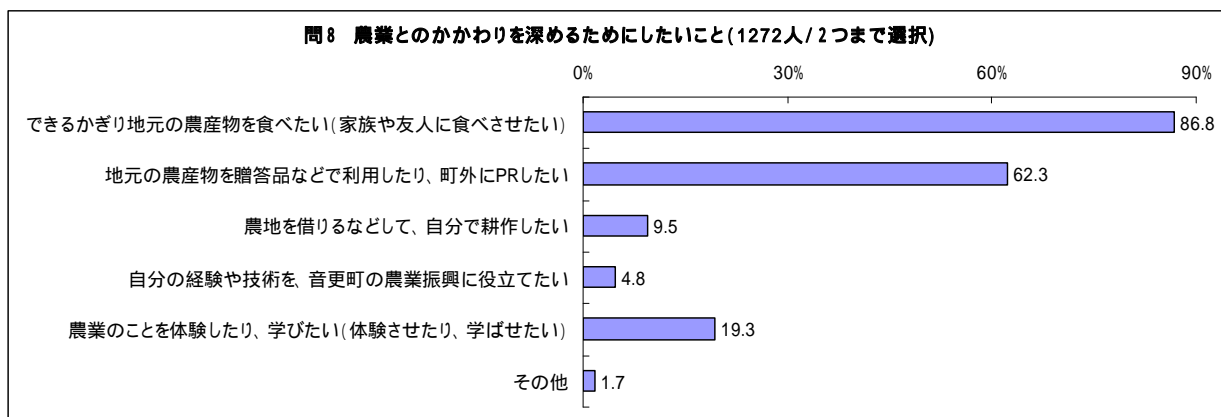
< 「その他」の記述内容 >

- ・天候で作物のできが違った時、国なり町なりで買い取り食べ物に困っている国へ送る
- ・低農薬等の良いものを作ればブランド化も価値が上がる
- ・音更J A、木野J Aの合併による基盤強化、ブランド力向上
- ・営業力の強化
- ・海産物との流通
- ・高付加価値をつけるための助成
- ・主体的・自主的な作付け(農作物の種類)を考えるべき
- ・新しい保存技術(キャス冷凍、氷感保冷等)利用し海外に目を向ける。世界中に通用する
- ・定年退職者の利用 教育して農業ができるようする1~2年
- ・冬季の労働力の効率良い使い道
- ・農業従事の方が安定して働き続けやすいような対策
- ・農地の企業への積極開放
- ・小さい農家への支援
- ・勉強会を開いてほしい J A、役場、農民、消費者が揃う必要あり

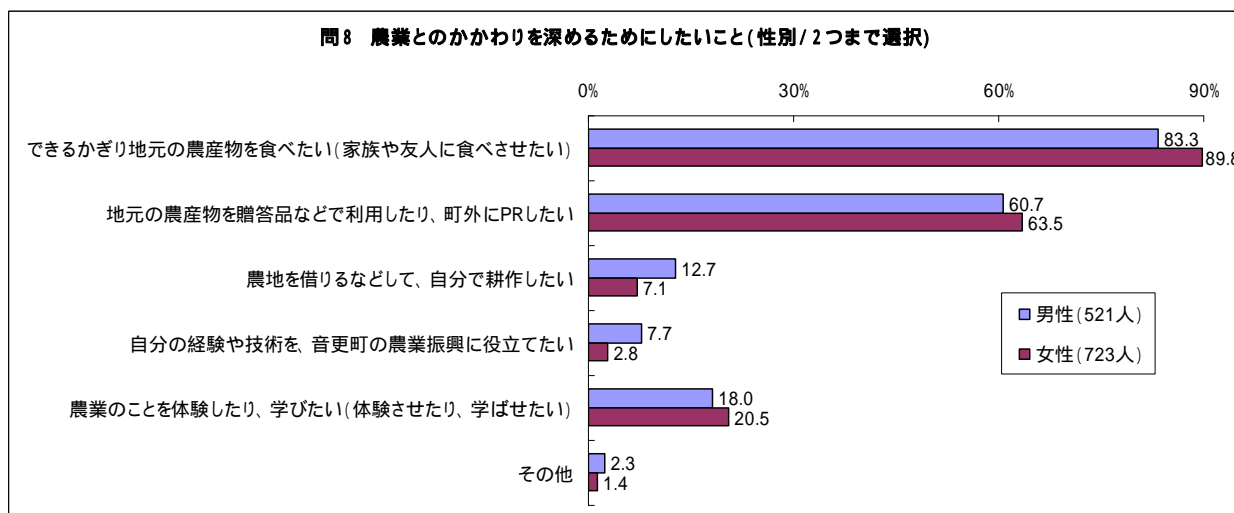
【問8】農業とのかかわりを深めるためにしたい(できる)こと

【問8】音更町の基幹産業である農業とのかかわりを深めるために、どのようなことがしたい(できる)と思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

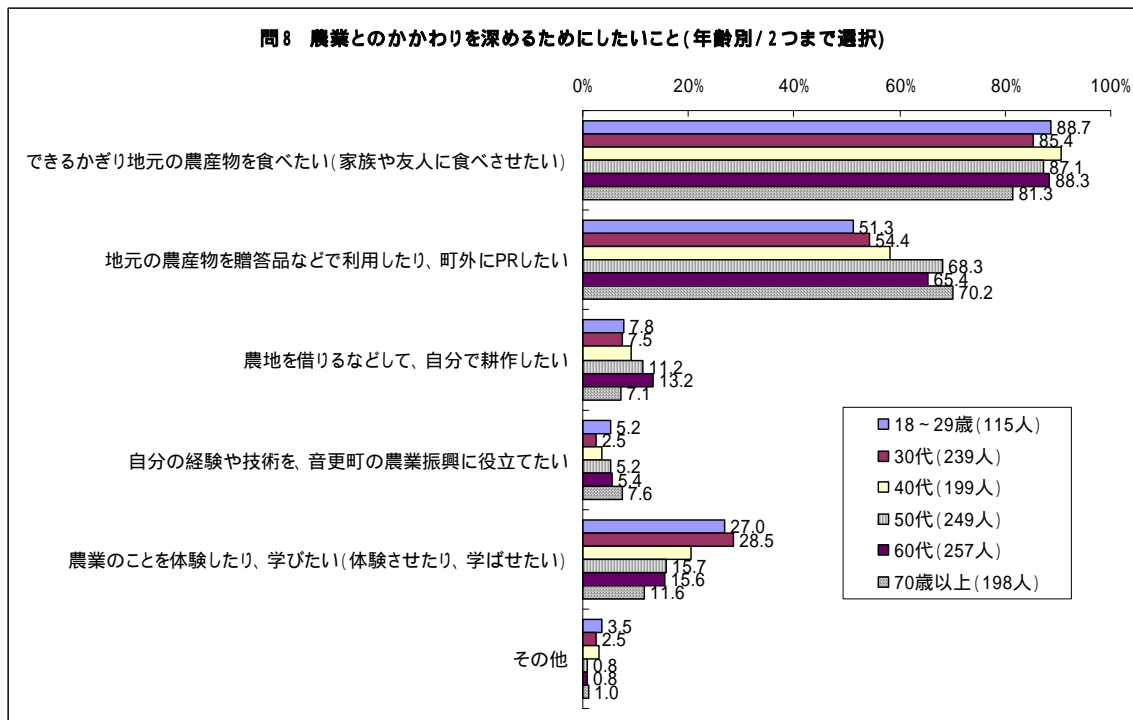
「できるかぎり地元の農産物を食べたい(家族や友人に食べさせたい)」(86.8%)が最も高く、「地元の農産物を贈答品などで利用したり、町外にPRしたい」(62.3%)が続きます。



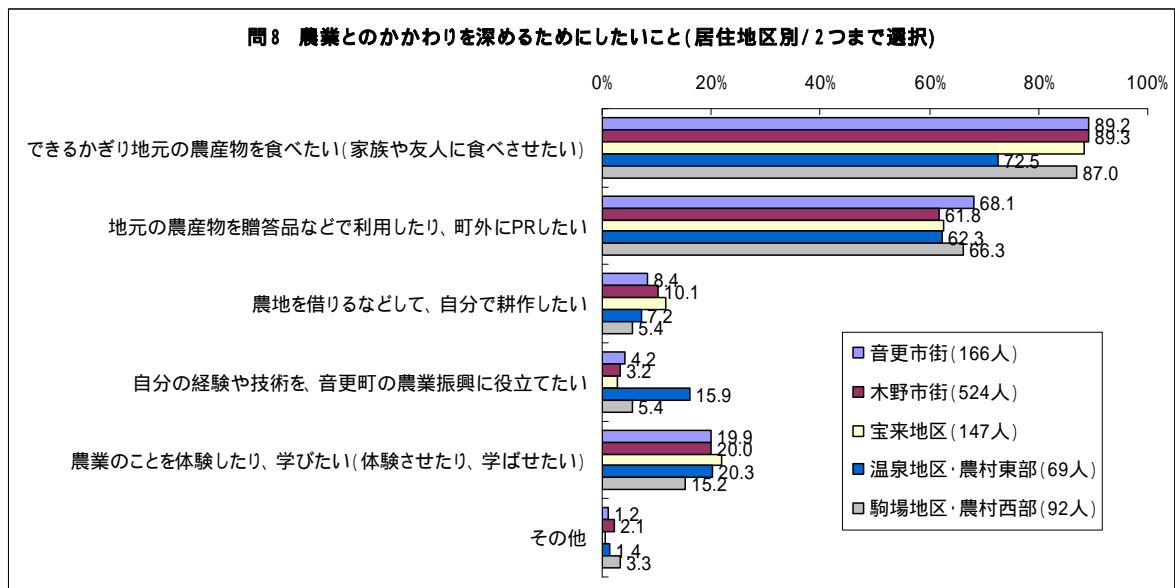
性別にみると、回答傾向に大きな差はみられません。



年齢別でも、回答傾向に大きな差はみられません。



居住地区別にみると、「自分の経験や技術を、音更町の農業振興に役立てたい」は温泉地区・農村東部の回答率が他の地区に比べて高く、差がみられます。



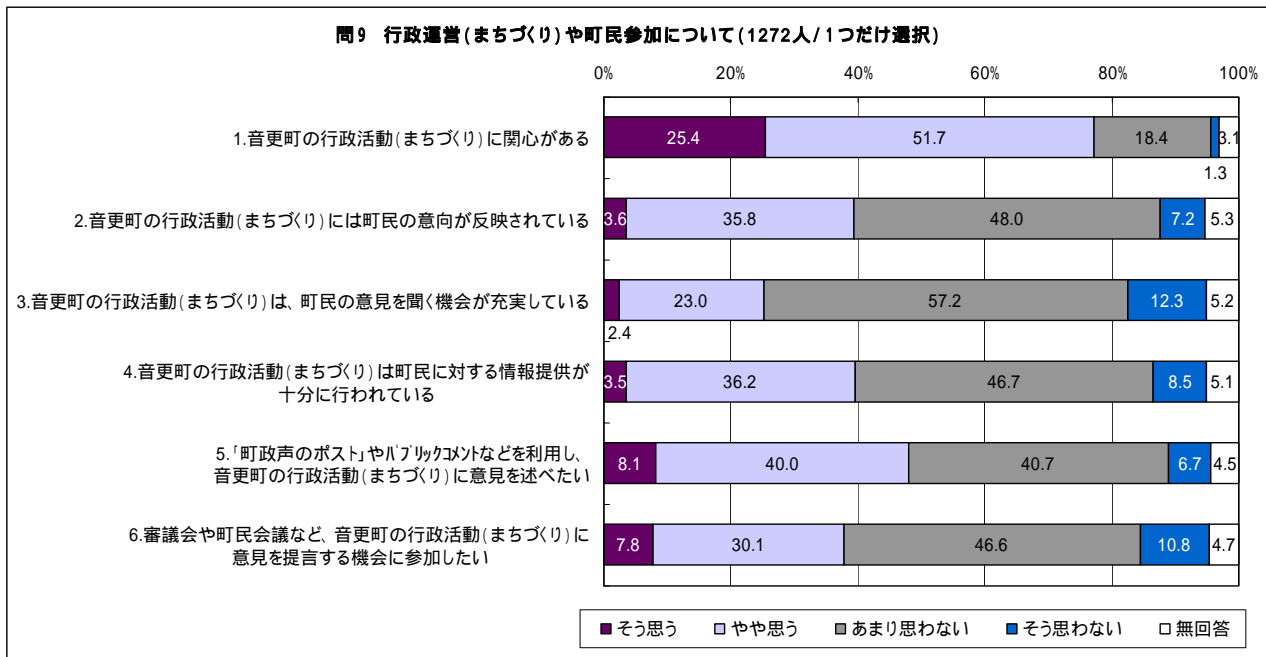
< 「その他」の記述内容 >

- ・ 9:00 ~ 15:30 までなど主婦が働ける場として農業家と町が話し合う
- ・ これからを担う子供たちが総合学習の中などで農家と関わり学ばせていくことが大切
- ・ 家庭菜園などができるアパートやマンションの建設 ・ 未利用地(空地)で家庭菜園ができるとよい
- ・ 学校給食に地産地消として食べて学んでほしい ・ 観光型農業へ向けたワークショップの企画
- ・ 後継ぎばかりだけのものではなく、新規農業従事者を増やす ・ 修学旅行の誘致
- ・ 新しい農作物及び食材の開発、加工機械の開発 ・ 有名農産物を育てたい
- ・ 生産者と消費者の交流会をして、生産者のこだわりを聞きたい ・ 家庭菜園や農業移民(住)受入など
- ・ 地域農業と環境を両立させるシステム構築 ・ 町のブランドとしての農産物を造る
- ・ 農、商、管、民が一体化して商品の開発、販路を研究して欲しいし、民として参加したい
- ・ 農業機械、酪農機械の販売、情報提供 ・ 離農者の土地の活用方法

【問9】行政運営（まちづくり）や町民参加について

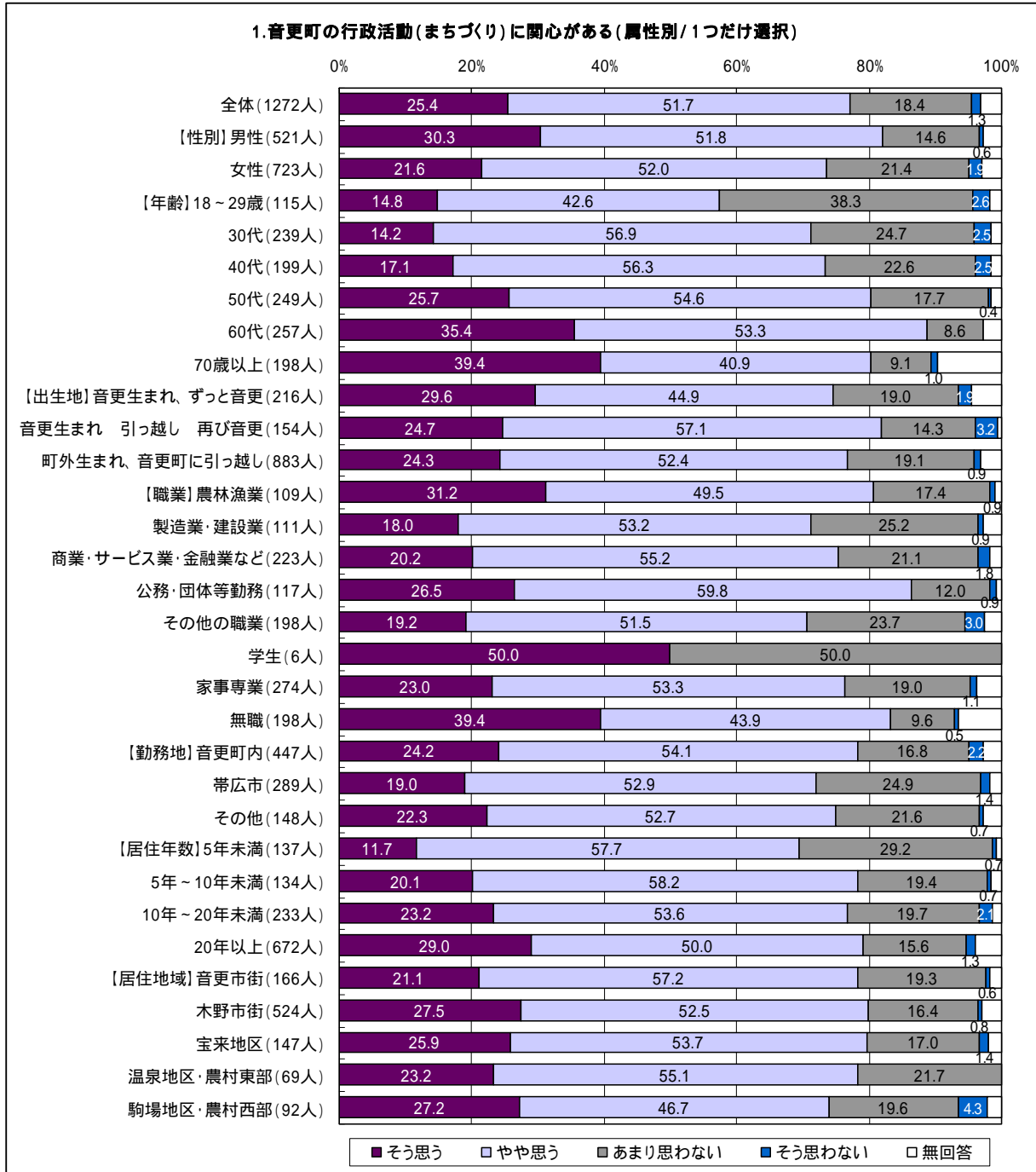
【問9】行政運営（まちづくり）や町民参加に関する次の項目について、それぞれどのように考えですか。下の各選択肢（A～D）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

5つの項目のうち、「そう思う」が最も高かったのは「1.音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある」です。一方「そう思う」が最も低く、「そう思わない」が最も高かったのは「3.音更町の行政活動（まちづくり）は、町民の意見を聞く機会が充実している」です。



1. 音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある

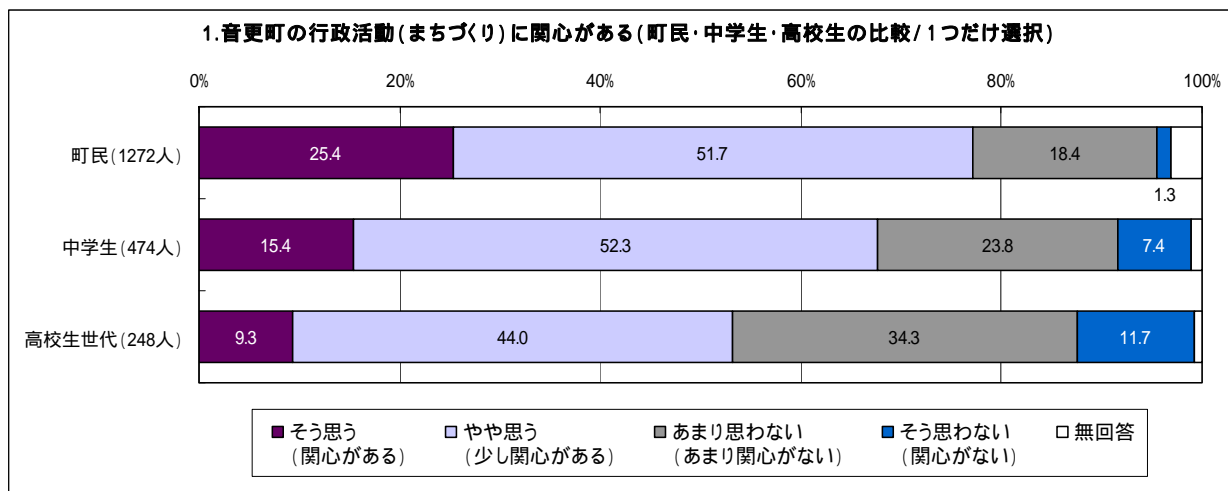
性別にみると、「そう思う」は男性の方が高くなっています。
 年齢別にみると、年齢が高まるにつれて「そう思う」が高まる傾向にあります。
 居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて「そう思う」が高くなっています。



中学生アンケート・高校生世代アンケートとの比較

「1. 音更町の行政活動（まちづくり）に関心がある」を中学生、高校生世代のアンケートと比較すると、最も関心が高いのは町民で、中学生、高校生世代の順となっています。

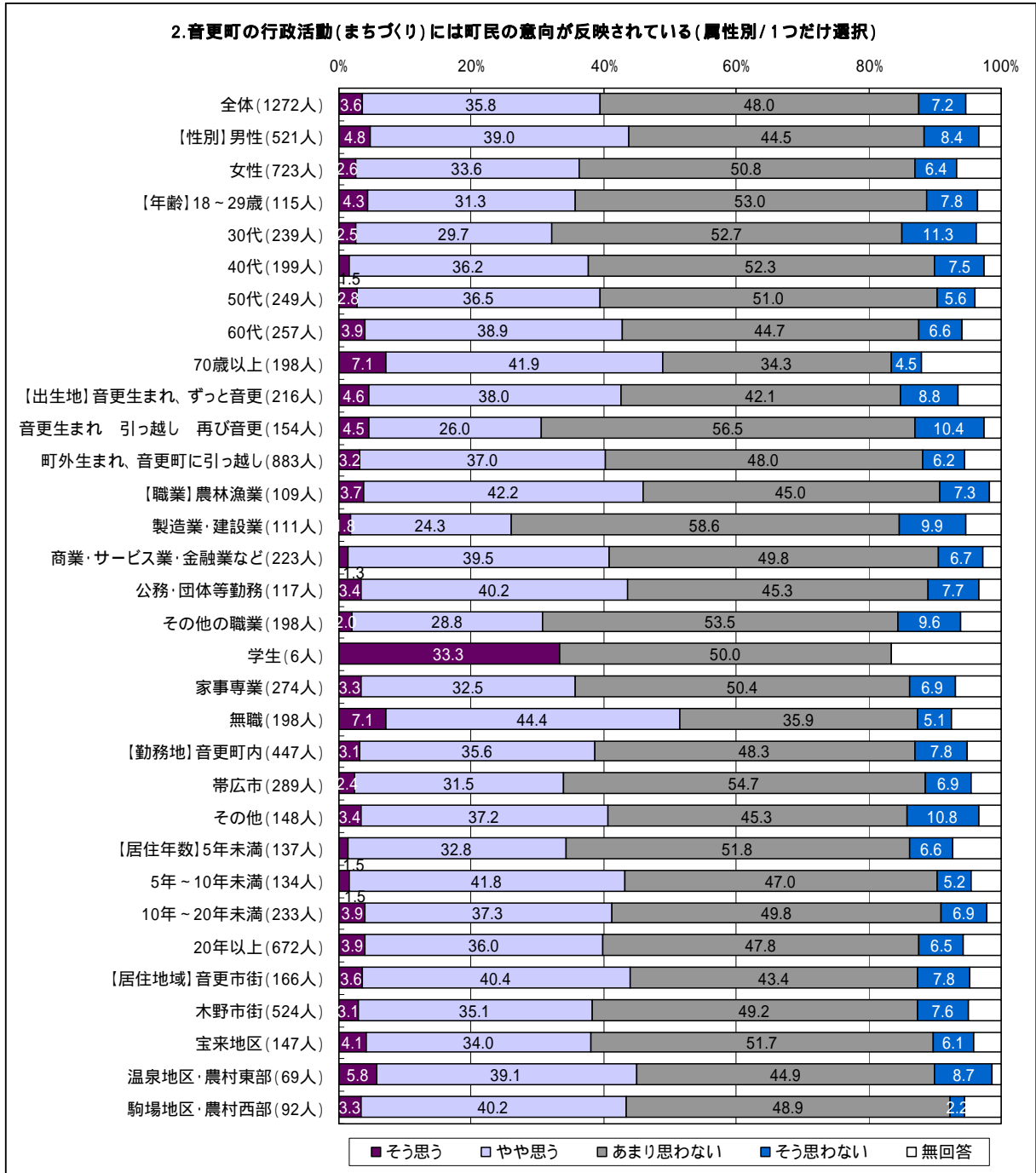
小中学生、高校生世代の選択肢は「関心がある」「少し関心がある」「あまり関心がない」「関心がない」です。



2. 音更町の行政活動（まちづくり）には町民の意向が反映されている

性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方がやや高くなっています。

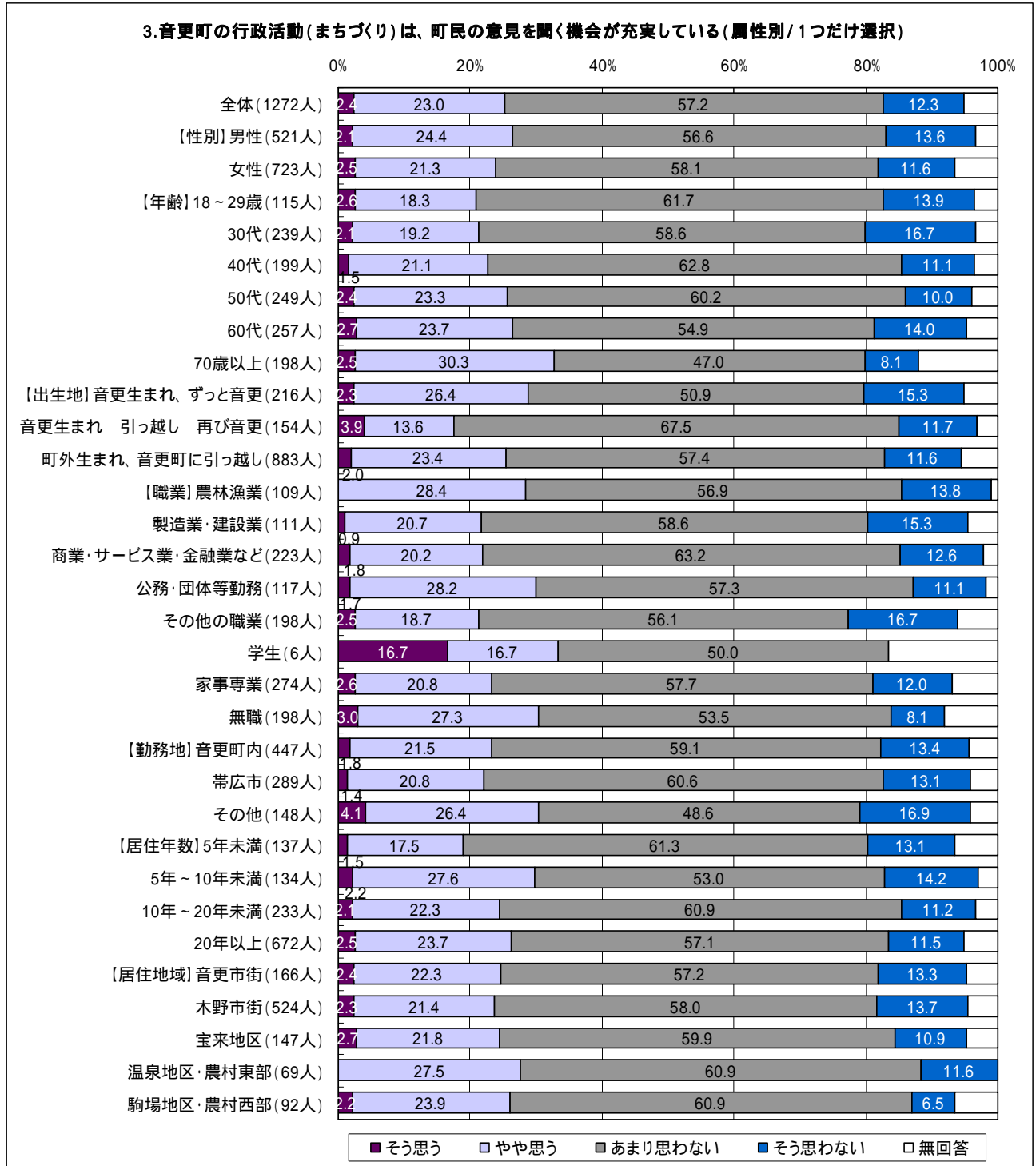
年齢別にみると、30代以上では、年齢が高まるにつれて肯定的な回答が高まる傾向にあります。



3. 音更町の行政活動（まちづくり）は、町民の意見を聞く機会が充実している

性別にみると、回答傾向に大きな差はみられません。

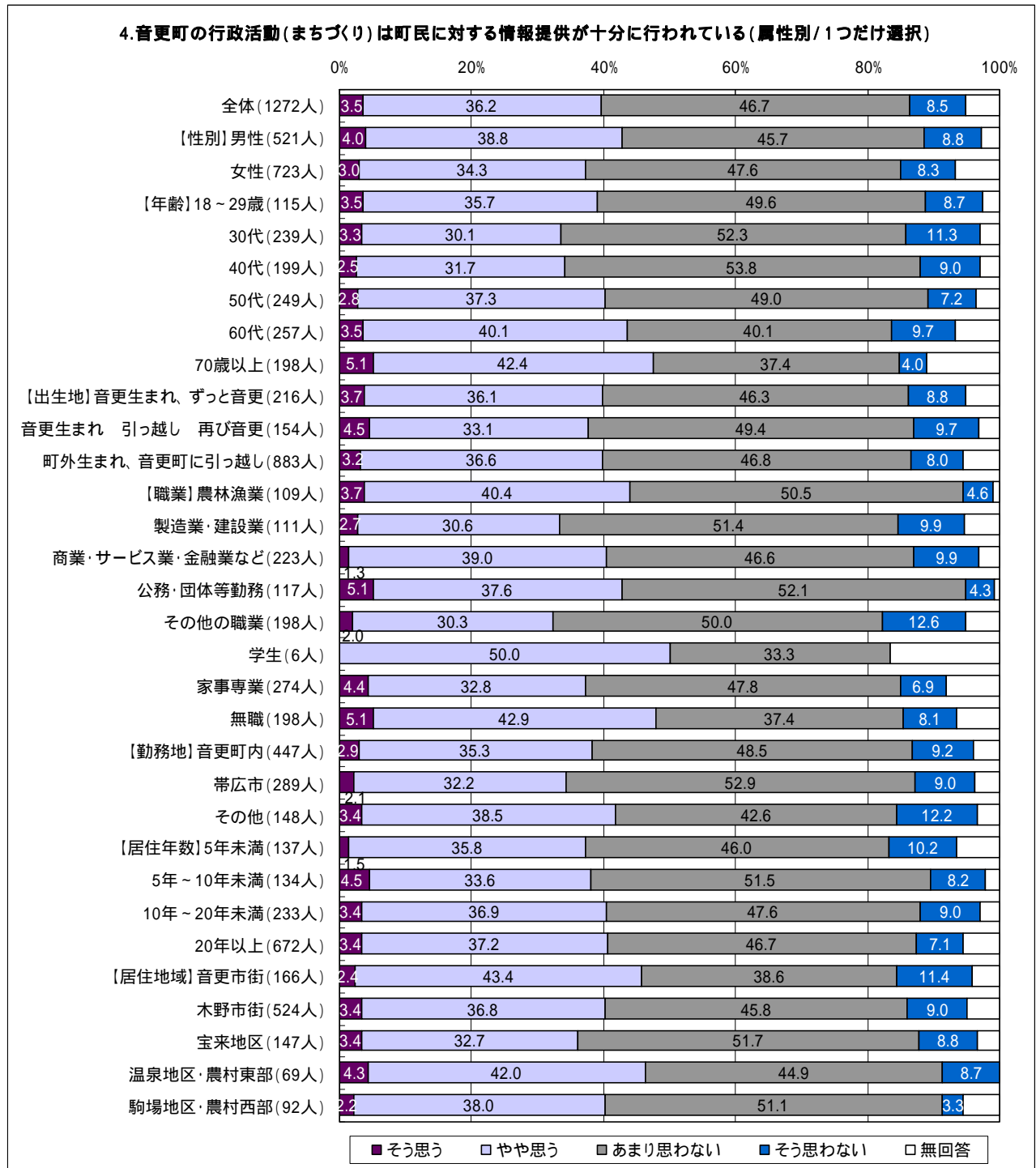
年齢別にみると、年齢が高まるにつれて「やや思う」が高くなっています。



4. 音更町の行政活動（まちづくり）は町民に対する情報提供が十分に行われている

性別にみると、「やや思う」は男性の方がやや高くなっています。

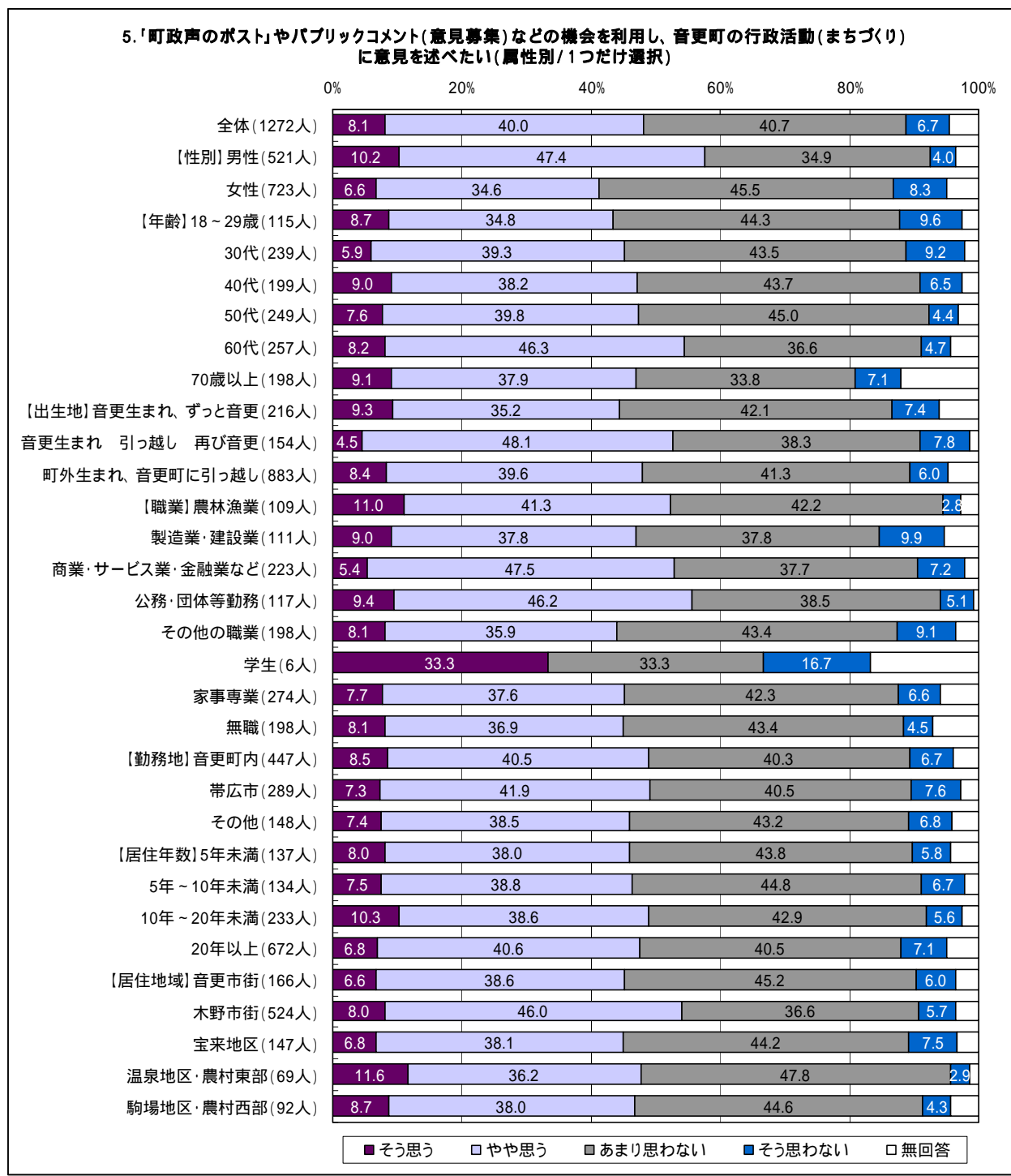
年齢別にみると、30代以上では、年齢が高まるにつれて肯定的な回答が高まる傾向にあります。



5. 「町政声のポスト」やパブリックコメントなどを利用し、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を述べたい

性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。特に「やや思う」で男女の差がみられます。

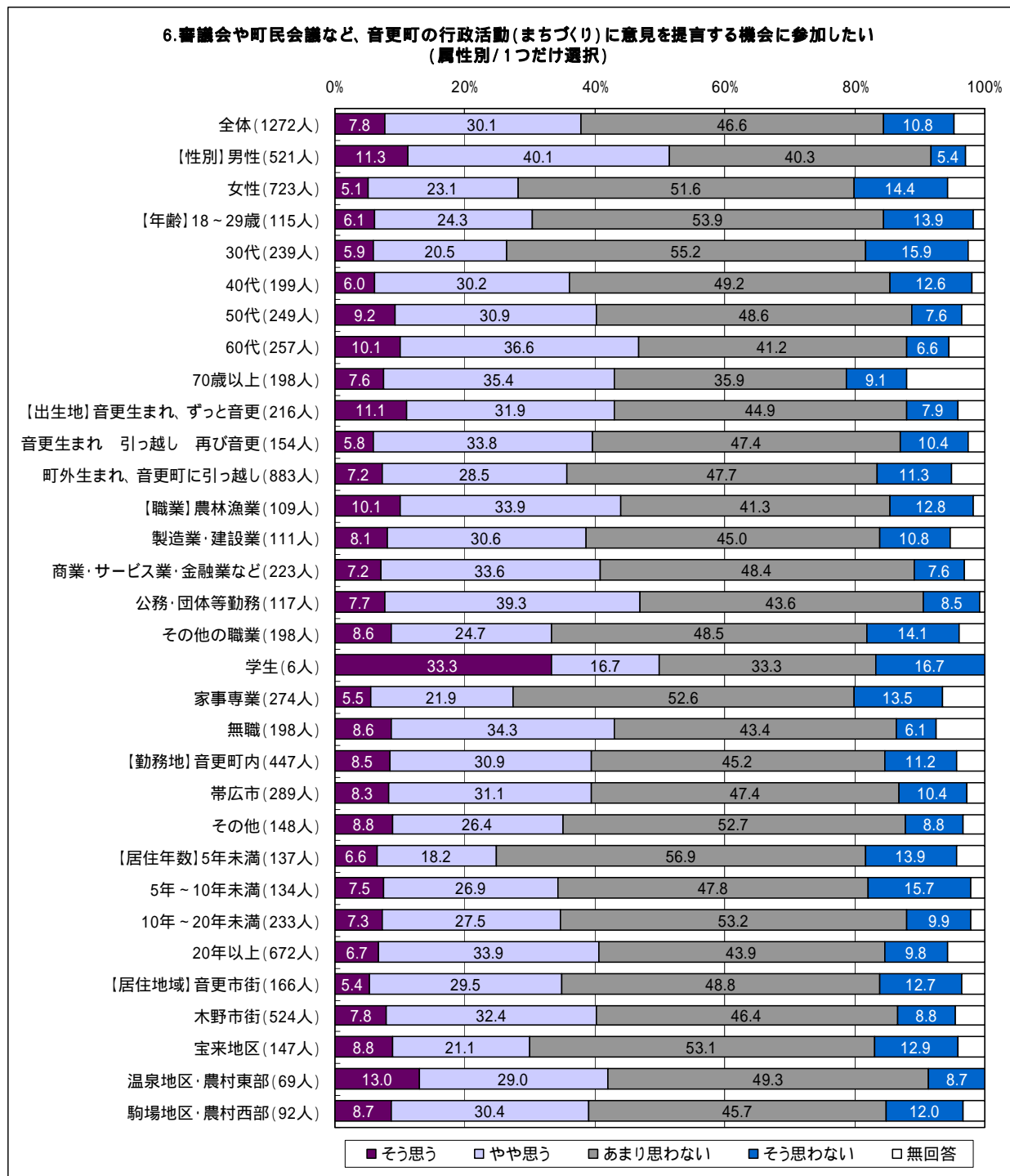
年齢別にみると、60代までは、年齢が高まるにつれて肯定的な回答が高まる傾向にあります。



6. 審議会や町民会議など、音更町の行政活動（まちづくり）に意見を提言する機会に参加したい

性別にみると、「そう思う」「やや思う」ともに男性の方が高くなっています。特に「やや思う」で男女の差がみられます。

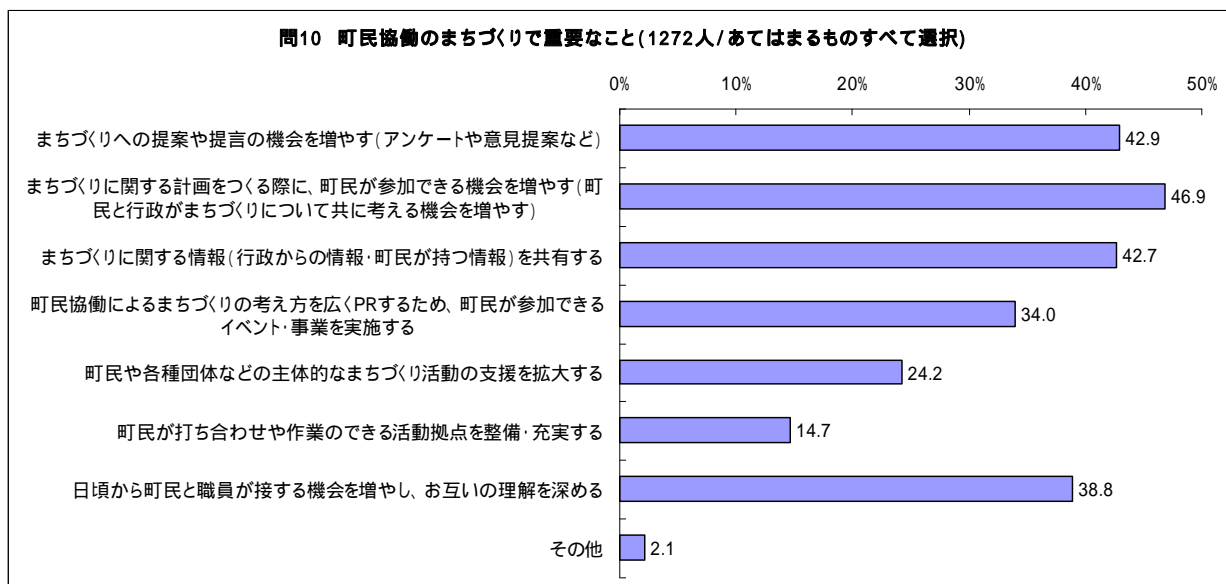
年齢別にみると、60代までは、年齢が高まるにつれて肯定的な回答が高まる傾向にあります。居住年数別にみると、居住年数が長くなるにつれて肯定的な回答が高まる傾向にあります。



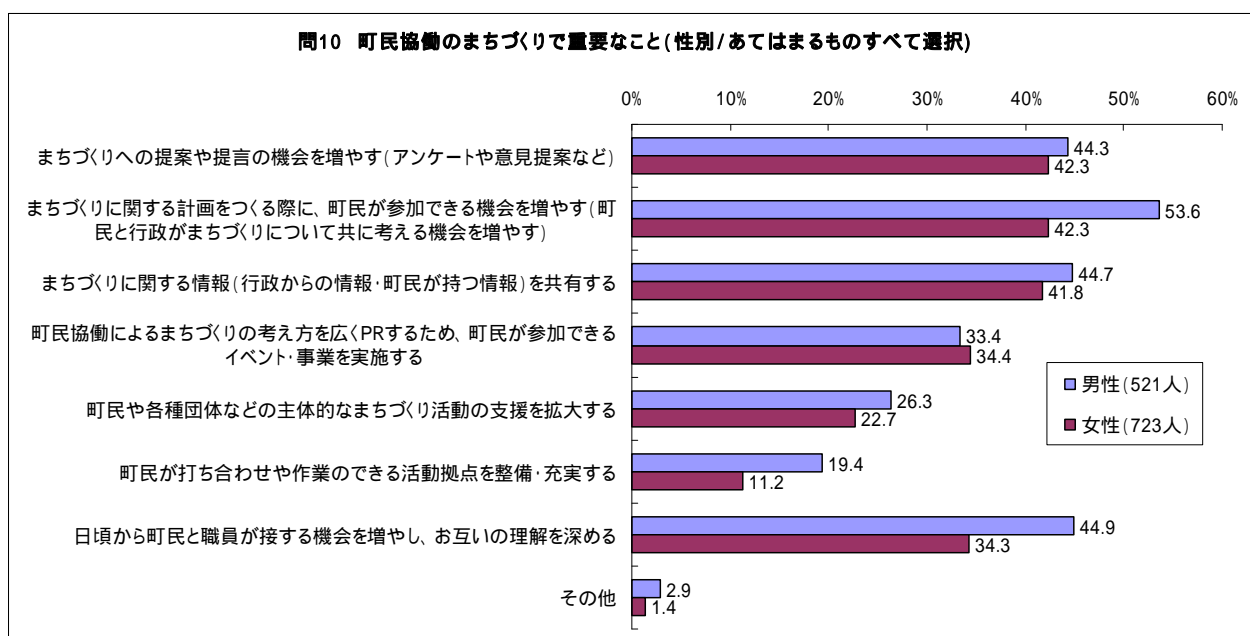
【問 10】町民協働のまちづくりで重要なこと

【問 10】音更町では、「まちづくり基本条例」を定め、「町民協働によるまちづくり」を進めています。このような「町民協働によるまちづくり」を進めるうえで、どのようなことが重要だとお考えですか。あてはまるものすべてに 印をつけてください。

「まちづくりに関する計画をつくる際に、町民が参加できる機会を増やす（町民と行政がまちづくりについて共に考える機会を増やす）」が 46.9%と最も高く、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす（アンケートや意見提案など）」（42.9%）、「まちづくりに関する情報（行政からの情報・町民が持つ情報）を共有する」（42.7%）が僅差で続きます。



性別にみると、女性は、「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」と「まちづくりに関する計画をつくる際に、町民が参加できる機会を増やす（町民と行政がまちづくりについて共に考える機会を増やす）」を同率で第 1 位にあげています。第 2 位については、男性は「日頃から町民と職員が接する機会を増やし、お互いの理解を深める」、女性は「まちづくりに関する情報を共有する」を、それぞれあげています。



年齢別にみると、18～29歳は「まちづくりに関する情報を共有する」と「町民が参加できるイベント・事業を実施する」を同率で、30代は「まちづくりに関する情報を共有する」、40代は「まちづくりへの提案や提言の機会を増やす」、50代以上は「まちづくりに関する計画をつくる際に、町民が参加できる機会を増やす（町民と行政がまちづくりについて共に考える機会を増やす）」をそれぞれ第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	まちづくりに関する情報を共有 町民が参加できるイベント・事業を 実施		まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	町民と行政がまち づくりについて共 に考える機会増加	日頃から町民と職 員の理解深める
	47.0		45.2	44.3	39.1
30代 (239人)	まちづくりに関す る情報を共有	まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	町民と行政がまち づくりについて共 に考える機会増加	町民が参加できる イベント・事業を 実施	日頃から町民と職 員の理解深める
	50.2	49.0	41.4	38.1	30.5
40代 (199人)	まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	町民と行政がまちづくりについて共に 考える機会増加 まちづくりに関する情報を共有		日頃から町民と職 員の理解深める	町民が参加できる イベント・事業を 実施
	45.7	42.2		35.2	30.7
50代 (249人)	町民と行政がまち づくりについて共 に考える機会増加	まちづくりに関す る情報を共有	まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	日頃から町民と職 員の理解深める	町民が参加できる イベント・事業を 実施
	46.2	45.8	40.2	38.2	31.7
60代 (257人)	町民と行政がまち づくりについて共 に考える機会増加	日頃から町民と職 員の理解深める	まちづくりに関す る情報を共有	まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	町民が参加できる イベント・事業を 実施
	53.7	41.6	40.5	38.9	28.4
70歳以上 (198人)	町民と行政がまち づくりについて共 に考える機会増加	日頃から町民と職 員の理解深める	まちづくりへの提 案や提言の 機会増加	町民が参加できる イベント・事業を 実施	まちづくりに関す る情報を共有
	52.5	50.0	41.4	35.9	30.8

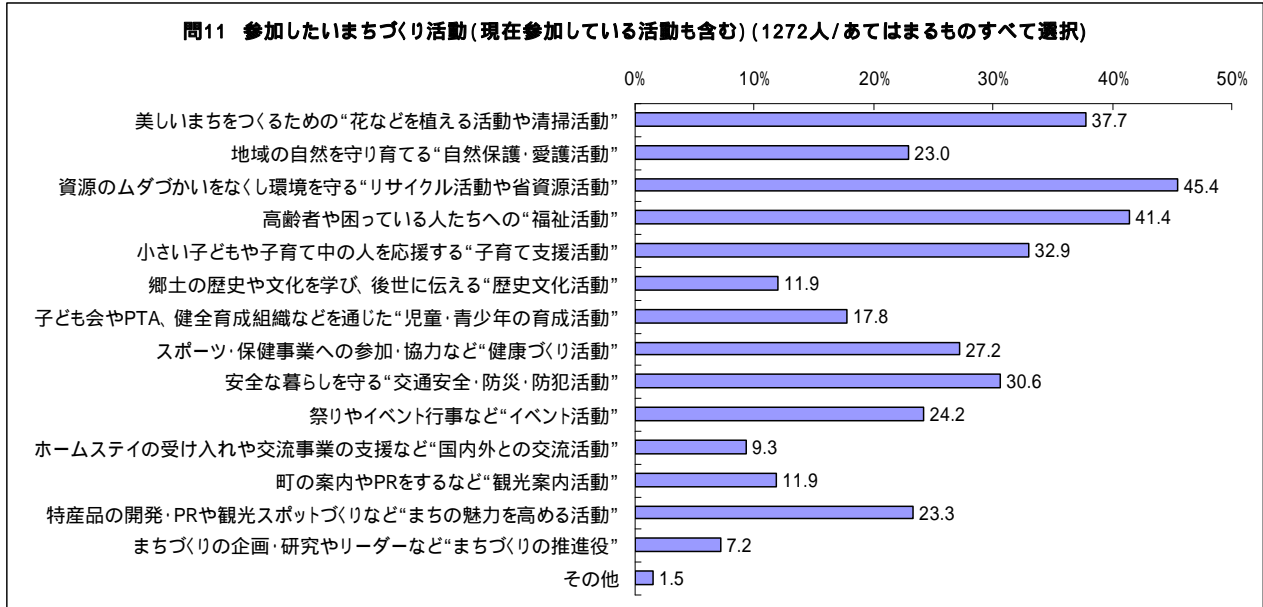
< 「その他」の記述内容 >

- ・ 関心がなかったの以上記条例を初めて知った
- ・ 条例の作成内容が抽象的で方向性が見えない
- ・ どこで参加出来るのか、行く事そのものが良いかわからない
- ・ まちづくりへの提案者を育てる学習会をする
- ・ 機会を増やしても参加する人は限られている。HPの活用など、幅広く意見を聞いてほしい
- ・ 協働は不要。行政がしっかりとしたまちづくりを
- ・ 事業自体はすばらしいと思うが助成金を出すから事業を展開して下さいというのはおかしい
- ・ 子供、障害者、お年寄にやさしい町に
- ・ 人づくり、思いやりのある人づくりが先
- ・ 大人主体だけでなく、子供達とも接する
- ・ 町長のリーダーシップ、目に見えるような町議員の活動があってはじめて住民がついていくのでは
- ・ 町民が住んでよかった町づくりを目指せば良いと思う
- ・ 住民の代表たる議会議員の住民との接点が全くない。支持者に限定せず公人として多くの意見聴取の機会を持って欲しい。移住者等議員を全く知らない住民は増えているように思う
- ・ 町民の意見を町議会議員が正確に把握し、議会の場で議論すべき
- ・ 行政が少し町に出て声を聞く（机だけでなく）
- ・ 役場職員は自分が所属する町内会行事などに積極的に参加し、明るい町づくりにつとめるべきだ
- ・ 理事者が町民の声を直接聞く機会を増やす
- ・ 役場職員の質の向上が必須
- ・ 有名な文化人をキーパーソンに立てる

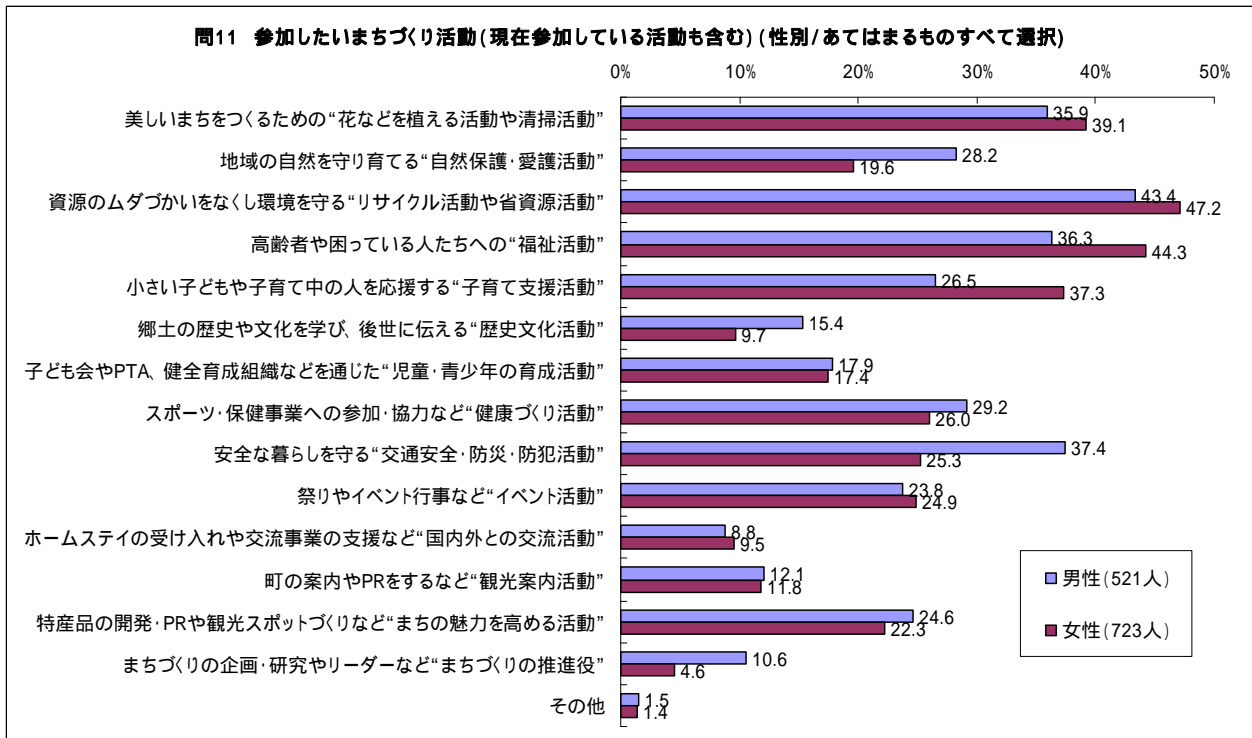
【問 11】参加したいまちづくり活動

【問 11】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。現在参加されているものも含めて、あてはまるものすべてに 印をつけてください。

「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動” (45.4%) が最も高く、「高齢者や困っている人たちへの“福祉活動” (41.4%) が続きます。



性別にみると、男女とも「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」が第1位ですが、女性の回答率が男性より高くなっています。第2位については、男性は「安全な暮らしを守る“交通安全・防災・防犯活動”」、女性は「高齢者や困っている人たちへの“福祉活動”」をあげており、それぞれ男女の差がみられます。



年齢別にみると、18～29歳と30代は「子育て支援活動」、40代～60代は「リサイクル活動や省資源活動」、70歳以上は「花などを植える活動や清掃活動」をそれぞれ第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	子育て支援活動	イベント活動	リサイクル活動や 省資源活動	福祉活動	健康づくり活動
	49.6	46.1	40.0	38.3	26.1
30代 (239人)	子育て支援活動	リサイクル活動や 省資源活動	イベント活動	福祉活動	健康づくり活動
	49.0	38.1	34.7	30.5	29.3
40代 (199人)	リサイクル活動や 省資源活動	福祉活動	子育て支援活動	交通安全・防災・ 防犯活動	健康づくり活動 イベント活動
	41.7	38.7	33.7	29.1	28.1
50代 (249人)	リサイクル活動や 省資源活動	花などを植える活 動や清掃活動	福祉活動	健康づくり活動	まちの魅力を高め る活動
	50.6	41.4	41.4	25.3	24.1
60代 (257人)	リサイクル活動や 省資源活動	花などを植える活 動や清掃活動	福祉活動	交通安全・防災・ 防犯活動	健康づくり活動
	51.8	49.4	44.0	38.1	31.5
70歳以上 (198人)	花などを植える活 動や清掃活動	福祉活動	リサイクル活動や 省資源活動	交通安全・防災・ 防犯活動	自然保護・愛護活動
	57.1	54.5	45.5	44.4	29.8

居住地区別にみると、音更地区、木野市街、駒場地区・農村西部で「リサイクル活動や省資源活動」を第1位にあげていますが、特に駒場地区・農村西部の回答率が他の地区に比べて高く、差がみられます。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
音更市街 (166人)	リサイクル活動や 省資源活動	福祉活動	花などを植える活 動や清掃活動	交通安全・防災・ 防犯活動	子育て支援活動
	44.6	44.6	42.8	33.1	28.9
木野市街 (524人)	リサイクル活動や 省資源活動	福祉活動	花などを植える活 動や清掃活動	子育て支援活動	交通安全・防災・ 防犯活動
	50.2	43.7	39.9	35.7	30.5
宝来地区 (147人)	子育て支援活動	リサイクル活動や 省資源活動	福祉活動	交通安全・防災・ 防犯活動	イベント活動
	40.8	37.4	36.7	30.6	30.6
温泉地区・ 農村東部 (69人)	交通安全・防災・ 防犯活動	リサイクル活動や 省資源活動	花などを植える活 動や清掃活動	自然保護・愛護活動	健康づくり活動
	39.1	37.7	36.2	30.4	27.5
駒場地区・ 農村西部 (92人)	リサイクル活動や 省資源活動	花などを植える活 動や清掃活動	福祉活動	交通安全・防災・ 防犯活動	自然保護・愛護活動
	55.4	42.4	39.1	33.7	32.6

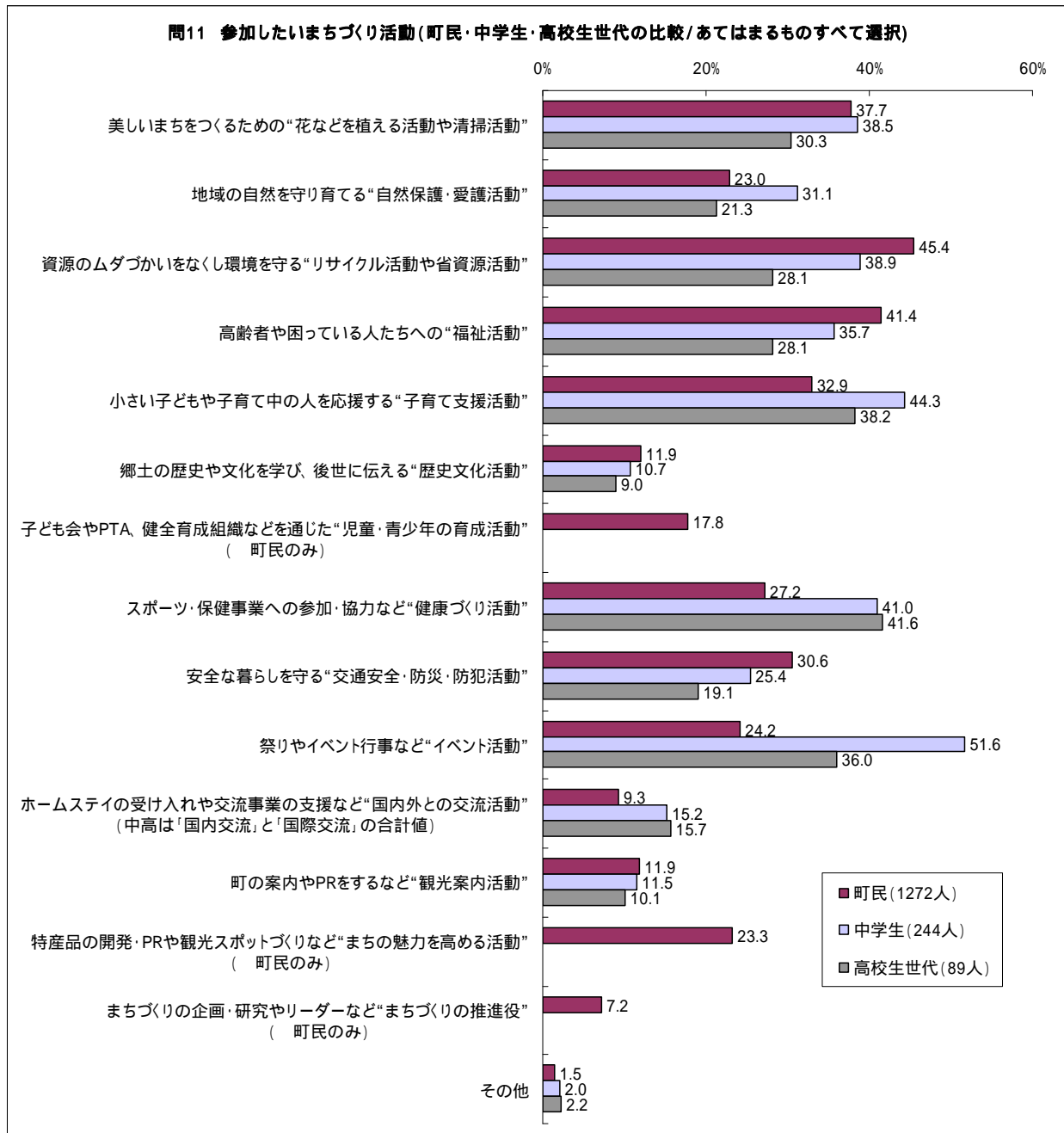
< 「その他」の記述内容 >

- ・この町にしかないorここにすれば“ホット”できるところを作る
- ・ボランティア活動
- ・参加したいけれど体がついて行けない(3)
- ・児童、生徒の登校時の安全のための立ち番活動
- ・消費者協会に入って活動したい
- ・町内会活動
- ・認定審査会(介護保険)
- ・農業、酪農などの第一次産業へのいろいろな活動
- ・アイヌ

中学生アンケート・高校生世代アンケートとの比較

中学生、高校生世代のアンケートと比較すると、町民は「資源のムダづかいをなくし環境を守る“リサイクル活動や省資源活動”」を第1位にあげているのに対して、中学生は「祭りやイベント行事など“イベント活動”」、高校生世代は「スポーツ・保健事業への参加・協力など“健康づくり活動”」をあげています。

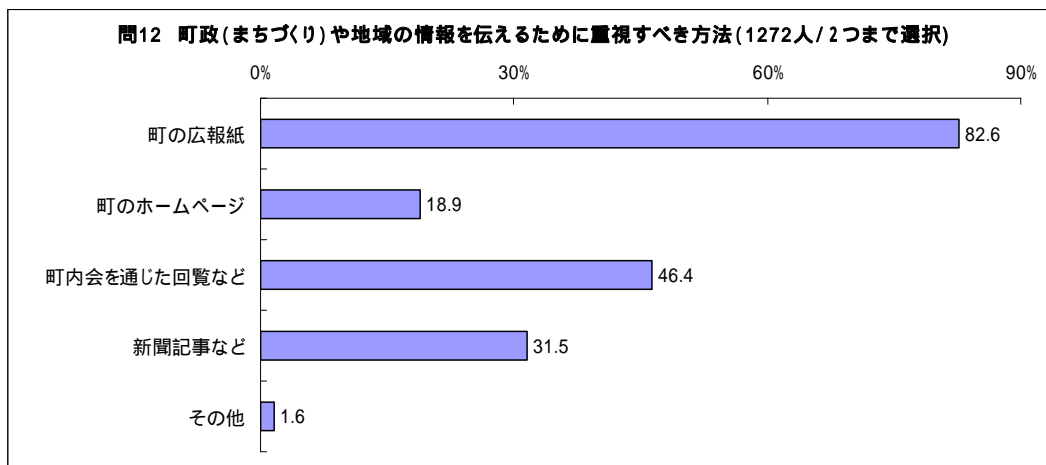
小中学生、高校生世代の選択肢の表現は町民と異なる部分もありますが、ここでは町民の選択肢に合わせて掲載しています。



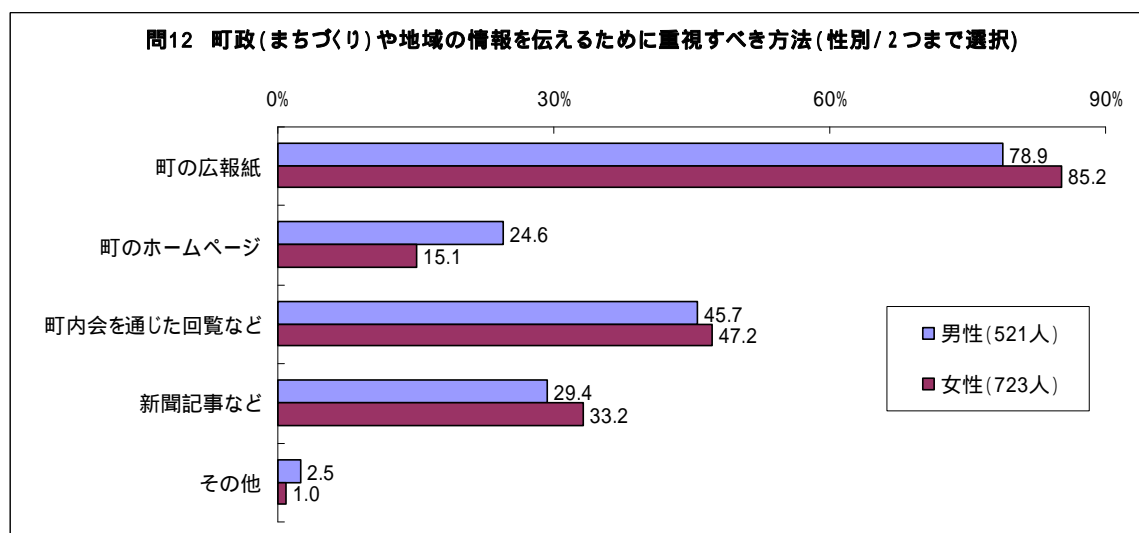
【問 12】町政（まちづくり）や地域に関する情報を伝えるために重視すべき方法

【問 12】町政（まちづくり）や地域に関する情報を伝える方法として、何を重視（充実）すべきと思いますか。次の中から 2 つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「町の広報紙（82.6%）が最も高く、「町内会を通じた回覧など（46.4%）」「新聞記事など（31.5%）」が続きます。

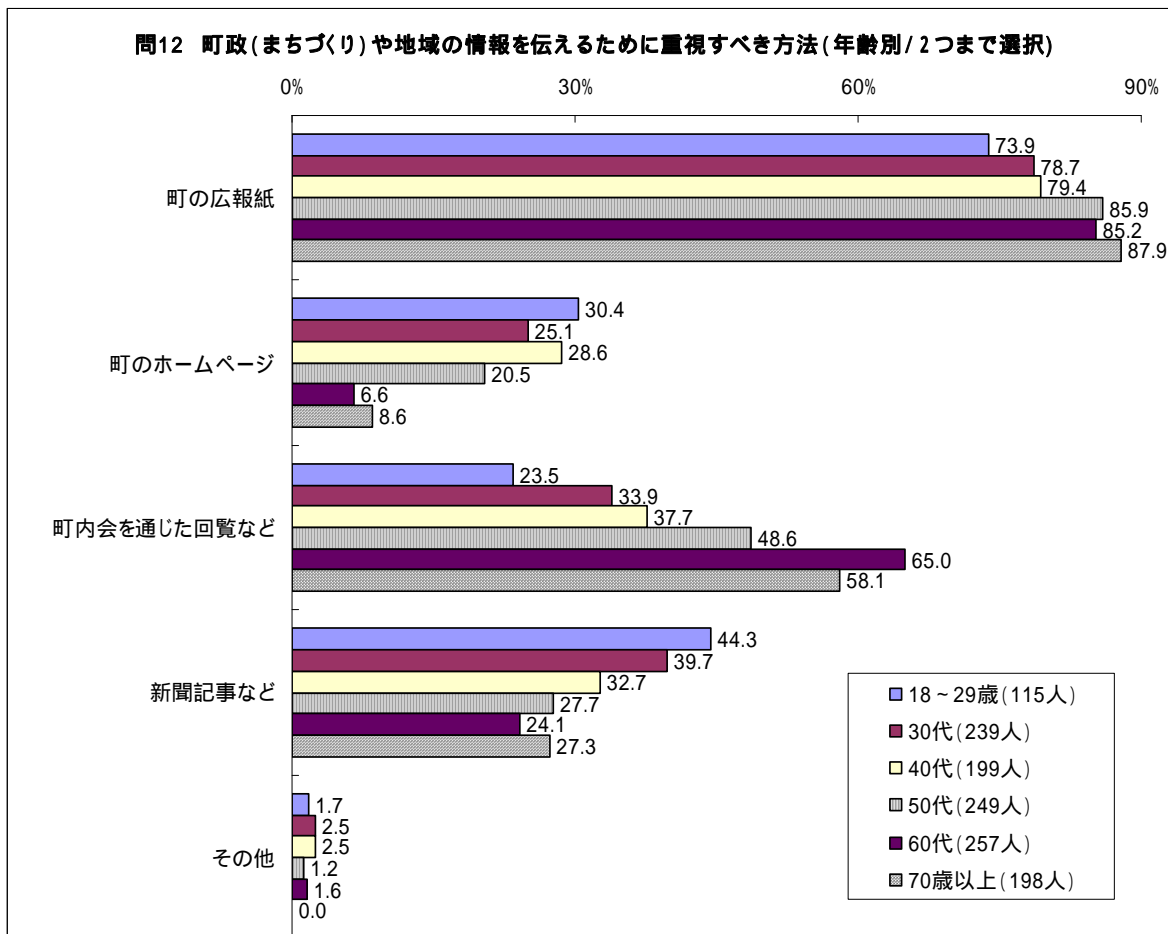


性別にみると、男女とも「町の広報紙」が第1位ですが、女性の方が回答率が高くなっています。また、「町のホームページ」は、男性の回答率が女性よりも高く、差がみられます。



年齢別にみると、各年代とも「町の広報紙」が第1位ですが、年齢が高まるにつれて回答率も高まる傾向にあります。「町内会を通じた回覧」も年齢が高まるにつれて回答率も高まる傾向にありますが、70歳以上の回答率は60代より低くなっています。

一方、「新聞記事」は、年齢が低いほど回答率が高い傾向にあり、「町のホームページ」は50代以下の年代と60代以上の年代で、回答率に大きな差がみられます。



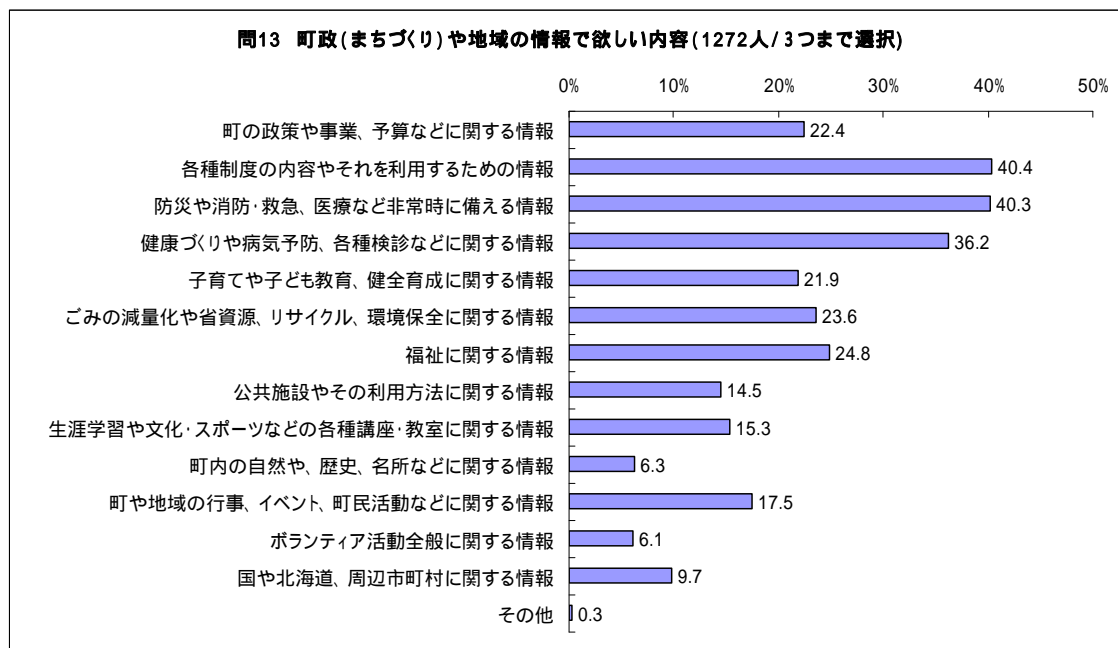
< 「その他」の記述内容 >

- ・懇談会(頻繁に実施)(2)
- ・議員の対話集会(2)
- ・人と人のつながり(町内 行政)/人脈(2)
- ・職員がもっと外を見て歩く/上から物をみない(2)
- ・地域会館等による報告会
- ・町内会、各種団体への町政説明会
- ・町内会にも入ってられるもの
- ・携帯にメール配信して欲しい
- ・ビデオをつかって配る。役場などで流し続ける
- ・広報紙をもう少し工夫して欲しい(活字ばかりだと飽きてしまうため)
- ・広報紙以外のローカル誌があると良い
- ・若年層が目にしやすいもの
- ・従来手法と先進手法との組み合わせで多くの住民に告知
- ・有線放送などをもうける
- ・小、中学校からの通達
- ・アンケート

【問 13】町政（まちづくり）や地域の情報で欲しい内容

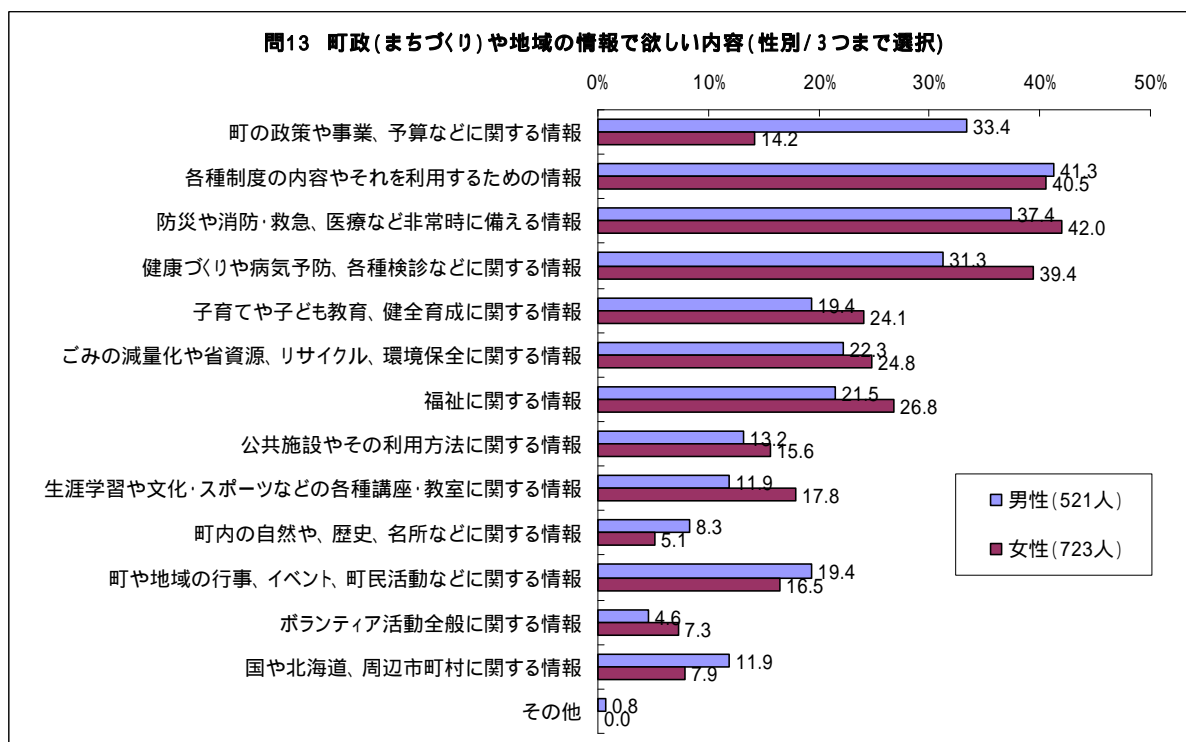
【問 13】町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容が欲しいと思いますか。
次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「各種制度の内容やそれを利用するための情報」（40.4%）が最も高く、「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」がほぼ同率（40.3%）で続きます。



性別にみると、男性は「各種制度の内容やそれを利用するための情報」、女性は「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」を、それぞれ第1位にあげています。

また、「町の政策や事業、予算などに関する情報」は男性、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」「福祉に関する情報」「生涯学習や文化・スポーツなどの各種講座・教室に関する情報」などは女性の回答率がそれぞれ高く、差がみられます。



年齢別にみると、18～29歳と70歳以上は「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」、30代は「子育てや子ども教育、健全育成に関する情報」、40～60代は「各種制度の内容やそれを利用するための情報」をそれぞれ第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	子育てや子ども教育、健全育成に関する情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	各種制度の内容やそれを利用するための情報	公共施設やその利用方法に関する情報
	41.7	39.1	35.7	30.4	27.8
30代 (239人)	子育てや子ども教育、健全育成に関する情報	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	各種制度の内容やそれを利用するための情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	町や地域の行事、イベント、町民活動などに関する情報
	49.4	39.3	38.9	36.0	20.9
40代 (199人)	各種制度の内容やそれを利用するための情報	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全に関する情報 福祉に関する情報	
	46.7	42.2	29.1	25.1	
50代 (249人)	各種制度の内容やそれを利用するための情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	福祉に関する情報	ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全に関する情報
	45.0	36.1	34.9	29.3	26.1
60代 (257人)	各種制度の内容やそれを利用するための情報	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	福祉に関する情報	町の政策や事業、予算などに関する情報
	41.2	40.5	38.9	30.0	28.0
70歳以上 (198人)	防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報	健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報	各種制度の内容やそれを利用するための情報	福祉に関する情報	町の政策や事業、予算などに関する情報
	46.0	40.4	35.9	32.3	26.8

< 「その他」の記述内容 >

- ・すべて 人から人へ伝えられるすべての情報
- ・新聞社の経済紙的な提示や町民の声反応の提示
- ・宅地造成・道路開発計画
- ・町内の民間が経営している方達の情報（グルメマップなど）

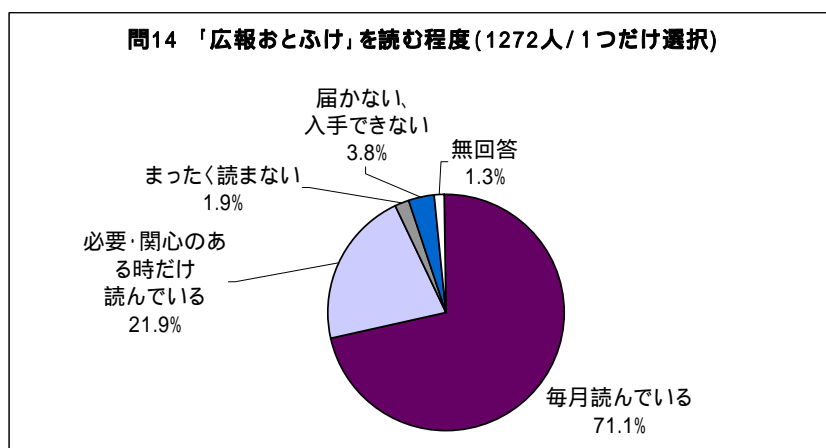
【問 14】「広報おとふけ」と町のホームページを読む程度

【問 14】音更町では、毎月1回発行の「広報おとふけ」と町のホームページで、町に関する情報をお伝えしています。あなたは、それぞれ、どのくらいご覧になりますか。次の中からそれぞれ1つずつ選んで、番号に 印をつけてください。

「広報おとふけ」について

「毎月読んでいる」が71.1%と最も高く、「必要・関心のある時だけ読んでいる」(21.9%)が続きます。

「届かない、入手できない」という回答も3.8%を占めます。

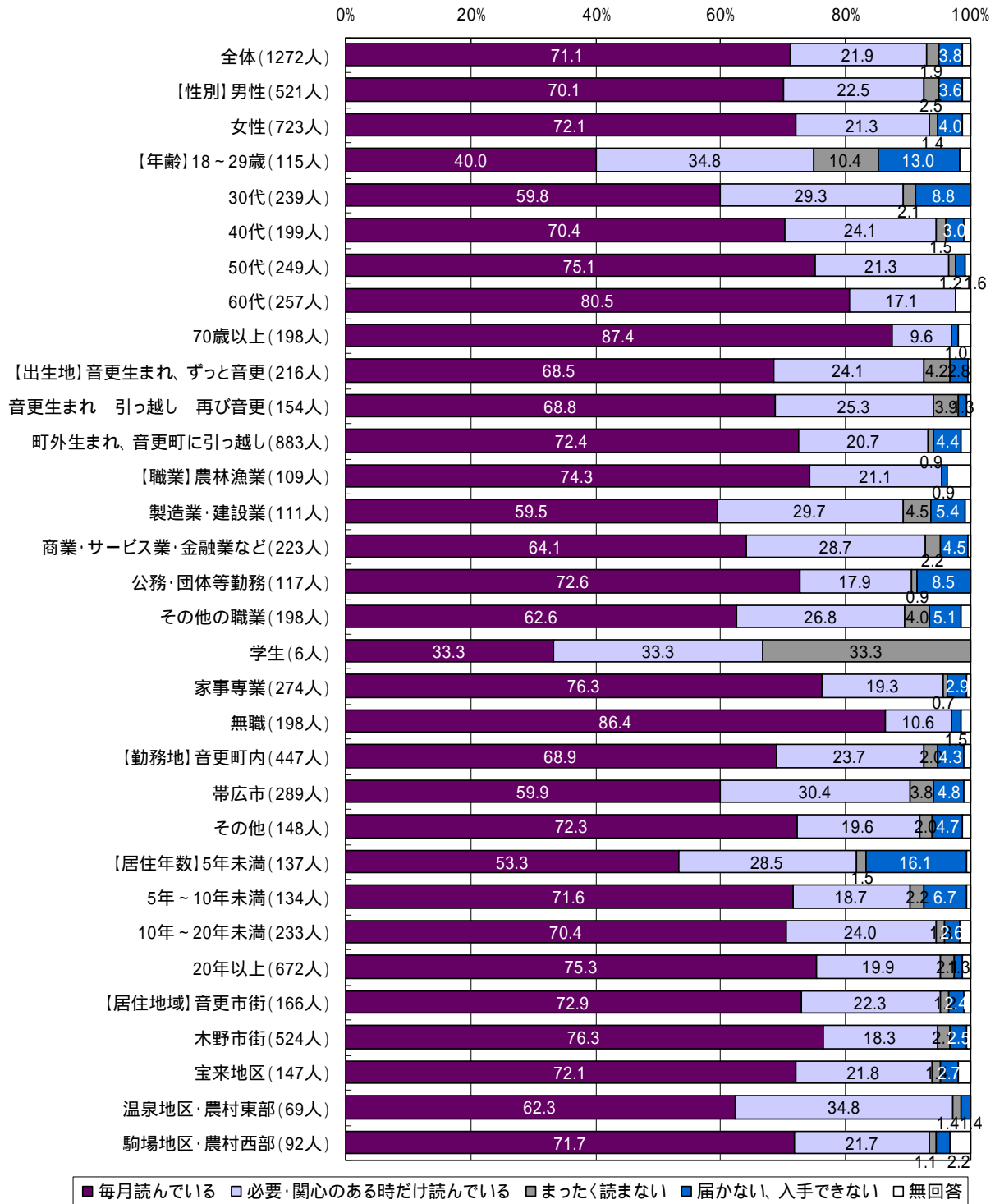


性別にみると、回答傾向に大きな差はみられません。

年齢別にみると、年齢が高まるにつれて「毎日読んでいる」の回答率が高まっています。18～29歳では「届かない、入手できない」という回答も他に比べて高くなっています。

居住年数でみると、5年未満や5年～10年未満では、「届かない、入手できない」という回答も他に比べて高くなっています。

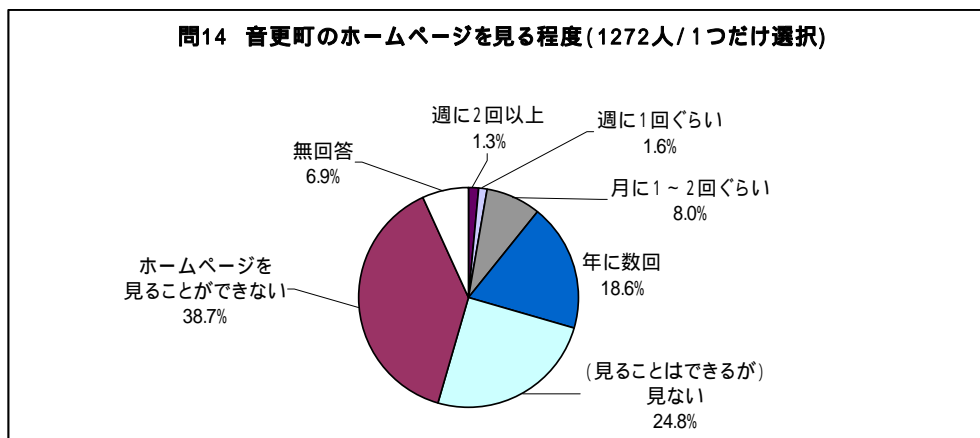
問14 「広報おとふけ」を読む程度(属性別/ひとつだけ選択)



町のホームページについて

「ホームページを見ることができない」が38.7%と最も多く、「(見ることが出来るが)見ない」(24.8%)が続きます。

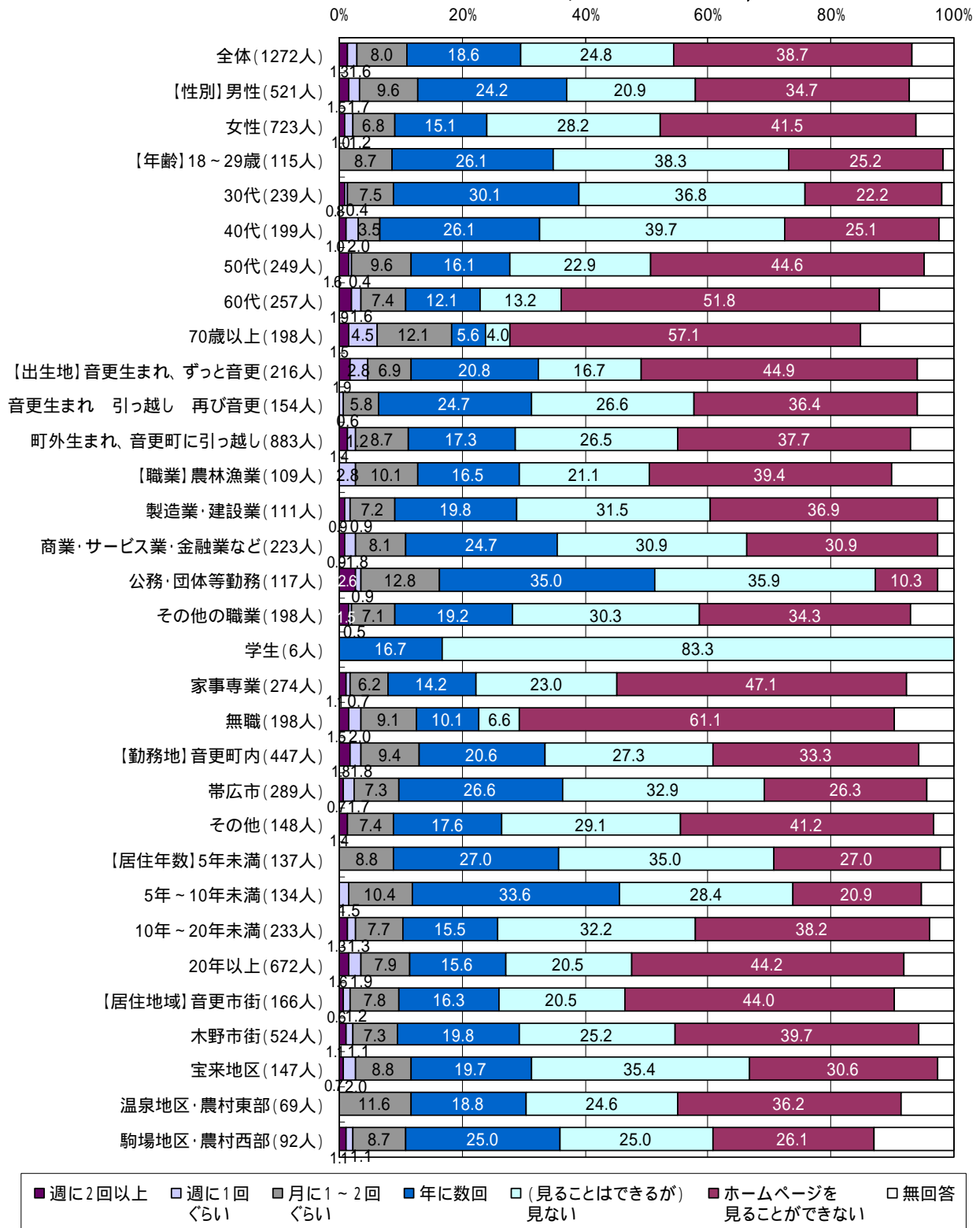
実際に見ている回答の中では、「年に数回」(18.6%)が最多です。



性別にみると、回数に関わらず男性の方が見るという回答率がいずれも高くなっています。

年齢別にみると、「年に数回」は30代で最も高く、「見る」という回答の合計(「週に2回以上」「週に1回」「月に1~2回」「年に数回」の合計)も、30年代が最も高くなっています。一方、50代以上では「見ることができない」が4割以上を占めます。

問14 音更町のホームページを見る程度(属性別/1つだけ選択)



【問 15】「広報おとふけ」とホームページの改善点

【問 15】「広報おとふけ」とホームページについて、改善すべき点がありましたら、下の枠内にご記入ください。

「広報おとふけ」について

<レイアウト、見出し>

- 字を大きくして読みやすくする(6)
- いつもパターンが同じ様な事ばかりである(3)
- 写真などをふやす。/町民や子どもたちが活躍している様子の写真などを多くのせてほしい/もっと写真や参加者のコメントがあればより良くなると思います。(3)
- 写真をカラーにする(2)
- たて書き、よこ書きの配置を工夫してほしい/広報の後半が横書きなのに右ページからはじまるので読みにくい(2)
- 1ヶ月の行事はもっと見やすく/カレンダーを詳しく大きく(2)
- 「お知らせコーナー」の書出しが左からとなっている。右に統一すべき
- 「広報おとふけ」は縦書きと横書ページがあるが統一する方が良いと思う
- 文面を横書きにする
- 文字が多く見づらい
- 内容によっては、色分、太字等でより見せやすくしてほしい。(申込等の例などを入れてほしい。)
- 毎回同じような誌面なので、目を引くような新しい工夫が欲しい。(見だしの工夫など、文字が多いので読むのが大変)
- 白黒なので見づらいからカラーページもあって良いのでは
- 必要な情報は載せられているがおもしろくない。多くの人が楽しみに、読みたくなるような誌面づくりを望みます
- 表紙をもう少し明るくして欲しい。今は見た目が暗く、あまり読む気がしない。その分、内容は白黒でも良いと思う
- 今何が問題なのか、重要な部分にカラーを入れては
- 文章を書くのではなく、「今月は 〇〇 を特集」など何かしらどの世代も興味をもてる「広報」にして欲しいです。記憶に残る様な「広報」を作成して下さい。
- 「広報おとふけ」見やすいように工夫されていますが、強弱をつけてより見やすい広報紙に育てていただきたい
- 「町の台所」等、数値のものや、グラフ、予算等が、もっと見やすくわかりやすくできる余地がある。義務的な感じがする
- 活字ばかりで、内容が難しく感じてしまう。もう少し絵を入れてみてはどうか
- できるだけ簡潔に
- 活字が多くて難しい。やさしい、わかりやすい文章、専門用語を使わない、もっと興味のわくたのしいものに工夫して下さい

<内容>

- 音更町の今と昔(歴史的)の写真や出来事の記事があるといい。/音更の歴史などにも触れていただきたい(3)
- 繰り返し掲載する。特に役場ではこんな工夫をしていますなど。/一度広報に掲載したから良いと言うものではない。町民が、どれだか知ったか(理解したか)が大事(2)
- 地域の輪のようなページを増すと良いと思います
- 「誕生」や「おくやみ」を載せると、若い人達も目を通すと思う
- お知らせをわかりやすくしてほしい
- 企業や個人が活動しやすいように伝言板みたいなものがあるといい
- 各小中学校の紹介などあるとおもしろい
- 町民の交流の場作りや充実のための支援的内容を
- 地域の輪、姉妹町だよりなど毎月どれかひとつにしても良いのではないか。子育て支援センター、地域包括支援センターなど必要な時にしぼるなど

- 通信員のコーナーは必要ないのでは。
- 皆に親しまれる誌面作りを。毎回特集を組み、町の問題、実状などを乗せてほしいと思います
- 各部署の取り組み、改善点等の報告。文章構成が読みづらい所がある
- 事実報告ではなく、どのように実施したかという町の姿勢がわかる報告を
- 広報を作る場合、町民も一緒に企画・製作に参加してほしい。町民の意見を載せられるコーナーがあってほしい
- テーマをしばってもっと掘り下げる

< 情報の量、回数 >

- 情報が少なすぎる
- 情報が少なすぎる。各部門ごと各地域ごとに情報があれば、ページ数ももっとふえるはず。熱意がまったく感じられません。もう少し、地域のことを考えてください
- 昔のように月に2回発行してほしい
- 大量の紙消費をやめ町内回覧でよい。急ぐものは新聞に掲載
- ポイントをしばりページ数を少なくする。今の半分へ
- 内容は前年同月号と代り映えせず、恒例の報告通知になっている。内容が無い月は休刊してはどうか

< 配布 >

- 町内会に入っていないなくても届けるべき/町内会を通じての配布ではなく全戸配布にしてほしい(6)
- 広報おとふけを届けて下さい。/広報を新聞と同じ様に手に届く様にしてほしい(2)
- 町内会に入っていないので届かない/届かない(3)
- 職員が配布すべき
- 町内会単位での配布方法では手にできない方がたくさんいます。だからといって支所や役場まで月1回出むくのもどうかなど考えます。町民に知ってもらいたい情報であれば、配布方法の検討を
- 当町内会では町内会会員ではなくとも班長が全戸に配っているが、町内会に入会をせず広報だけを配るのは役員にたいへん負担がかかる。入会していない方は役場にもらいに行くようにはならないか
- 届くのが遅く参加申込みなどに間にあわない
- 届く所と届かない所があるのですか？以前は来ていたのに今住んでいる所には来ないです
- 配布が遅いので郵送か、新聞配達時チラシのように配送してほしい
- 配布される日が地区によって違う(広報)
- マンションや(町内会、未可入者)には、町内の班長が、配布するのは、大変だと思うので、町内会、可入者のみにすべきであると思います

< その他 >

- 内容が充実している。読みやすい。(6)
- 広報おとふけのみの情報ですが、とても良いと思います
- 広報おとふけは役に立ちます
- 私は満足していますよ
- 大変見やすく、情報も盛りだくさんで良い
- 非常によく出来ていると考えています
- あまり必要ないと思います。ホームページなどで見るようにするのが良いと思います
- パソコンがないのでホームページの内容を「広報おとふけ」にも同じようにのせて下さい
- 見ていると間から紙がパラパラでてきて見づらいので全部まとめてほしい
- 紙質のランクをおとしてもいいと思う。安く安く
- 詳しいことはホームページでと記されていることがあるが、ホームページで徹底するのであれば、ほぼ全戸がホームページを見れる環境と援助と協力が必要。見られない家庭が多数あると思う
- 必要がないように思います
- 必要ない。税金のムダ。議会だよりもいらぬ。社協だよりもいらぬ。回覧にすれば
- 紙のムダなのでやめたほうが良い。税金のムダ使いとしか思えない

「音更町のホームページ」について

<レイアウト、デザイン>

- 見づらい、わかりにくい/わかりやすくしてほしい(5)
- 目あての項目にたどりつくのに時間がかかる。/検索しづらい(4)
- 他市町村はトピックや、その時点での情報がトップページにありリアルタイムに見る事ができる。業者に委託する前に他のHPを見ていいものを取り入れる事が大切でないかと思う
- TOPページからただ文字が並んでいるだけなのでもうそれ以上、先のページへ進みたいとは思わない。(仕事上で見たい所があるので利用するだけ)もっと見やすくする工夫は必要だと思う
- あまり洗練されていない。何度見ても町民がまた見たいと思うようなデザイン性が必要
- メインページの改善。町の特産品や観光地、優良企業の紹介を、イラスト入りのバナーを使ったり、写真を使ったり、見やすくデザインの良いものにしてほしい
- 絵目次の緑に黄色の字は見づらい

<内容>

- 行事報告、様子などのニュース伝達を多くしてほしい。録画中継など
- 災害情報や緊急情報は探さなくても出てくるようにしてほしい
- それぞれの項目について簡単にしかかかれていないのもっとくわしく内容を深くすべき
- 町政報告(進捗状況等) 役場で行われている業務等を頻繁に掲示してもらいたい
- ホームページは町の意見ばかりで、町民との意見交換や町民参加的な要素もあってよいのでは
- HPを見た事による特典等あるともっと見る人達が増えると思います。(また別でHPに特典があるという情報も必要だが)
- 掲示板には不快な発言が多く、見るのが嫌になった。今は分からないが管理人が必要だと思う
- ホームページ上で町民がアンケートに解答できたり、何かしらのイベントに参加申し込みができるようなシステムがあると便利だと思います
- 専門機関、企業の情報、リンク
- 対外的な面での利用するように形を変えたらどうか。きれいな空気と水が北海道は売りだろから、農業移住募集やスギ花粉からの疎開など、短期・長期に関わらず人口流入を促す情報媒体にしては。
- 町のホームページのイベント等もっと細かいものまで詳しく知りたい
- 小中学校の情報をもっと詳しく載せてほしい
- 音更町が現在取り組んでいること、これから数年先や10年先にどういう方向性に行きたいのか(ホームページで)分からない

<更新>

- もう少しまめに更新したり詳しくしてほしいと思うことがあります。(調べても出ていないことがよくあります) イベントなど
- 新鮮味が無い、タイムリーなものにしてほしい
- 迅速かつ頻繁に更新願いたい
- 町内の小中学校のページも全然更新されていない
- 燃やせないゴミの日ポスターをなくし、ホームページで日程確認したら情報が古すぎて1年前のゴミの日ポスターの内容だった(気づかずごみの日をまちがえた)

<その他>

- ホームページに関する情報があまりないのでもっとPRしては(3)
- 今回、初めてホームページを見ました。不満な点はありませんでした
- 分かりやすく、簡単な内容で良いと思います
- 携帯でも見れる様にしてくれればもっと見る人が居ると思う
- パソコンなど家になし、どこへ行けば見ることが出来るかわからない
- 若い世代の人は見る事が出来ると思いますが、高齢になりますとホームページを見る事の出来る人は少ないと思います。年金者から税金を取るだけでなく、年金者も自分の目で見て聞いて、町内に参加できることがのぞましいと思いますが
- 70代の人にはホームページは判らないし老眼です。早期の判断は無理です
- 年寄りにとっては意味ない。扱えない

- ホームページを見ることのできる人、パソコンがあっても見ない人、高齢者、幼少児などを考えて、町民のどれだけの人に必要性があるか疑問。広報で十分ではないのか
- あまり浸透していないように思う
- ホームページは特に見やすくする事と滞在時間を長くする事が基本。そうすると多くのお金が落ちる。町自体にお金が落ちるわけではないが、税金として入ってくる額が多くなる。その為に民間との協力が必要なのである

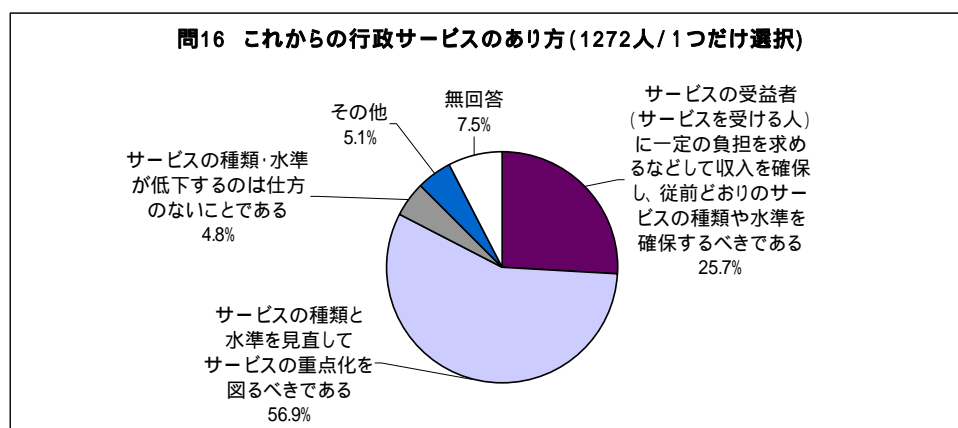
広報全般に対して

- もっとわかりやすく/わかりやすい言葉を使用すべき/むずかしい言葉を使わないでほしい(10)
- 知りたい部分が欠けていたりする(2)
- もっと気を引くような内容にした方がよい。おもしろみがない
- 単なる案内連絡だけでなく、結果、成果、内容等について、具体的なものをあげ(発表し)関心を高めてほしい
- 可能な限り、町民の「声」集め、あえて論議を起こすこと
- 十勝管内の他の市町村との比較。比較内容、税金に対しての職員数と給与、議員報酬と人数
- 見る人は見る的な作り方。町内には老若男女さまざまな人間が住んでいます。皆が見たいと思える作り方、役人的はダメ
- 色が無い。明るい町づくりを目指すのであればくどい長い文章はいらない。写真でおもしろい提供、活躍している人をのせるなど夢のある情報がほしい
- 町政の何が一番の課題であるかを明示して欲しい。将来何が問題になるかを明示して欲しい。
- 町内にあるお店や、遊びスポット、観光スポット、行ってみたい所など紹介してみてもどうか。
- 町民還元につながる行事、イベントの宣伝がいまいち。行ってみたいと感じる情報を願います。
- 職員の手当ではどんな手当が支給されているのか明確にして開示して欲しい
- 議会議員さんの活動情報、報告
- 議会及び委員会の開催予定日時情報が欲しい
- 広報を読んで気になる事やもっとくわしくしりたい事などはホームページを見たりしています。私は満足しています

【問 16】これからの行政サービスのあり方

【問 16】地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、今後も限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが必要です。町でも経費の抑制や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

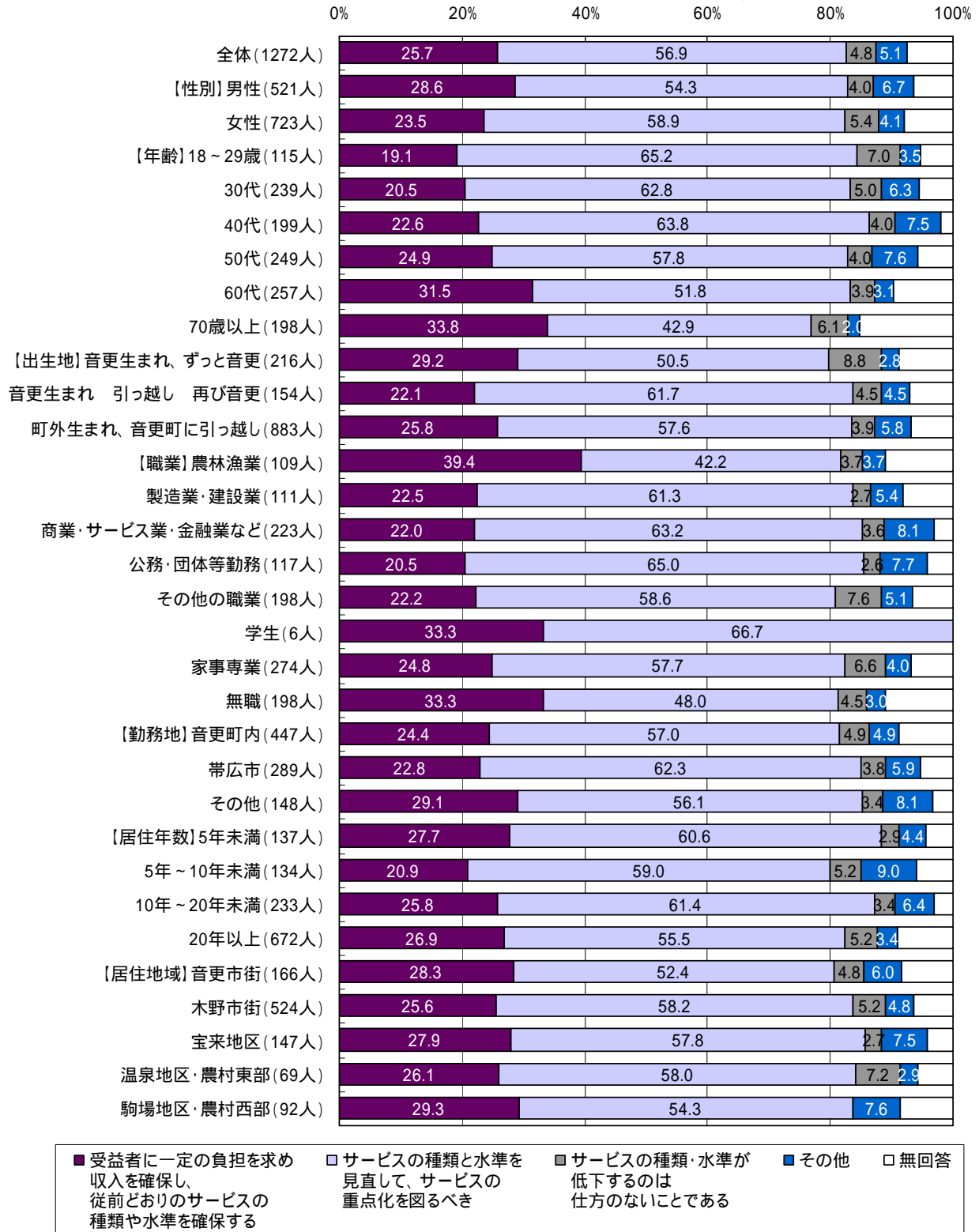
「サービスの種類と水準を見直してサービスの重点化を図るべきである」が56.9%と過半数を占め、「サービスの受益者（サービスを受ける人）に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである」（25.7%）が約4分の1を占めます。



性別にみると、「受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」は男性、「サービスの種類と水準を見直してサービスの重点化を図るべき」は女性の回答率がそれぞれ高くなっています。

年齢別にみると、「受益者に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべき」は年齢が高まるにつれて回答率が高くなっています。

問16 これからの行政サービスのあり方(属性別/1つだけ選択)



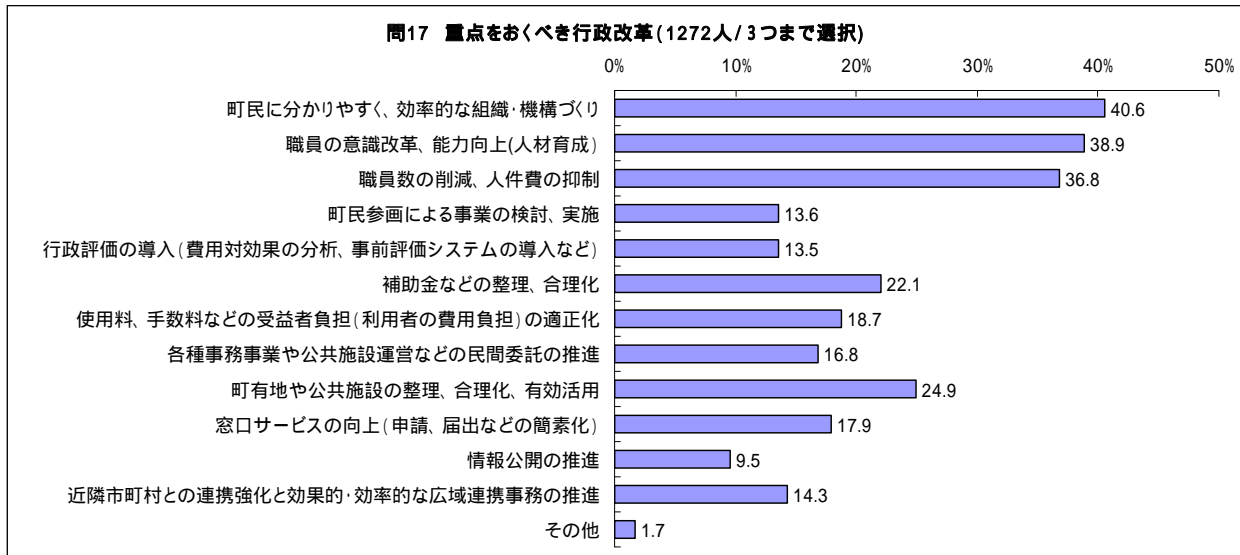
< 「その他」の記述内容 >

- ・まず、経費の節約をしっかりとる。/まずムダをなくす/ムダな事業をやめる。または、金を減らす(16)
- ・町職員の給与を見なおす/職員も努力すべき/財源が少ないのなら職員のボーナス等へらすべき(9)
- ・ムダな人を減らす。その分を回す(8)
- ・サービスの内容によって異なる(2)
- ・受益負担の原則は守るべき/サービスの受益者に一定の負担をかけない(2)
- ・あま下りをせず(公務員の方は)一般の方に仕事をまわして/民営化のすすめ(2)
- ・地方公務員の人件費、諸経費を見直し、税金の無駄使いを調査した上で、町民に負担を求めるべき
- ・意欲的な職員を増やす
- ・大阪府のように、本当に必要な人材だけ雇用することも必要では
- ・インチキ等、無駄な出費の管理
- ・予算の中での配分により必要、重要なものに重点負担、低下、見直しだけではないと思う
- ・受益者負担を少なくし、現状の維持、向上をはかってほしい
- ・サービスの受益者だけでなく提供者も含め、一定の負担を背おいお互いに協力が必要
- ・サービスの受益者の身になって窓口は接しているのか。本当に受益者がこの様なサービスを受けたいという事が窓口担当者が理解し、伝えてくれるなら、一定の負担があっても良い
- ・一般の会社を参考にしてお金をかけなくてもよいこともある
- ・見直し検討を考え明確な方向性を出してほしい
- ・行政業務のマネジメントシステムの改善が必要
- ・ボランティア活動として協力者を集める。水準はおとさず人件費のかからない方法を考えるべき
- ・元気健康である方はボランティアで行う様募集など考えてはと思う
- ・地域で出来るものは、補助をだして、地域にまかせて、歳出を出来るだけ、おさえる
- ・住民の活動に挺入れ、掃除・草刈をボランティアに
- ・人と金をより有効に使い、サービスの種類水準を向上させる
- ・地方自治体への財源補助を強化するように訴えるべきである。
- ・発想を変えては？他からもらう財源だけをあてにする時代ではないのでは？予算を使いきるという論法は民間には理解できない財政自体の問題ではないか
- ・必要のないものは切る事。しがらみを断ち切る事。それ以外無い
- ・必要以上の、公園や施設はもう無くてもよいと思います。財源を本当に町民が望んでいることだけに使い町民の負担をなるべく軽くすることを、これからは考えて行ってほしいと思います。
- ・町長は社長ではない、社長は町民です？
- ・未納税金の回収が大事な事
- ・不正受給のないように留意
- ・人と人との心の交流

【問 17】重点をおくべき行政改革

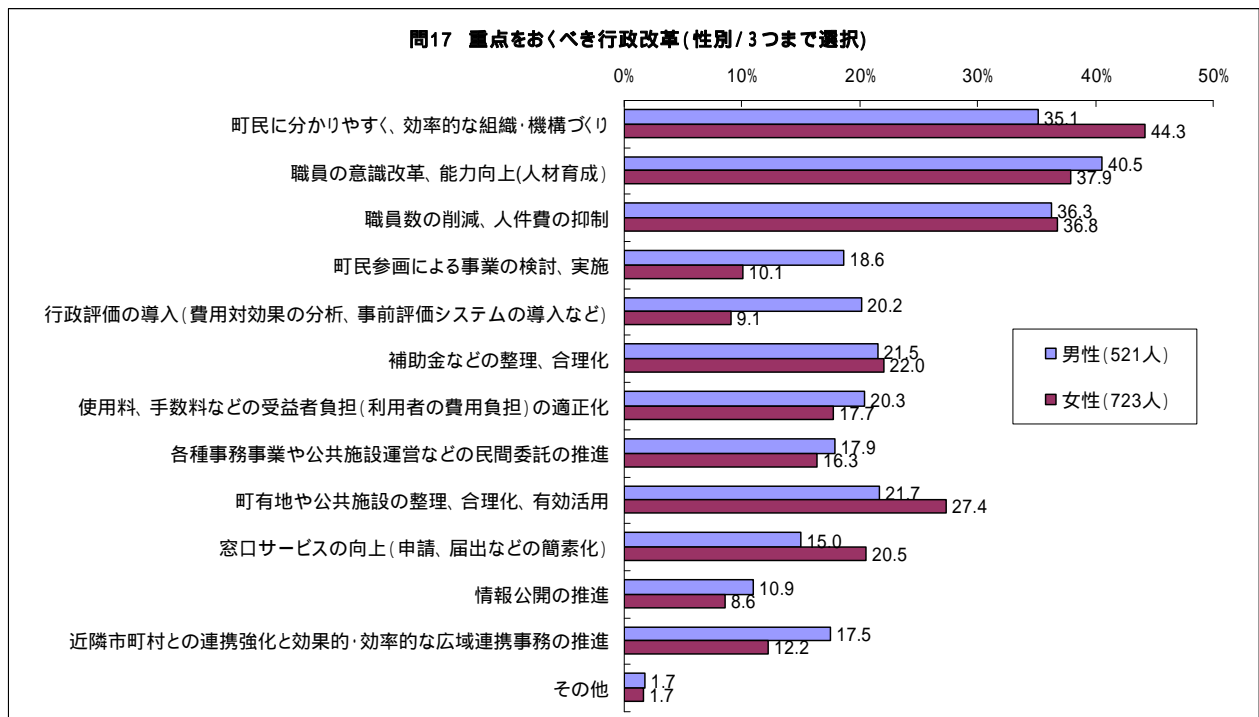
【問 17】音更町の行政改革を進めるうえで、重点をおくべき項目は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」が40.6%と最も高く、「職員の意識改革、能力向上(人材育成)」(38.9%)、「職員数の削減、人件費の抑制」(36.8%)が続きます。



性別にみると、男性は、「職員の意識改革、能力向上(人材育成)」、女性は「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」を、それぞれ第1位にあげています。

また、「町民参画による事業の検討、実施」「行政評価の導入」「近隣市町村との連携強化と効果的・効率的な広域連携事務の推進」は男性、「町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用」「窓口サービスの向上」は女性の回答率がそれぞれ高く、差がみられます。



年齢別にみると、18～29歳、40代、60代、70歳以上は「町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり」、30代は「職員の意識改革、能力向上」、50代は「職員数の削減、人件費の抑制」をそれぞれ第1位にあげています。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18～29歳 (115人)	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員の意識改革、能力向上	補助金などの整理、合理化	職員数の削減、人件費の抑制 町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用	
	42.6	35.7	30.4	26.1	
30代 (239人)	職員の意識改革、能力向上	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員数の削減、人件費の抑制	町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用	窓口サービスの向上（申請、届出などの簡素化）
	41.8	38.5	31.8	25.1	22.6
40代 (199人)	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員の意識改革、能力向上	職員数の削減、人件費の抑制	補助金などの整理、合理化	町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用
	43.7	40.7	38.2	22.6	22.1
50代 (249人)	職員数の削減、人件費の抑制	職員の意識改革、能力向上	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用	補助金などの整理、合理化
	41.8	38.6	32.9	26.1	20.9
60代 (257人)	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員の意識改革、能力向上 職員数の削減、人件費の抑制		町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用	使用料、手数料などの受益者負担の適正化
	43.2	40.1		27.6	21.4
70歳以上 (198人)	町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり	職員の意識改革、能力向上 職員数の削減、人件費の抑制		補助金などの整理、合理化	使用料、手数料などの受益者負担の適正化/町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用
	43.4	35.9		24.7	22.2

< 「その他」の記述内容 >

- ・長期的な視野に基づいた行政方針/未来へのビジョンを打ち出してほしい(2)
- ・役場が自前でやると高いというのはおかしい。やり方によって民間でできる事は役場でも出来る。自分達でやらない事を前提にしている事が問題。職員の削減でなくもっと自分達で仕事をすればよく他に委託した以上の仕事をすれば良い。これが一番の経費の削減につながる。
- ・お金をかけない行政
- ・関係者である町職員や、JA等の機関の代表者での改革)では、改革は進みません。町民からの一般公募者をかたちばかりの数人とせず、半数にして、有識者(会計士等)おもい切った改革にいまから着手しなければ、10年後には人口減が始まり、今までのような財政運営はできません
- ・職員、町長、議員、住民の意識改革にともなう行政のシステム改革。
- ・マナーやモラルを守る基本的人間作りが必要
- ・勝ち組と呼ばれていても、それに胡座をかく事ない人格者は大成功している。そういう方々に音更町を、けん引していただきたい
- ・正社員のお給料を下げて同じ仕事内容をしている現場の臨時職員の少しのボーナスをつけるとかお給料をもう少し上げるべきだと思う。
- ・町職員はもっと地域活動参加協力せよ
- ・未納税金の回収が大事
- ・議員の意識改革/議員の定数減/議員の能力向上(5)

【問 18】なくしても良いと思う制度、施設、事業など

【問 18】将来にわたり持続可能な行政運営（まちづくり）を進めるために、大胆な見直しも必要です。今後、音更町の現行の制度や施設、事業の廃止など、なくしても良いと思うものがあれば、具体的にご記入ください。

（人員）

回 答	具体的な内容
職員（19）	<ul style="list-style-type: none"> •へらす •朝、夕のそうじは、職員が、すればよい。遊んで居る人をなくす。 •民間委託により経費の分散化も大切に思われる •あいさつできない職員（特に年とった人） •手前で忙しくしている人達のうしろでひまそうにしている窓際族 •町役場でのんびり新聞を読んでいる人。2時間もの間見てた。 •お茶くみのためのパート職員。窓口が混んでいるのに奥で雑談されているとイラっときます •17時に帰宅できるならそんな人数を必要ない •人員削減 •臨時職員。それほど職員数が不足して忙しいのか疑問。時期的に忙しい時もあるかと思うが職員だけではやれないのか
議員（16）	<ul style="list-style-type: none"> •へらす •年功序列を見直し、幹部を外部より登用抜擢人事 •減らして下さい。町民の為に身近に何ひとつ還元されていません。今まで一度も感じた事はありません •大幅削減、又は廃止。必要があれば、町内会長を招集 議会に変へる。招集時のみ経費を支出する •現在の半数でいいと思う •不要だと思ふ
再雇用（5）	<ul style="list-style-type: none"> •退職職員を使うのはどうかと思います •退職した教員の優先的な雇用はやめる •囑託という役職を見直しをして欲しい •学校長が囑託として優先的に町の仕事に就くことの見直し
清掃員（2）	<ul style="list-style-type: none"> •多さにあきれる
年配の保育士	<ul style="list-style-type: none"> •30～40代の人に比べ勉強不足で、なにもしてくれない方が多い。40代以降はパートにして、若い保育士、または、子育て経験のある保育士の育成に力を入れてほしい。補助でついでに保育士さんの方が勉強熱心で子どもをよく見てくれます
選挙投票時の事務員	<ul style="list-style-type: none"> •ヒマそうに見えるので減らしても対応できるのでは
国際交流員	
農業の担当者	<ul style="list-style-type: none"> •今までの考え方から変化させる事なので
図書館内の事務の人材	<ul style="list-style-type: none"> •1～2名位で充分。若いアルバイトでも充分だと思います

（組織）

回 答	具体的な内容
公社	<ul style="list-style-type: none"> •極力民間を利用する
消防署の分団	<ul style="list-style-type: none"> •本町以外必要ない
たけのこ子供会	<ul style="list-style-type: none"> •加入している町内もあれば入っていない町内もあるし、今はクラスのレクリエーションや習い事で忙しいのに役員をするのも大変
音更高校の農業科	
余計な部署	<ul style="list-style-type: none"> •企画部企画課企画調整係などよけいな部課が多い

(施設)

回 答	具体的な内容
利用効率の低い建造物、古い施設(6)	<ul style="list-style-type: none"> ●費用のかからない方法で取り壊すべき ●すべてなくしてしまう ●利用が少ない物は必要ないし時代にそぐわない ●近距離に2つ以上あるような施設は廃止の方向で見直しべき
小学校(6)	<ul style="list-style-type: none"> ●統合
プール(6)	<ul style="list-style-type: none"> ●一部の人の使用に過ぎない ●利用する人が少ない ●スポーツ施設で一番お金がかかるし一部の人がしか利用がない ●どの位の利用者がいるのかわからないが、なくしても良いと思う
木野福祉会館(5)	<ul style="list-style-type: none"> ●施設として機能していないのでは。廃止してよいと思う ●木野支所とコミセンで全てまかなう事が出来る
プロSPA(3)	<ul style="list-style-type: none"> ●民営化。職員が管理業務やテナントを探すなど公的仕事でない ●必要なし、なくすべき(売却すべき)
ふれあい交流館(4)	<ul style="list-style-type: none"> ●休館日(水曜日)に勤務している職員はいらない(現在2人) ●来館者の減少で経費の削減と廃止(活用方法を募集) ●施設として機能していないのでは。廃止してよいと思う
地区会館、地区会館、利用していないコミセン(3)	<ul style="list-style-type: none"> ●利用度を調査し、広域的範囲で活用する等にして維持管理者等を削減してはどうか
文化センター(3)	<ul style="list-style-type: none"> ●民間委託する
保育園、保育所(3)	<ul style="list-style-type: none"> ●早急に民営化、保母も引き受けてもらう ●統合
新しい施設(3)	<ul style="list-style-type: none"> ●作らなくていい
武道館(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●どれくら使用されているのでしょうか
パークゴルフ場(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●あまりにも一部の町民だけの施設にすぎないのでは
パチンコ屋(2)	
木野支所(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●普通の人には年に1~2回窓口を利用する程度ですし、本庁と木野支所は数キロしか離れていません。窓口業務を本庁に集約し、木野支所にかかっている人件費・光熱費をカットしてください ●(土地・建物)等の整理・縮小
役場	<ul style="list-style-type: none"> ●十勝市に合併しか生き残る道はない
市街地のコミセン(東郷福土、共栄、木野コミセン)	<ul style="list-style-type: none"> ●3つも必要はない。建てたものの、葬式場の代わりになっているようなもので民間に任せるべき。団地の中の小さな会館で十分
くりりんセンター	<ul style="list-style-type: none"> ●地域で共有できるものは一元化しては
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ●民間に委託する
木野老人憩い家	
道の駅	
野球場	
郷土資料館	
生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ●現在そこで行われている行事などは、他の施設で行う
老人いこいの家	<ul style="list-style-type: none"> ●施設も古く、あまり活用されていない為
ハナック	
小規模公園	<ul style="list-style-type: none"> ●残る公園を充実
新通北公園	<ul style="list-style-type: none"> ●利用しにくく活用されていない
柳町の仲区公園の中の建物	
四駆ランド	
ドーム	<ul style="list-style-type: none"> ●利用する人が少ない
古い公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ●壊して新しいマンション型の建物にした方が住みやすい
町営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ●現在あるのだけで良いのではと思う
改善センター	<ul style="list-style-type: none"> ●代わりに生涯学習センターを作って下さい。多くの町民が自ら参加のできるセンター作りをお願い致します。
公共大型施設	<ul style="list-style-type: none"> ●どの施設も一部の町民利用者に限られているように思う。ガラーンとしていて有効利用されていない。維持、管理費だけで経営が倒れそうです。工夫して下さい

(設備など)

回 答	具体的な内容
木野温泉付近に建設中の橋(2)	• 本当に必要だったのでしょか？なんの為に作ってるのでしょうか？！
文化センターのまわりと、北へ向う道路わきの遊歩道	• もったいなく思う。他の事(今後に向けて)に使っては？
役場4F和室	
各校の調理場	• 学校給食の協同調理場化
町外の行政下の事務所や観光のPRを専門している所	• あるならその人件費や家賃がもったいない
鈴蘭小の増築	• 緑陽台小の教室が余っているのももったいない(もう遅いですが)

(その他)

回 答	具体的な内容
広報車、子育て支援パトロールの車、青少年センターの広報車(4)	• 経費のムダ • うるさい
使わない町有地	• 売却
広報おとふけ	• 2ヶ月に1回で良いのでは
生涯学習の各種教室や講座	• 日中働いている者が参加できるものは少なく、内容も見直しが必要と思う(利用料も含めて)
役場前にある噴水	
むつみ公園の噴水	• 雨の時までいらぬ
補助制度	• 見直し
老人いこいの家の名前	• 町の会館が1つなのに名前が2つある。2つ必要なのか？まぎらわしいので1つにしてほしい
国民健康保険税の資産割	
校区外通学	• ひびき野、鈴蘭地区など宅地の開発に学校の許容量、受け入れ(体制)が切迫している
高齢者の温泉招待	• 特定の高齢者ばかり利用しているように感じる。車のある人はよいが独居老人などは利用しづらい
参加者の少ないセミナーや講習会、海外視察・研修	
診断(計画)講演会	• 各種住民に補助金を出しているが可能性もない等効果ない
80才のお祝い	
高齢者の生涯学習	• 自主的活動を目指すようにすべきではないでしょうか
町民の温泉割引や無料券	
音更町表彰式、音更町文化奨励賞、音更町文化協会賞、音更町スポーツ賞	• これらを1つにまとめては？
各種税団体の助成金	
教育委員会が企画する子供向けの行事等で参加者が極端に少ないもの	• 廃止か内容・回数を検討した方がよいのでは
ない(4)	• 現状維持で現行の制度の質を落とさない方策を十分検討する • 財政難だからと町有財産の切り売りは反対。そんな施策なら誰でもできる • どの施設も事業もそれぞれに活動していると思うので、廃止などは考えられない。政府への予算増額をはたらきかけるべきだ。 • 各種事業は必要であるから実施していたはず！なくして良いものはないと思っていたので設問自体おかしいです。もし、あるならば町民に聞くのではなく、行政レベルで判断して廃止すべき

【問 19】まちづくりへのアイデアや提案

【問 19】最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、下の枠内にご記入ください。

複数回答があったものについては、回答数を掲載しています。

区分		内 容	性別	年齢
子育て支援	遊び場	エコロジーパークのような屋外で遊べる環境は子供がのびのびと遊べて大変いい。冬や天気の良い日にも遊べる、広い屋内施設を作って欲しい。帯広の児童会館のような木のおもちゃがあったり、ふわふわドームの室内用や、体を動かして遊べる遊具があるといい。他の市町村からも人が集まるのではないだろうか	女性	30代
		サンドームはいつも混んでいる感じだが、他の人はたくさん利用してるのか？交流館に1度パン作りに行っただけですが、最初場所もわかりずらく、たくさんの方が私と同じように感じているのでは？白鳥のところにある小屋は小さくて、なかなか休めない。こみこみです	女性	50代
		音更町はとてもいい所だが、体育館がサンドームしかなく、天上が白くて使いづらい、音もひびく。河川敷の公園はパークゴルフのおじちゃんおばちゃんにジャマだと言われる。もっと町内にあそぶ場所がほしい。	女性	50代
		室内遊技場など地域の方も子どもづれで遊べる空間もほしい	女性	29歳未満
		乳幼児家庭が、平日の雨でも、おもいきり、騒音の事など気にせずに遊べる室内の遊び場が、近所にあると便利	女性	30代
		児童会館は老朽化で来年度閉鎖されるとのことだが、これに変わるものはまだ何も示されていない。冬の間も子供が安心してあそべ、学べる所をつくってほしい	女性	30代
保育所	保育所	保育園には、きちんと働いている人の子が預けられるように確認が必要/保育所の人数枠をオーバーした場合は抽選で決定するというのは本当でしょうか？保育の必要度に応じて優先度が決まるのが本筋では	2	男性 30代ほか
		育児に関する相談体制や子供を遊ばせる場について音更町は充実しており満足していますが、現在の保育所や学童保育所については十分ではないように感じます	女性	30代
		深夜まで働かなければならない方が子供の預け先がなく困っている。5、6時までしか子供を預けられない保育園がいくらあっても無意味。深夜10時・11時頃までは預けられる体制を。	女性	60代
		働く女性の為の保育施設の充実。	男性	29歳未満
		保育園への待機問題もぜひ改善してほしい	女性	40代
		保育所の料金を安価にして、子どもを安心して育てられる音更町	女性	50代
		保育所は地域の方々に理解を求め統合するよう進めていくことが必要。	男性	50代
		保母さん達ももっと若い人達が本採用で働けるようになるとよいと思う	女性	50代
学童	学童	子供が3才で、保育所に入れたくても希望のところには入れそうにない。宅地造成の際、5年10年先まで読めなかったのか。今から計画しても卒園まで間に合わない。小・中学校はすでに増築が始まっているが、学童はどうなるのか。宅地造成の計画に合わせて周囲の施設の見直しも必要。	2	女性 30代
		保育所は19時まで預ける事が可能だが、学童も19時まで開いていると共働き夫婦にとっては良い/学童の預入時間を長くしてほしい	2	男性 30代ほか
医療	医療	児童の放課後（学童保育の充実）	男性	40代
		子育てや子どもの（親も含めた）教育の支援（子育て教室、親の役割、健全育成等の教育）	男性	70歳以上
		人材育成がとても大切なので子育て環境、また教育分野には重点的に力を入れてほしい	男性	60代
医療	医療	子供の予防接種（任意接種）に対するの援助をもう少し拡大して欲しい	2	女性 29歳未満
		小学校卒業までの医療費を全額助成	女性	30代
		子供の健診回数を増やして欲しい（6～7カ月位に1度に）	女性	29歳未満

	支援センター	幼児に対してのやさしさが無い。柳町の支援センターに足をふみ入れた時も指導員の先生の対応は最悪でした。誰が言っても助けてくれるセンターであって下さい		女性	50代	
	親の交流	ひびき野地区はとても若い人達が増えたが、お昼のランチをするお店が少なく困っている。若いお母さん同士で子供を連れて話を気軽にできるお店(喫茶店)がもっとあったらいいのと思う。		女性	30代	
		サークル支援などももっと協力的になってほしい。民間あるいはボランティア、各サークル等上手につかって子供達が心豊かに育つ町づくりをしてほしい		女性	30代	
		自家用車のない子供のいる家庭に、バス代やタクシー代の軽減の援助を		女性	29歳未満	
		子育てはもっと自由でもっと楽だという実感できる環境があれば、以外と近隣校を選択してくれる可能性があるような気がする				
医療	産婦人科	産科、婦人科は本当にできてほしい	2	男性	50代ほか	
	施設	大型病院の確立と高齢者施設の整備。場所としては、コカコーラ跡地又は新通よつば周辺		男性	50代	
		十勝の基幹病院との連携体制などがん治療、療養のネットワーク作り。		女性	30代	
		高度医療		男性	50代	
		老後の医療問題などは、国政に反映させるよう各自治体が結束して進めなければならない。国に対しての物言いが弱い。入院患者のタライ回しなどの話を耳にすることがありますが、悲しいことです。		男性	70歳以上	
保健		健康検診に係る助成拡大。(年齢対象の引き下げ、女性の病気への対応など)	2	女性	30代ほか	
		北斗病院のガンドック(PET)導入して下さい(土幌町の様な形で)		女性	60代	
高齢者	介護予防	病気にならないような体操を取り入れ、その会員は医療費が割引く。		男性	60代	
	交流の場	広報にはサークルが掲載されているが住んでいる場所から遠くて行けないところが多く。活動しているものがあつたら掲示板コーナーに載せてほしい		女性		
	社会参加	もっと高齢者の能力開発と豊富な経験を生かし、町にマッチした伝統食などのほりおこしと開発を(ハーブ、ふき、うどんなどの栽培から加工、販売まで)/老人の持っているパワーや知恵を活用していける体制を/老人でも働けるボランティアの仕事を行政でもっと出して下さい。老人でも技を持っている人は大勢いますので		男性	60代ほか	
		子供達の育成と仕事の場の提供。元気で生きがいを求めている高齢者が多数いらっしゃるのでボランティアで町の美化、子供達の安全の啓発に人力していただく		女性	50代	
	生きがい	お年寄りが生きがいを楽しむ場を/気軽にお茶でも飲める場所があると良い/お年寄りの人が月に1度はカラオケ大会や踊りなど、集まる機会を増やしたら良い。/高齢者の方が集う場所が校区ごとにあれば	5	女性	50代ほか	
		高齢者には、働く場、子供達との交流(学校訪問、参観日など)などを。		女性	60代	
	施設		老人ホーム等、年金で生活の出来る安心な施設を	3	女性	60代ほか
			独居老人が安心して暮らせる施設の充実を/老老家族の実態からグループホームで対応できるものではないので特養に充点を	2	男性	70歳以上ほか
			老人ホームの改築は早期に推し進めていただきたい。	2	男性	50代ほか
		高齢者が安心して生活できるまちづくり(環境・施設整備)を/高齢者にとっても、住みやすい街であってほしい	4	女性	60代ほか	
	「老人」とか「高齢者」などの名称を変えて欲しい。東京などは電車でもシルバーシートとか言う		女性	70歳以上		
	老人介護要員の安定確保		女性	60代		
障害者		障害のある子供が、将来安心して暮らせるよう、小学校のうちから、周りと協力しあえる町に		女性	40代	
		バリアフリーな建物が音更町には少ないような気がする		男性	29歳未満	
福祉		地区の会館やコミセンを高齢者の協力を得て子守りの場としてもっと稼働させたら/高齢者と乳幼児が触れ合える機会があれば、好効果を得られるのでは	2	女性	30代ほか	
		福祉施設の充実	2	女性	50代ほか	

		音更町相互扶助活動 - 困った事、辛い事、相談に乗り解決してもらえ。災害時 ボランティア、助け支え合う関係作り、認知症サポート、独居老人見回りパトロール（高齢者、弱者）	女性	60代	
		福祉行政に重点に推進する	男性	70歳以上	
		小さな子供から、高齢者の、困っている人達への支援	女性	29歳未満	
		高齢者・病弱者・障害者・低所得などの弱者が安心して住める音更町であるための施策を十分検討していただきたいと願っています	男性	70歳以上	
		老人、障害者施設の整備	女性	60代	
ボランティア		ボランティアの育成格差（福祉、子育てなどへ）	女性	50代	
消費生活		消費生活の学習	女性	60代	
コミュニティ	施設	コミセン施設の充実。狭隘な施設があり、状況把握をすべき	男性	60代	
		全コミセンの民管移託（管理）	女性	50代	
		町のコミセンなどの利用者趣味の会等には少なくとも冬期間の暖房費代を受益者負担とするべき	男性	60代	
	町内会	町内会によって役員のなり手、活動など地域格差がある。人材を育てる事が大切	女性	50代	
		町内会への入会している方が減り、緑陽台では班が統合しています。住民登録の時に町内会入会を勧めて欲しい	女性	40代	
		町内会というのは必要？子供会も必要	女性	30代	
	交流の場	学校単位とした、老人、婦人、青年が集える交流・会食の場を。地域に於ける意見交流の場となり活性化の場となるのでは	男性	50代	
		プライバシーを重視するため近所づきあいも最低限度ですませる事が多い。もう少し心を開いて交流し和やかに発展する場が有れば	男性	70歳以上	
		地域は地域で整備し合う様に話合うこと	男性	70歳以上	
		町内会など地域コミュニティが崩れはじめ、行政の負担が増えつつある。住民自体が再び手を取り合ってそれらの問題に向かっていかなばならない。町内会を中心にとった単純な構造ではなく活動の核となるより多くの人々と連携することが大切ではないか	男性	50代	
交通安全	意識啓発	交通安全活動など意識向上のための教育など	男性	70歳以上	
		信号のない場所を横断する老人が多い。特にスーパー前に良く見かける	女性	40代	
		交通安全のため看板を増やす	女性	60代	
	違法駐車	音更町、柳町、緑町住宅地での違法駐車に関しては、特に取り組むべき。	男性	60代	
	渋滞	十勝大橋～大通りの渋滞は改善できないのか。/十勝大橋の渋滞がひどい時がある。帯広との話し合いだけの問題ではないと思いますがひびき野側に一本橋が出来たらと思う	2	男性	30代ほか
	信号	信号機の整備/必要と思う場所がない	2	女性	30代ほか
	駐車場	各々場所に有料でも良いので駐車場があったら良いと思う/公園のスペースをけずり駐車場にしてほしい	2	女性	60代ほか
		駐車場が少ない。子どもの通学、老人の歩行に大変危険。ゴミ収集、宅配車、消防車、救急車の通行に支障がある。大きな駐車場のある大型スーパーなどのにぎわいをみれば分かる		男性	70歳以上
	道路	道路の優先車線のために渋滞が起きている。元に戻した方が絶対良い。/木野の国道（大橋～音更へ）の道幅や右折信号についてですが、左車線に渋滞している事が多く不便。/国道 241 1号線右折レーンは意味がない！！事故を誘発しているのか	3	男性	29歳未満ほか
	歩道	住宅地内の道路の歩道のないところが多い		男性	70歳以上
四つ角に家を建てるので見通しが悪い			男性	70歳以上	
防犯	パトロール	警察のパトロールなどを行ってほしい	3	女性	40代ほか
		小中学生の登下校時の街頭見守り活動を	2	女性	70歳以上ほか
		危険なイメージの場所（鈴蘭公園、ハナック等）の夜の見回りなどを		女性	29歳未満

	不審者	不審者情報が多い音更町のに町としての対策がみえてこない。/町内の小学校の周りに特定のつけまわしや、写真をとるなどする変質的な男性がいる。何かあるまえに何とかする条例などを	2	女性	40代ほか
		不審者が出たとの情報があまりにも多い。行政も、地域ももっと協力して、子供が安心して暮らせる街にしたいといけない		男性	40代
		不審者が多いので、暗い場所や見えない所についてももう少し見直して欲しい。宝来から下土幌に向かうトンネルも監視カメラでも取り付けて欲しい。/通学が心配	2	女性	30代ほか
	外灯	外灯をふやす(緑南中から下校する際、振興団地内)	2	女性	40代ほか
	意識啓発	防犯活動など意識向上のための教育など		男性	70歳以上
	盗難	音更町民限定の自転車ナンバーステッカー制度を		男性	50代
		ひびき野地区の築堤への車両通行止めを。夜間(深夜)に不審車が乗り入れ、築堤の上からライトを照らすなど、迷惑行為が多発 治安を良くしてほしい		女性	40代
			男性	40代	
防災	体制	個人情報保護のため地域防災連絡網が作れない状況にある。行政指導が必要		女性	60代
		自主防災組織を設立しているが、行政は発生時にどの程度支援できるのか具体的な事が発表されていない。行政しかできないこともあるので、助金の事、機具等の配分が必要		男性	60代
	意識啓発	防災活動など意識向上のための教育など		男性	70歳以上
	耐震	学校や集会施設の耐震状況は十分できているのか。完了していないところがあるのなら、それはどこかなど住民に知らせる		女性	60代
	治水	川の整備 防風林の整備		男性	60代
自然環境		やはり自然を第一に大切にすべき		女性	29歳未満
		池田町にゴミの最終処分場を帯広市等とともに建設しているが、建設地の貴重な自然を事前に調査することなく工事を進め、森を破かいしている。この環境を大事にする時代にやっている		男性	60代
		音更町の何も無い景色や広い空や美しい自然をもっとアピールすべき。新しい道路や集合住宅の建設もいいが、緑を増やす方向に向かえば、売り上げ重視の農業ではなく、オーガニックなどの本来あるべき農業スタイルが全国に広がっていく。気候の似ているヨーロッパを真似してみれば		女性	30代
		昔は駒場駅前あたりは「ききょうの里」といわれていたそうです。種畜牧場は国のものですが少々土地とか馬とか借りて子供達に乗せて動物にふれさせ自然を学ばせる体験などできないものですか?		女性	70歳以上
環境		環境を良くする案がなによりですね。/お金をつかわずエコ的な事を考え、無理なく参加できて、やれる事を提案したい	2	男性	60代ほか
		太陽光発電とか雪を利用した冷房を取り入れてはどうか?/太陽光発電導入家庭に助成強化。	2	女性	40代ほか
		エネルギーに関しても太陽、風、バイオなど新しいエネルギー源の開発と確保、循環型の環境などについて考えるべきだと思う。		女性	60代
		議会のクーラーを節約、ペーパーの再利用、書類を減らすなどむだをまず見つける。		男性	30代
		条例で、10時以降の営業を禁止する。CO ₂ 問題		男性	40代
		職員から環境意識を高める 徳島上勝町に行ってきた。		男性	30代
公害	ペット	ペットの飼い方やフンの処理などマナーが悪い。条例化や罰則も考えてみては?/飼い主にマナーの徹底を義務付ける	2	男性	50代ほか
ゴミ	分別	ごみの分別種類を増やしてほしい。もう少し細かくしてくれるとわかりやすい		男性	29歳未満
		プラスチック容器・包装をなぜ分別する必要があるのか、回収後どのようにリサイクルされているのかなど納得のいくような説明が必要。		男性	30代
	収集	ゴミの集め方では経費の節約になります		女性	50代
		ゴミステーションは若干汚されていますが、各家庭で出たゴミは各家庭の家の前へ出すことによって、出し方に工夫をしているなあと感心した		女性	30代

		プラ容器・包装は大変かさばります。週1回の収集ではいつも置き場所に苦労しています。収集を増やしていただけると大変助かります	男性	30代
		小学生の通学路にあるゴミ収集場所が非常にきたない！カラスに粗らされてる。マナーが一番大事だが、ゴミ収集箇所の改善が必要	男性	60代
	リサイクル	資源ゴミを出した時に持ち去る人がいる。これを条例を作り禁止する	3	男性 60代ほか
		リングブル、ペットボトルのフタ、古切手等回収して、何かの役に立つと言われる物を、支所や役場で集めていただけないか		女性 30代
	マナー	マンションの設置、所有者に対して、独自のゴミの保管施設の整備を義務づけるべき		男性 50代
		家の近くで、夕方になるとたまにゴミ等を焼しているらしく、家中がとてもなくさくなり、具合が悪くなります。どうにかならないでしょうか。		女性 29歳未満
	ゴミ袋	ゴミ袋(有料の)が高い。袋をもう少し薄く		女性 29歳未満
		生ゴミ用の5Lの袋が欲しい		女性 29歳未満
		「ゴミの不法投棄」なんとかして下さい		男性 60代
生涯学習		生涯学習の活動には非常に満足している		男性 60代
		誰もが気がるに入会できるボランティアサークルをつくる。ホームヘルパーの資格等が取得しやすいよう助成など考えてほしい		女性 30代
	日時	すべて日曜日に行事がくまれるので参加できない。ウォーキングなど、平日も参加できるような事も計画してほしい		女性 50代
	内容	以前、「韓国語講座」を受講しました。とても楽しく学ぶことができたので、それと同じ様な「語講座」をまたやってほしい		女性 29歳未満
	体制	生涯学習協会設立の提言があったが、その後どう検討されたか知りたい		男性 70歳以上
	図書館	図書館の本を増やす 図書館を木野ではなく、ほんとは、役場とかのあたりにした方が良いと思うけど、お金がかかるので、とりあえずいい		女性 60代 女性 29歳未満
小中学校		小規模校の大胆な統合・廃校によって是正してほしい	2	男性 30代ほか
		すべての子供たちに、質の高い教育を		女性 29歳未満
		就学援助を学校でもらっている人が、小学生に携帯持たせて援助してもらっているのは良いのか		女性 40代
		小中学校の教師の人数は足りていない。教師も子供もゆとりを持って、しっかり学べるよう環境を		男性 40代
		他の地域から小学校に通っている人がいる。このような事がおこるのは、きちんと対策を		女性 30代
		小学校の増築より、スクールバスによる送迎をし、近隣校の自由選択という方法があったと思う		女性 30代
		中学校までの学費を無料にする		女性 60代
		幼稚園に入れないことがないように		女性 30代
		小学校の整備に計画性がない	3	男性 50代ほか
		小学校や中学校の時に農業や畜産業とふれあう機会を/小中学生の食育指導	2	女性 29歳未満ほか
		小・中学校の教育で、学習能力を強化させていく		女性 40代
		学校給食の自校方式は今後も継続して頂きたい。子ども達を大切にしているという町の姿勢がみえて、誇らしい		女性 50代
		学校給食の民営化(民管移託)		女性 50代
		野菜での安全性を学校給食に提供		女性 60代
	バス	数人しか乗っていないスクールバスは小型化に。自家用車タイプにしては		男性 70歳以上
	耐震	小中学校の耐震構造化(補強)		男性 70歳以上
	心	専門の臨床心理士を採用し、心の痛んでいる子供のケアに力を注ぎ、特徴ある町づくりを		男性 60代
高校		高校をもっと木野地区寄りに移動してほしい。(高校へ通うのに、ひびき野地区から直通便がなく、不便)		男性 50代
		音更高校生と交流、支援、アイデアを聞く。音更高校を街はずれに建てたのはとても疑問。通う生徒も大変。交通費を出す親の負担も大きい		男性 60代

大学		大谷短大を活用するとか。/音更町が大谷大学に協力し充実を図っては。介護、福祉の専門家指導者の育成、4年制化。町民の学生には奨学金制度を適用し音更町の教育レベルの向上、町内の福祉施設レベル向上、十勝川温泉、十勝牧場を利用してのセラピー療養。農業者の協力を得て、施設の野菜生産をする	2	男性	50代ほか	
		工業関係の大学を誘致。農機を多数使用している為、需要はあるのでは。		女性	50代	
歴史文化	奨学	大学生の学費の援助を。行きたくても家がまずしかったり子供が何人も居る家庭では、行かせられない。お金が一番かかるのは大学生です				
		音更の歴史、文化財など郷土に目を向けさせる事も大切		男性	50代	
スポーツ		アイヌの歴史		男性	50代	
		スポーツでの援助/少年スポーツ活動の活性化	2	女性	60代ほか	
	イベント	スポーツの大きな(全国レベル)の大会を毎年開催してほしい		女性	40代	
	陸上競技場	陸上競技場を作ってやってほしい		男性	60代	
	野球場	野球場が3年前にできたが中途半端。トイレ等を球場内に作ってほしい		男性	60代	
	施設	公式で使える場所(野球場など)		男性	30代	
	プール	元下音更小学校の近くに温水プールを		女性	60代	
	パークゴルフ場		パークゴルフ場などをもっと増やす。NPO法人とか民営化し、温泉や食事とセットにし、道外からも人をもっと呼び寄せるう。/農閑期でも出来る屋根つきパークゴルフ場	2	女性	30代ほか
			パークゴルフ場の無料化。トイレ掃除だけ専門に入れば良い	2		
			パークゴルフ場使用料はもっと高くても良い。(管理費がかかるので)		女性	50代
			健康維持による室内トレーニング室、室内ゲートボールなど高齢者向け施設もあったら楽しい老後生活になると思う。		男性	29歳未満
	ドーム		サンドームの走路をもっと広げては。			
ドームの駐車場がせますぎる。芝生の部分を駐車場にしたら良いと思う				女性	40代	
ソフトボール場		ソフトボール場が2面あるが不要		女性	60代	
青少年		見知らぬ住人に挨拶できることは、育成されていると思う		女性	40代	
公園	遊具	むつみ公園に滑り台など遊具を増やしてほしい/公園をもっとキレイにすべき、スベリ台の色もあまりきれいではない	2	女性	60代	
		公園を作るのは良いが、もう少し子供が喜ぶ遊具を増やしてほしいし、メンテナンスほちゃんとして欲しいです		女性	40代	
	管理	千畳敷公園は暗くて怖い/千畳敷公園は、木が多すぎて、暗くてぶきみなのでどうにかして欲しい	2	女性	50代ほか	
		鈴蘭公園の木が多すぎて、陰気な感じがするので、もう少し木を減らしてほしい。小動物もいるので自然を残すところは残して、あとは遊具などもふやして、明るい感じの公園になってほしい		女性	50代	
		公園の管理も町まかせにせず、町内会やボランティアでも行くと、周りに住んでいる人の顔が見えて住みやすくなるかと思えます。		女性	29歳未満	
景観	緑化	国道に植樹帯を設けるよう国に要望するとか、出来なければ町独自で実施するとかすべき		男性	60代	
		中土幌等には桜の木が無くちょっと淋しい。桜並木には		女性	70歳以上	
		音更高校が色々な花の苗を育て、街路を花で飾ってくれてありがたい		女性	60代	
		都市計画の観点として「緑化」の確保が必要。街路樹を厚めにしたり、連続性のある植栽など特に住居地周辺の緑を増やしてほしい		男性	60代	
		木の枝を年2回無料で回収してほしい。緑を増やす運動は全国的に勧めていますが、枝の処理が有料では逆行している		女性	50代	
		街路樹の剪定が余りにも幹の近くからで6月になっても葉が出てこない。町内会などにもっと協力していただけないものか		女性	60代	
		北6線北蘭の点滅赤信号の交差点、南北の街路樹。夏、葉が繁ったところ西へ向って左右がとても見づらいです。多めに枝をはらって下さい。もっと交差点から距離をおいて植えたほうが良いと思います		女性	50代	
		十勝ヶ丘一带周辺の整備。車を入れない。自然と人に良い遊歩道を		男性	50代	

		景観について地元の専門家からアドバイスを受けては	男性	70歳以上	
		豊頃からみた音更は活気にあふれ、花に満ち、実に美しい。町作りに必要なものは、“美しさ”だ。街路樹やその花壇も管理している人々をもっと讃えていい。あたりまえのことではないということを強くアピールしてよい。	男性	40代	
住宅	公営住宅	公営住宅は、本当に収入が少なめで生活がきびしい人を優先してほしい。抽選は全然当たらないし、そこまで収入が少なくなく、生活に余裕がある人が結構住んでるのは、ちょっと違うと思う。/権利を与える前に除外の方をきびしくすべき。又、本人の申告が正しいかもよりきびしく見るべきだと思う。/コネ等で優先的に入居できるという事に対し不満です。	3	女性	29歳未満 ほか
		町営住宅を増やしてほしい。	2	男性	40代ほか
		ここの町営住宅、地デジ写りません。早急になんとかして。		男性	30代
		古い住宅を直しながら安い家賃で入れてもらっていますが、安い年金で直すのが大変なので考えてほしい。		女性	70歳以上
		公住の増設により人口の増加		女性	50代
		小・中学校の定員数に極端なバラツキが生じないように等、将来的なことも考えた上で、宅地造成をすべき。		女性	50代
		駐車場の維持費だと言って公営住宅の駐車場代を徴収しているが、なにもしていない。何もする気がないのなら、やめていただきたい。		男性	30代
		町営住宅等をもっと高くすべき(民間と同レベル)入る人も入らない人にも不満がないと思う。		男性	30代
	宅地	厳しい財政状況や少子高齢化等で今までの人口増は望めないが可能な限り積極政策を進めるべき。いったん人口減少に入ると歯止めがきかない。コンパクトシティは理想だが、うまくいかない。(積極的な宅地政策を)		男性	60代
		終の棲家を求めて、店が近いこの地を選んで家を建てて移り住みましたが、予定地に店は建ちませんでした。民間の区画整理事業とはいえ、行政が責任を持って代替策を講ずるべき。		男性	60代
土地の住宅規制がある所の開放。まだ住宅への関心はあり町民増加にはなると思うが、長くは続かないと思うので早期決定が望まれる。			女性	30代	
教員住宅	空いている教員住宅を、一般の人にも賃貸すれば良いと思う。収入にもなる		女性	30代	
マンション	マンション等の駐車場の不備が目立つ。1家に車が2台所持する時代に、その分の駐車場を確保しない建設が多い。路上や歩道の駐車により、子どもやお年寄りの安全や除雪の障害になっており指導を。		男性	50代	
上下水道	上下水道料金が低い。/水道代が他の地域より、基本料金が低いので、見直ししてほしい	5	男性	50代ほか	
除雪	マンホールの位置をそろえてほしい		男性	29歳未満	
	除雪がおそい/せめて通学時間前に歩道の除雪をして下さい	4	女性	30代ほか	
	除雪時の各戸出入口をふさぐ除雪の仕方の改善(帯広では本除雪のあとに小型ショベルが出入口の除雪を行っているところもある。/除雪車が各家庭の玄関前に置いていく雪を各家庭が処理するのは大変。	2	男性	60代ほか	
	除排雪する機械1式を導入する。行政改革で除雪はすべて借上げで行っているようであるが放置されていて、危険を感じる場がある。町が最小限の機械を持って、作業を直やれば危険が大巾に減少すると思うが		男性	60代	
	冬の除雪は余りにも粗末です。怪我をしてからでは遅いです。多くの人を動員しても高雪は捨て見通しのきくようにすべきです		女性	70歳以上	
	歩道も除雪してください		女性	30代	
	宝来大橋はロードヒーティングになっていないため、冬の間は凍結して、非常に危ない。登下校時、車輛がつっこんできた時に守るべきものがなく子どもたちの命にかかわる。ぜひ対策を		女性	40代	
道路	高層建築物の制限。道路の凍結による経済ロスをなくす		男性	40代	
	メイン道路二車線化が重要。/2車線なら2車線、1車線なら1車線にしてほしい	9	男性	29歳未満 ほか	
	道路の整備	5	男性	60代ほか	
	舗装道路の補修		男性	70歳以上	

		音更本町の道路を広げた目的が分からない	女性	60代
		交通量の多い道路には早くアスファルトにしてほしい(道路整備)	女性	60代
		国道が交通量が多いのに道幅がせまく渋滞するので何とかしてほしい	女性	50代
		道路があまりにも荒れている。子供が自転車にのったり、走り回ったりするときかなり危険です。マンホールもとびだしていて、真っすぐ車で走れません	女性	29歳未満
		道路の側溝設置/道路を作る時、排水の流れを良く注意すべき	2	男性 70歳以上 ほか
		道路の横継を増やしてほしい	男性	60代
	歩道	車イス、乳母車で歩道での散歩なども最悪です。ガタガタデコボコデコボコで見なおして下さい。/車優先というか歩道のいたみ、冬期間の除雪等歩く者に対しては優しさを感じません	2	女性 50代ほか
バス		交通の便が悪い。(バスがない)/バスの便利が悪く不便な所に住んでいる。週に2~3回でも運行してもらいたい。施設めぐり等利用したくても行く事もきない。/車を持たないバス利用者を優遇してほしい	5	女性 60代ほか
		交通機関が少ないので車のない子供等は必ず親がかりになり、不自由に思う。バス停に待ち合い所の小屋等をたてて、バス等利用できる環境がほしいと思う。通学に関しても不便そうで、何とかならないのかと感じる。商業は帯広に流れてしま気がする。		女性 40代
		コミュニティバスの情報が不足している。町のHPでは閲覧できますが、広報紙では今までありません。せめて、年に一度ぐらい、利用の仕方、路線図など必要。バスを利用する人はHPを見るのが少ない		女性 50代
		バスはノンステップバスを導入していく		男性 29歳未満
		乗客が席に着くまで発車するのを待っていて下さるバスの運転手がいる。そのような心づかいをして下さる方がたくさんいるととても嬉しい		女性 29歳未満
	ルート	夏は遊ぶ所がたくさんあるが、冬はボスフルや長崎屋などしかなく、小さい子供がいると、特に冬が大変な所だと感じています。住みやすい町だとは思いますが、車がないと、とても大変(不便)な町です		女性 30代
		文化センターの通りには医療関係が沢山あり、みなさん利用する病院も多いので、100円バスを通してほしい		女性 70歳以上
		銀行までのバスの便が必要(緑陽台から国道に出る本数をふやして)		男性 60代
		町のバスが他の民間のバスが有る所を運行する必要はない。高高齢者の事を知る事が大事		女性 50代
		鈴蘭高台地区は、交通の便が悪く、高令で、車のない方には不自由な面があるので、コミバス等の細やかな配置が必要と思う。		女性 50代
	柳町から木野支所やハピオに100円バスで。		女性 70歳以上	
景観		華美な看板や建物の高さ等を制限する条例づくり。		男性 50代
サイン		音更町内にある公共施設のカンバンが小さくて白っぽくてわかりづらいと思います。たとえば、宝来のトンネルのあたり、緑南中とトンネルの間の小道にあります。あれは見落とすと思います。		女性 30代
商業		町内に大きいショッピングセンターを誘致する(道東最大級のもの)/本州資本による大型ショッピングモールの誘致	2	女性 30代ほか
		アウトレットの大きな店があれば、観光をかねて来てくれるような気がする。		女性 40代
		ひびき野地区にスーパーを誘致してほしい。いちまるの予定を見込んで家を建てましたが残念です。		男性 30代
		音更高校の近くには店が一つもなく学生がかわいそう。駒場駅前の店でカップラーメンを買い店からお湯をもらい店先で食べている子を何度かみた		女性 70歳以上
		音更ならではの店がもっとあると良い。チェーン店ではなくて個性のある店		女性 30代
		宝来も住宅が多くなって来たのでスーパーが欲しい		女性 29歳未満
		雄飛が丘には金融関係や商店が設けられていいのではないのでしょうか。街の発展において考えるべき課題である		女性 70歳以上
		食堂がどこもうまくない		男性 29歳未満
	音更だけの地域商品券を出し活気ある商店街を作る事		女性 50代	

市街地		音更本通の活気をどうとり戻すか/街の空洞化をなくす/本町が淋しく感じるので大型店とか病院があれば/商業施設等が増えたら働く場も増え、活気が出て住みたいと思う町になる/帯広に出なくても十分な位の市街地の発展/外観だけきれいにしてもあまり意味がない	13	男性	70歳以上 ほか	
		活気のある本町になる何かイベントがあるといい/大通の賑わいを少しでも戻せる様に農産物の販売会を定期的に大段的に催すなどイベントで集客してほしい/部外者には、本町の場所が不明な事が多いのでコミュニティやイベントを考えられないか	3	女性	60代ほか	
		どうして若い世代を取りこんだ町の再生を検討しないのか?集客力のあるチェーンストアの導入や、若い人々がくるようなおいしい食べ物が並ぶ街などやれることはまだたくさんあるのでは。商工会の考えだけでなく、具体的にモニタリングしては/職員、議員など率先して町内を利用して活気あふれる町づくりをしてほしい	2	女性	70歳以上 ほか	
		プロSPAに信金が入って、町の寂しさは少しだけ無くなった気が、まだまだ活気が無い	2	女性	29歳未満 ほか	
		音更本町と木野市街を住宅(マンション等)商店(スーパー等)或いは工場(大、小に限らず)等で繋ぐこと		男性	70歳以上	
		本町周辺の商業活性化として、大型総合(マルチ)商業、施設を一体化。プロSPAの件は中途半端だったと考えます		男性	50代	
		住宅地が分散しています。20年50年後どのように既存の住宅地が変化していくか、まちづくりへの悪影響が心配です		男性	50代	
		商業ゾーンは大型流通店で占められている。商店街は壊滅状態。商業ゾーンを集約整備する		男性	40代	
		人口だけが増加して、街の型が出来ていないと思います。街の中心がどこかわかりません。人が歩ける活力のある街づくりを		女性	60代	
		町の中にスーパーが農協だけなのは不便		女性	50代	
		特産センター、直売所、道の駅周辺を活気のあるセンターにする。		男性	60代	
		木野地区の都市計画を徹底してほしい。帯広からの玄関口があまりにもひどいです		男性	60代	
農業		温暖化、人口増による食糧難が予測されており、農業は重要性が増すので力を注ぐことが良い/音更の基幹産業は農業。農業が元気でないと/音更町が食糧生産地として果たすべき役割は重要/農業についてはなんらかの支援がこれからは必要/輸入をせず、野菜とか、お肉とか、自分のところで作って売る、そんな事ができるようになれないか	6	男性	30代ほか	
		生産から食品加工、流通、消費と一貫した流れを作り出すことが必要/農産物の2次3次産業を促進させ町民雇用の場を作る/基本となる作物の育成、関連産業の振興、人が集まる仕掛け、人の心に触れ合うような仕掛け・情報発信の充実。そのために研究・開発・応用技術の展開、それら実現に必要な施設の充実(例えば研究施設・設備)、ブランド商品の発掘	3	女性	60代ほか	
		農作物は、オトフケブランドを確立できるよう研究が必要/ブロッコリーやしいたけはとても美味しい。豆類も町営で加工場を設立してブランド化できないか/白いトウキビ、白い小豆、チヂミホウレンソウなど	3	男性	50代ほか	
		音更の野菜市場を設置すれば関心は高い。点在ではなく、大きく一箇所、三菱跡地など	2	女性	30代ほか	
		町有地(遊休地)を安価で町民に貸し出して畑作りなどさせるべき。農地も安く借り町民に貸し出し家庭菜園、町民農場を作る事。/農業技術関係を退職した人に指導してもらおう体制を考える。	2	男性	60代ほか	
		安心・安全な農作物や畜産物の供給が前提条件。農薬に頼り異臭発生等や環境をないがしろにする経営に対しては補助をしない等の対応が必要		男性	50代	
		音更出身者からホームレスを出さない為にも農産物の自給率を高め、加工製品の工場等を考えるべき		女性	70歳以上	
		音更町は肥沃な、土地や自然が沢山ある。それらを利用して生産に力を入れてほしい		男性	60代	
		商品化されない野菜を販売するなど今一度、見直す時代になっている		女性	50代	
	基盤		干ばつの対策(農地に対して)		男性	30代
			石礫除去の95%補助事業を実施してほしい		男性	
			土地作りのための助成(肥料、農薬、資材等の助成)		男性	

PR		十勝のじゃがいもは本州でおいしいと言われる	男性	50代	
		安心・安全な地産の農作物を安く購入でき、PRに力をそそぎ、音更町の魅力を町外にも高める努力を。中高年女性のパワー知恵を利用すべし	女性	50代	
		全国区になるような農作物の開発やPR	男性	30代	
産業		十勝川温泉が音更にあると知っている（強く認識している）人は少ないのでは？イベントでの支援は認めるが、町として本気で取り組んでいる姿勢は伝わらず当事者任せの感じを受ける。温泉と農業を核に産業連携の体系を真剣に考える	男性	40代	
		住宅ばかりでなく、産業商業の発展にも力を入れてほしい。ただし、工業は人の少ないところのほうが向いているので、音更ではやめてほしい。	男性	60代	
		農業と観光の町である音更町の良い所をもっとPRしてほしい。地元でとれた旬のおいしさを伝える料理の案内を広報に載せたり町民が町民で良かったと思えるような待遇があったりするの町民の人口増加のカギになるのでは？衣・食・住を充実させて町の発展へと工夫してほしい	女性	40代	
		農業と商業の両方が充実するのが、理想的ですね	男性	30代	
企業	誘致	企業を誘致をして若い人達が安心して生活できるまちづくりを/企業を支援することでおのずと人口も維持できる/大工場（外国に輸出出来る様な製品を造る）の誘致。製品は広尾港を充実して輸出する	8	女性	60代ほか
		新しい起業を支えていく		男性	60代
		ギョウザで成功している所もある。町ではそういう企業を育ててほしい		男性	60代
		農家レストラン開店支援。（農畜産物の自由化により町の農畜産物に付加価値をつける）		女性	60代
		企業には労働基準に反している会社がある見直して欲しい			
		夏はそう暑くない、冬は雪が少なく、日照時間が長いという気候、豊富な水資源、広大な土地、空港も近く高速道路も通っている。これらは、いわゆるハイテク産業にとって有利な条件。ハイテク産業の誘致、振興に重点的に取り組む事が大事		男性	60代
	IC工業団地があまりにも淋しい		女性	50代	
PR	施設を建てるより、よつ葉や柳月など町内にある大きな企業をPRする		女性	29歳未満	
観光		十勝川温泉が古くて暗いので町が力を貸してもり上げて、恥かしくない温泉街にする/外歩いても楽しい場所、もう1度行きたくなる様な観光地を/浴衣姿、下駄ばきで歩く温泉客が行き交う街に。娯楽施設や土産店が数軒あると良い/美人の湯をもっとアピール/せっかくICがあるので都心から誘客できるのでは/近隣市町村との協力しあう取組みも必要	9	女性	50代ほか
		温泉券を町民全員に。町の活性につながる。立派な資源を皆でもりあげて十勝川をPRしてお金を落としてもらい/入浴割引などのサービスがあっても良い/特別割引などの制度があるとうれしい/音更町民全ての人に温泉（十勝川）入浴料を無料にして欲しい	6	女性	50代ほか
		もっと観光できる場所があるといい。目印になるものが今はない/十勝川温泉くらいしか思い付きません	3	女性	29歳未満ほか
		コミュニティバスを夜間利用して、ばんばのナイター時期だけ十勝川温泉から運転手のみで観光してはどうか		男性	50代
		各ホテルの温泉を巡るなどの湯めぐり券、料理も特にデザートを重点的にし、小豆スイーツの食べ放題など		女性	30代
		観光地と観光客の受け入れ体制の充実		男性	30代
		十勝川温泉から歩いて行けるとところに運動施設公園、散歩コース（今は一体化していない）を		女性	50代
		町の景観、道路に花をいっぱい植えたり、なにか魅力のある観光客がおとずれても印象の残る音更町であってほしい		女性	50代
		農業体験で観光客を呼んでも面白い		男性	50代
	高所作業車の案は電車のタワー最上階から大津まで見えると言う		男性	50代	
	PR	全国の人に“音更”を知ってもらおう。温泉と野菜をアピール		女性	40代
	音更町と聞いてまず浮かぶのは農業と温泉。農産物のブランド化（川西のながいもとかのような）やPR、音更町産の商品などに重点を		女性	40代	
バリアフリー	障害者用の温泉宿を。もしあるならば広報にでもお知らせ願いたい		女性	70歳以上	

イベント	祭り事を増やす/十勝川でのイベントを増やす/町主体のイベントがないので町全体をアピールできる場が少ない	4	男性	29歳未満 ほか
	産業祭りの復活/町民参加ゲーム餅まきカラオケ大会	3	女性	30代
	温泉街でのイベントを提供。/十勝川温泉に活気がなすぎ。人を集めるイベント、店等があるといい	2	女性	60代ほか
	農業関係や個人でのフリーマーケット/エコパークや鈴蘭公園などでフリーマーケットやイベント(朝市など)をもっとしては	2	女性	29歳未満 ほか
	音更町ビンゴ大会を開いて音更町活性化させる		男性	29歳未満
	町の活性化のためにスポーツ大会の実施。特産物などのイベント		女性	30代
特産品	音更の特産品の強化。音更には魅力がない。町全体に活気がなく、取りくみもみられない		女性	30代
	名産の知名度がうすい		男性	29歳未満
	企業と組んで特産品を使って、音更を全国に売りだすようなお菓子等を。		女性	30代
	東京のデパートなどの“北海道フェア”等に手頃な値段で“よつ葉乳業(牛乳)”を出展する。じゃが芋などもフェアに出せると思う。		女性	29歳未満
	いちご狩り、ウイナー作り体験のできる農協の施設を作ってもらおう。		女性	40代
	音更町の食堂一覧マップの作成、食堂の特徴も入っているもの		女性	40代
	町民バスツアー工場見学 トーフ 野菜農家 玉子生産者 生産者との交流会～地産地消できるメニュー紹介。		女性	40代
	農産物と山野の鹿熊の肉を日本の名のある料理人をいく人も招いて音更の味を作る。		男性	70歳以上
町の特産品をもう少し多くの人に宣伝等キャンペーンをしたらどうか		男性	60代	
道の駅	施設をもう少し充実させる/魅力を/入りやすく/駐車場の拡大	15	男性	50代ほか
	十勝川温泉のそばに道の駅があれば多くの観光客が立ち寄って、音更町も活性化されると思います。(道内・道外にPRできる)		女性	30代
	道の駅でのイベント開催を増やす。売店の商品を多様化する(音更といえばこれみたいなのが今いち弱い)		男性	30代
雇用の場	音更町の発展のため企業誘致、働く場の確保/若い人が安心して働ける環境/農業はもちろん大事だが、これのみでは頭打ち。他の産業の振興を	11	女性	50代ほか
	子どもが保育園にいつている間少し(日中)働いて収入を得ることができるよう働きやすい環境の職場が多くなれば音更町全体経済的にもUPするのは		女性	30代
	若い人が働きたいと思う場所がもっと増えるといい		女性	50代
	リサイクル施設を増せないものだろうか。年寄・障害者・主婦の働きの場が増えるのでは?		女性	50代
	職場があること、衣食住の確保ができなければ、人はその地にとどまろうとは思いません。働ける環境を作ることが重要です。働き続けられる環境を作ってください。そのために何が必要か考えて下さい		女性	29歳未満
	内職の紹介を		女性	30代
	音更町の農作物は素晴らしいので、若者が農業に関心をもって働ける場所を提供し、若い人口を増やすと共に、若者の楽しい遊びも出来る場所を増やしていくと活性化につながると思う		女性	50代
広報	情報の提供が少ない。聞かなければおしえてくれない。(農政関係、福祉関係など全部)/町の様々な情報を伝えてほしい。	2	男性	40代ほか
	今秋音更に引越して来たが、いまだ「どこに何があるか」わからない。詳しい地図が欲しい。大まか地図はいらぬ。/新しく住む者に対して、町の特徴や魅力を紹介していただけるとうれしい	2	女性	30代ほか
	情報がわかりにくい。子育て支援も大切だけど、それ以前の妊娠や出産に対する支援も重要だと思う		女性	29歳未満
	2世帯住宅に対し町配布文書(書類)2部の配布		男性	60代
	音更町での、ボランティア活動、イベント行事に参加しやすくしてほしい。情報を出してほしい		女性	50代
	町が行っている“行政”を、今以上に町民に分りやすく情報発信して下さい		女性	60代

		厳しい財政状況について、わかりやすく広報などで知らせる。限られた財源を効果的に活用していかなければならないことを住民が考えられるようにする。まちづくりの情報を共有する		女性	50代
		町民への利用可能な制度の情報の周知		男性	29歳未満
	広報車	広報車は何を言っているのかわからず、騒音になるだけ。人命にかかわることの伝達は必要と思いますが、それ以外については、必要性を感じません		女性	40代
	広報紙	広報等をフリーペーパーの様に手軽に手にできるモノに。色々な意味で見ると損はないと思わせる内容にしてほしい		男性	30代
		情報をかなり気をつけてみないと、伝わってこない。問いの内容も自分の身の回りに関係ないものは良くわからない		女性	30代
		もっと読みやすく、見えやすく、楽しい広報を沢山出していただく事で、家にとじこもりの人達も少しずつ見るのが待ちどおしくなり、元気にもなり少しでも前向きな気持ちになってもらう事が大事		女性	60代
		ごみの出し方などが半年に1回くらい広報に出るのでとても参考になり、よく見て出しています		女性	30代
	HP	どういう行政サービスがあるのか、よくわからないけど、役場の人に聞くのもめんどろ。HPをもっと充実させて下さい		女性	30代
		音更町の法律（特に生活に関する事）をHP上で公開してほしい		男性	29歳未満
		討論（議会の）のHPへの掲載だが、見やすいし、要約されているのでいいです。でも何か足りないような。でも足りないのが何かは不明		男性	29歳未満
協働		町民が訪れやすい役場作りを/一般町民が気軽に出入り出来る庁舎の雰囲気にして、職員の方から声かけする様に/役場の雰囲気が暗い	3	男性	29歳未満 ほか
		多くの人の意見が町政に活かされます様に/地域住民の声を聞く努力を	2	女性	50代ほか
		アイデアあっても言える場合等がない		男性	40代
		コールセンター化をし緊急により対応する		男性	60代
		ワークショップなどに職員がボランティアで町民として参加して、どのようにすべきか考える		男性	50代
		広報の中に、意見等のはがきが入っていて、意見する機会があったり、直接電話対応もして、意見を言わせてもらいましたが、返答がなく、はっきりした対応がしてくれなかった事は残念。このアンケートの結果も、できれば、知りたい		女性	40代
		町づくりの話合いや町長さんの話し合いは子育て中では時間的にむづかしい事が多いです。できれば、託児をもうけたり、保育園、支援センターなどで昼に行くなど、参加しやすい環境も配慮してほしい		女性	30代
		町政へ支援したらポイント、貯まれば温泉とすると人は動きやすい		女性	30代
		町内会会長の懇談会等で色々な意見を何かの方法で公開する		男性	60代
		町民参加型の事業の拡大（公園などの環境整備など）		男性	40代
		特定の一部の人が多分野に顔を出しているが、多くの人が町づくりに無関心になっていく。隠れた人々の声を聞くことも大切にする姿勢が必要		男性	70歳以上
		未来の音更を担う子どもがいろいろ参画していく社会を。特に学校や教育、子育て全般にわたり子どもに関わることは子どもからも意見を聞くべき。子どもたちが安心して暮らせる社会は大人にとってもよい環境である		男性	30代
		中核をなす働き盛りの多くの職場は帯広市にあり、行政のほとんどに関心を持たない現実をどう受け取止めていますか		女性	50代
行政サービス	手続き	何でも手続きは簡単にわかりやすく		女性	30代
		何年前か脳ドックの申し込みに保健センターまで出かけたが、車以外では不便。木野支所でも対応できるように望む		男性	50代
	対応	不誠実な対応をする窓口が多い/役場の人には明るく、優しく対応してほしい/何でもしゃくし定規にするのではなく町民の立場に立って言葉を発して欲しい/説明不足の職員の窓口業務からの撤退/接遇教育の充実リスクマネジメントの取り組み	6	女性	29歳未満
		窓口業務の時間延長などのサービス提供についても考える/時間の延長や日祭日のサービスを充実してほしい	2	女性	50代ほか
		転入届時、他市町村では親切に対応しています		男性	40代

		結果について後日でもいい物は後にし、急ぎの物をすれば、手控で対応する		男性	60代
		町政業務のサービス品質の向上		男性	60代
		税金、公共料金をクレジットカードとかコンビニエンスストアとかで払えるようにして下さい。滞納率改善にもつながると思います		女性	30代
行政運営	負担	ある程度利用者が負担すべきものはやむをえないと思う(救急車、施設など)個人的の場合、又は特定者のみ徴集する		女性	60代
		音更町民として生活していますが、本町へ向かうことは通年を考えてもほぼありません。核である行政の施設がある場所の良否は現実的な事を考えてもすぐに解決できることではないと思いますが、町の象徴である役場のイメージを変えることは音更町自体のイメージを変える事になる		男性	30代
		真面目に税金を払っている人と(払えるのに)全然払っていない人が同じ町のサービスを受ける事はおかしい		女性	50代
	不正	偽装離婚して不正に手当を受給している人がたくさんいる/不当に生活保護や障害者年金を受けている人が何人もいる/税金や給食費など納めるべきお金を悪質に滞納していると思われる人からはきちんと払ってもらおう	4	女性	30代ほか
	団体	どのような助成金、各種委員会があるか分らないが、大胆に見直し、廃止、統合等を行うべきである/各種団体等に無駄な支援をしない	2	男性	60代ほか
	組織	内部コミュニケーションの不足(縦割り体制)/役場内での横の連携が全々見られない(役場と農協も)	2	男性	40代ほか
		部署の統合化をする。/役場の各部署の人員配置を見直す	2	男性	60代ほか
		各部署で様々な取り組みをしているが、それぞれでなく、一つのネットワークとして動けていけるシステムづくり		女性	40代
		責任及び権限の明確化(現在の体制では誰が責任者なのか不明)		男性	60代
	節約・削減	アイデアや提案よりも無駄をなくしてい		女性	40代
		財政事情が厳しい折、無駄のない財政支出を		男性	60代
		音更町は本町と木野地区にと重要な施設あったり遠かったりする印象があります。いろいろな面でムダをなくす事も重要。		女性	40代
		現在行われていることで、本当に必要か、無くてもよいものかをまず検討する必要があるのではないのでしょうか		女性	40代
		効率的行政の為、無能な職員の排除		男性	60代
		無駄の経費を節約し、税金の滞納ない様努力してほしい		男性	70歳以上
		取りあえずムダなものをなくし、周りの町民の声をもっとアンケートなどにして、周りからモノを見ていくことが大事だと思う		男性	29歳未満
		道路の下に色々な設備を埋め込む時、先の先を読んで、何回も、道路を掘りおこさない様に、ムダな経費を使わない		男性	60代
		必要最低の新しい事業にとどめる。学校上下水道など新住宅地などに限定して作る		男性	70歳以上
		助成金目当てに無理な道路整備などやめていただきたい		女性	30代
		施設の中で、使用数の少ないものについては見直し、廃止すべきである。		男性	50代
		陸上競技場はいらない		女性	29歳未満
		人件費の削減/町長を含む全職員の賃金カット/人件費を削減する事が困難な経費と云う概念を捨て、具体的な数字を/何のために町民が納税しているのかよく考えてほしい/遊んでいる人に給料を支払うのはおかしい。退職金まで町の裏金が使われていると税金を払うのがバカバカしくなる	8	男性	70歳以上ほか
		町民の生活水準に合った職員給与等の改善/残業手当の廃止/地域手当の廃止	4	男性	70歳以上ほか
	職員の手当、研修費、職員の旅行費などの使われ方を考えてほしい		女性	60代	
	税金	税金を減らしてほしい。今は何にお金が使われているか不明でムダ使いされている気になってしまう/町民税を減税して活性化する	2	女性	29歳未満ほか
		町民税が他町村とくらべて高過ぎる		女性	60代
	職員	一般企業、民間企業への職員の派遣をし仕事の大変さを、勉強してほしい。/民間企業で研修を受けてみてはどうでしょう	2	女性	60代ほか
		従事する職員の資質・認識の向上/民間なら2~3人でできることを5、6人でやっていた。民間のペースで仕事をして欲しい	2	男性	60代ほか

	パソコンの各課における、インターネットの使用規制。遊んでいるようにしか見れないし、仕事をしているように思えない		男性	50代
	若い職員の育成（元気がない、生意気）		男性	50代
	職員一人一人、熱意をもって、それぞれの責任のある人間らしく接して業務にあたってほしい。人と人のつながりをわすれないうで、思いやりのある態度で接してもらいたい		男性	30代
	役場職員の先一年間に向けての希望レポートを提出させ評価する。		男性	60代
施設管理	箱物は要らない。/現在ある建物を大事に使い修善しながらでも使えば良い。/大きな箱物はやめて、町民がつながれる機能的なものを	3	男性	60代ほか
	箱物は必要最低限にして、管理運営の民営化の徹底化		男性	60代
	サンドームの夜の部分で以前3人の指導員体制が管理者になってからくずれ、企業が行うフィットネスが主流になった事は問題		男性	50代
	後年度負担をとまなう施設や事業はやめる。帯広市のスケートリンク場は良い例。音更町の場合でも、町営プールは果して必要であったか、維持管理・人件費に対する収入を考えると共に学校プールの開放で十分でなかったか。スイミングスクールも帯広市にあることも考えると		男性	70歳以上
	公共施設の耐震問題解決		男性	29歳未満
	公共施設の民間委託が進んでいるが、その結果として施設の状況はどうなっているか検証を(総合体育館の床テープは足に引っかかり危険です)		男性	60代
	公立の施設で一番景色の良い場所を事務所として使用しているが、民間に貸し出し(喫茶ルーム等)収益を上げる工夫をするべきでは。図書館の事務所も、レストラン等で充分営業できそうだが		女性	50代
雇用	今だに町職員の天下りがあるのはどう云う事か/関連施設等の再就職反対	3	女性	60代ほか
	音更町職員も定年60歳をむかえたら、きっぱりと切りをつけ、世代交替に若い職員を育ててほしい/役場の職員は55才になったら退職させ60才まで嘱託扱いにし、その分町内の若者を増やす	2	男性	60代
	縁故採用の根絶(明確化)		男性	50代
	臨時職員の採用基準についての見直し。定数を少くし働ける人を。公募は名目ばかりと聞いている		女性	60代
広域	帯広市・音更町・芽室町・幕別町の合併/帯広市との合併/最低必要なものだけで再立上げしないと、もう税負担できる状況にない。/音更町、土幌町、池田町で5万人はオーバーします	5	男性	70歳以上ほか
	音更町単独ですべて完結するのではなく、もっと近隣市町村と手をつないでもの事を進めていってほしい/近隣市町村との連携を考える	2	男性	40代ほか
計画	人口推計がむずかしい中ではあるが、わかりやすい具体性のある計画を		男性	60代
	3ヶ年の実施計画を総合計画としてもいいのでは?その時にマッチした計画を立てる事が大切では?新町長の意向がかなり反映される計画となるよう、既存にとらわれないものを期待します		男性	50代
委託	補助金を出してでも民営化してはどうか。/行政が直接進めるよりも、町民、団体側に移し、そのための体制整備、資金、環境づくりの支援を行政の主任務としていく。職員はそのための優れたコーディネーターに徹すべし(生涯学習、文化、スポーツ、青少年健全育成事業など)	2	男性	70歳以上ほか
	委託事業などは、町外の企業ではなく、町内の企業に委託すべき。町内の企業が元気がないと意味がない。もっと町内の企業を大切にすべき		男性	60代
リーダーシップ	まずは町長が「こんな町にしたい」というリーダーシップ、情熱を示すことから始まるのでは/リーダーシップ(町長及び部署長)の不足	2	男性	40代ほか
	木野支所を町政の中心にしては		男性	40代
	この不景気な時に、民間企業がボーナスの削減をしている時に公務員にボーナスが出るのはおかしい。国としてもう一度考えなおしてほしい。余計な人員の削減は早急におし進めていただきたい。それだけでも町は活性化すると思う		男性	30代
	何よりも住民(町民)に暖かい行政で有る事が第一と考える		男性	60代
	本腰でまちづくりを考えてほしい		女性	70歳以上
	国で行っている運営方針ではなく、もっと国民に目を向けた運営を		女性	40代

		今の世相を良く十分認識し、行政改革を進めて無駄を無くし効率的な行政を進めてほしい		女性	60代
		出来る限り人を育て、本町の出来る或はある資源を使って負荷価値を高め本町の収入が増える様な事業展開が望ましい		女性	60代
		自分達が安楽な生活を守ることに汲々とするのではなく、子供達の生きる道を作るべき		男性	50代
		予算を使いきってしまわず年によって変動のある支出については、余った分を貯金して置いた方がよい		女性	50代
		住民にとって本当に住みやすい、安心して生活していける最低ラインを保てるような、適正なサービスをつくっていくのはとても大切		女性	30代
		少子高齢化社会の中で、今後人口減少が想定される中、限られた財政の中で、住民ニーズに応えることは困難であり、集中と選択による、財政運営が求められており、財政の健全化無くして町の発展は望めない		男性	60代
		職員の適性配置は大切であるが、必要以上の削減により住民サービスが行き届かなくなるとは困る。必要職員数は確保を		男性	60代
		職員一人一人が意識改革をし賃金に見合った仕事をするべき		女性	50代
		町民に各種、各場所の職員達を点数着けでもしてやる気を促したい		女性	50代
		町全体の交平な町政（例 町内会により除雪、排雪の違い）		男性	60代
		町長宅の廃止。町長は窓口業務をすべき。その空き時間に、議会对策や、事業に必要な否かの対応をしてほしい		男性	50代
		財政の方はだいじょうぶですか		女性	50代
		固定資産税の資産割分の課税もれは町の責任なのに、責任者の減給など具体的な責任をとらずあいまいなまま。責任を明確にし減俸・減給を		女性	60代
		調整地域の市街地地域への早期移行、及び下水道施設の拡充		女性	60代
		超低金利融資の斡旋（町制度）		男性	29歳未満
		十勝川温泉地域での水道料未払い、固定資産税の減額、保健料の未精求問題など信じがたい処理に驚いた。音更町の施策は町民の民意にあわせているのかと、腹立たしい。行政の質の向上を		女性	60代
議会		町議員の削減（定数を減らす）/議員の数も少なくして活動を分かりやすくしてほしい/日払い、ボランティアといった見直しが必要	6	女性	50代ほか
		議員の報酬の見直し。実質労働と支給額が折りあっていない	4	男性	70歳以上ほか
		他町議員同志の交流はあるのか？町民の事を第一に考えて欲しい		女性	30代
		広報を読んでいるが、一度も発言しない議員は、必要あるのでしょうか		女性	30代
		議会議員の評価システム導入			
		町議員の町内会への参加が消極的。町民と一体になって町内会活動を		男性	60代
		町議会の密室会議はやめてほしい。 仕事をしていないように思われる		男性	50代
ひとづくり		開かれた議会づくりのため、夕刻がらや平日以外日に開会し町民の傍聴の機会を増やし町政に対する関心の高揚を図るべきでは		女性	70歳以上
		おらが町の意識を共有できる人材育成を永続的に実施できる環境作り。人材育成には、数十年の月日が掛かる。行政側もこころと職員を変えると人材育成がたたれる		男性	50代
全体		全国的に活性のある町村などは、リーダー的な人物がいると思います。リーダー的人材の育成も必要と思います		男性	50代
		子供やお年寄が明るく笑顔のある安心してすごす事が出来るまち作りを/笑顔で町民が暮らせる社会を/少子・高齢化に向けての対策を	5	女性	60代ほか
		住みやすい音更町にして欲しい	3	男性	30代ほか
		人と人が支え合って生活しているということが実感できるような町づくりを。あえて面倒なことにかかわっていくことで暖かい町ができていくのでは。あくまで住民中心の町を/みんなが楽しくなるような暖かいまちづくりを/今後はソフトの面でサービスや、きめ細かさが大事	3	女性	29歳未満ほか
		2035年に人口が増加するのは音更と東神楽のみ。人口が減らないためには教育と安全に力を入れる。「音更に住むとよい高校、大学に行きやすい」「人口の流入」		女性	30代
	お年寄りを大切にしながら、若者が永住できるまちづくり		男性	60代	

	これだけの人口がいる町の割には、学校・保育所・図書館など子ども達・働く親に関わる施設設備が不十分。もっと教育・文化・福祉にもお金を	女性	40代	
	まちを明るくきれいにして下さい	女性	40代	
	音更町の特色をPRし、全国的認知度を高める工夫と特色づくりを	男性	50代	
	皆々様が安心してすめる町づくりを進めてほしい	男性	50代	
	きれいで住みやすいが心が通っていないという思いもある。お金はなくても町民どうしがつながっていただける町、みんなで工夫して盛り上げていける町に。上意下達のを考え方をやめて、役場のことは職員に、学校のことは教員に、農業のことは農家に、もっと意見を聞くシステムを	男性	30代	
	血の通った福祉政策が実行されるためにも、これ以上町が大きくならずに、身の丈に合った堅実な町政を望んでいます	女性	50代	
	高齢者が楽しんで安心して住める町づくり	男性	50代	
	生死をさ迷う町民の叫び声を聞き取るよう努力し、一町村としてできる最低限の対策をお願いしたい	男性	60代	
	特産品等はあるが知名度が低い。もっと国内外にアピールする。売上アップ。人が集まる。町税の増。町民に還元。そのためには町民教育を徹底。町民が広告塔、セールスマンとなる(子どもの頃から音更町の良さ、良いところを知ってもらおう)	男性	50代	
	町民にやさしいまち作りを	女性	30代	
	特色を出す(農業の町なのか、福祉のまちなのか、観光の町なのかなど)	男性	40代	
	本当に必要なことだけに取り組み、現状を維持していくことが必要。自給自足の生活をするのであれば、いざという時(災害等)に音更町に住んでいて良かったと思えるのでは	女性	30代	
	欲ばらず「ベッドタウンの町」として、より住みやすい環境づくり、例えば、公共料金が安いとか、犯罪が少ないとか、子どもを安心して外で遊ばせることができるとか、そういう所に力を入れてほしい	男性	30代	
その他	火葬場の改築は早期に推し進めていただきたい	男性	50代	
	内地の友人知人等にパーク・ゴルフ・ゆうゆう検診、文化活動等を話すと皆驚く。自信を持って、さらなる努力をお願いします	男性	70歳以上	
	音更町もいろいろな工夫でPRすれば人口も増えると思う	女性	60代	
	今はやりの音更キャラクターをつくる(公募する。ややもりあがる)	男性	30代	
	私が住んで居る所は、土地的に欠陥が有り、なかなか開発が進みません。人口も増えず子供達は皆出て、歳を取った人ばかり。活気が有りません。お蔭で犯罪は無くてその面では住み安いかも知れませんが、廻りにまだまだ土地が有るのでもっと、人口が増える様に成ると良いと思います	女性	60代	
	地名地番の枝番整備統合	男性	40代	
	中鈴蘭町内にあった旧療養所跡に道警誘致、音更高校移転など	男性	70歳以上	
	低所得者に近い中間所得者にも保障を充実して欲しい	女性	30代	
アンケート	たいへん良い取り組みだと思った/今回は普段考えないことを改めて考えることができとてもよかった/アンケートに問われている事は私にとっても考えさせられた/定期的にこのようなアンケートを取るべき/この事からももっと皆が行政に気が向くきっかけを働きかけるのも必要	6	女性	29歳未満 ほか
	転居して落ち着かなく、その中でアンケートと言われても難しい。/このアンケート少し読むのがむづかしいですね/もっと「やさしいことば」で質問をすることが大切。量も多すぎます	2	女性	40代ほか
	ぜひこのアンケートの結果や声を町民に知らせ、実現してほしい/このアンケートの結果を広報掲載を希望する	2	女性	40代ほか
	このアンケートに大きな意味があるとは思えない/こんな事に税金を使うのはやめてほしい	2	女性	29歳未満 ほか
	問に答えていくと、音更に住みながらも、町にあまり関心を持っていない事が分かった	2	女性	40代ほか
	具体策の提示がないままの住民からのアイデア募集のアンケートは、あまり意味がないように思えます		女性	40代
	このアンケートは子供が居ない方はあまり良く分からない事もある。		女性	29歳未満

4 アンケート票

音更町まちづくり町民アンケート 調査票

はじめに、回答される方についておたずねします。次の各項目【(オ)を除く】について、それぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

(ア) 性別	1. 男性 2. 女性
(イ) 年齢	1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70歳以上
(ウ) 出生地	1. 音更町で生まれ、ずっと音更町に住んでいる 2. 音更町で生まれ、その後町外に引っ越したが、再び音更町に住んでいる 3. 音更町外で生まれ、音更町に引っ越してきた
(エ) 職業	アルバイト・パート等の方も、仕事の業種で回答してください。 1. 農林漁業 2. 製造業・建設業 3. 商業・サービス業・金融業など 4. 公務・団体等勤務 5. その他の職業 6. 学生 7. 家事専業（主婦・主夫） 8. 無職
(オ) 居住行政区 (町内会)名	この欄に直接記入してください
(カ) 勤務地または 通学地	1. 音更町内 2. 帯広市 3. その他
(キ) 音更町での 居住年数	一度町外に転出して戻ってきた方は、これまでの合計年数で選んでください。 1. 5年未満 2. 5年以上 10年未満 3. 10年以上 20年未満 4. 20年以上

【問1】音更町での暮らしについて、各分野の【現在の「満足度」】と、【今後の「重要度」】をおたずねします。下の「満足度」と「重要度」の各選択肢（A～E）から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

項 目	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「満足度」「重要度」それぞれに をつけて下さい。 </div>
-----	--

満足度				
A	B	C	D	E
満足	やや満足	普通	やや不満	不満

重要度				
A	B	C	D	E
重要である	やや重要である	普通	あまり重要ではない	重要ではない

《記入例》

各種イベント

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

保健・医療・福祉について

1. 子育ての環境や支援
2. 健康づくりや病気の予防
3. 病院・診療所などの医療環境
4. 高齢者の自立支援
5. 障害者（児）の生活支援

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

生活環境や安全・安心について

6. 男女が等しく社会参加できる環境づくり
7. 町民ボランティア活動の育成・支援
8. 消費生活に関する情報提供や相談体制
9. 町内会活動などのコミュニティ活動
10. 交通安全への取り組み
11. 地域での防犯対策
12. 消防・救急体制
13. 自然災害などに対する防災体制

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

環境保全について

14. 自然環境の保全
15. 騒音・振動・悪臭などの公害防止
16. ごみの収集・リサイクル

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

教育・スポーツ・文化・国際交流などについて

17. 生涯学習の情報や機会の提供
18. 小・中学校の教育環境
19. 障害のある児童などの教育環境
20. 芸術文化活動の促進
21. 芸術文化施設の充実
22. 文化財や史跡の伝承保存
23. スポーツ活動の推進
24. スポーツ施設の充実
25. 青少年の健全育成
26. 国際交流・都市間交流

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E
A	B	C	D	E

項目	満足度					重要度				
	A 満足	B やや満足	C 普通	D やや不満	E 不満	A 重要である	B やや重要である	C 普通	D あまり重要ではない	E 重要ではない

都市環境や都市基盤の整備について

27. 公園や緑地の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
28. 公園や緑地の管理	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
29. 公営住宅環境の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
30. 上下水道の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
31. 道路や歩道の除排雪	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
32. 道路の整備	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
33. 道路の管理	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
34. バスの利用のしやすさ	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
35. 市街地の整備やまちの景観の向上	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E

産業の振興について

36. 日常の買い物環境	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
37. 中心市街地のにぎわいづくり	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
38. 農業の振興	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
39. 企業誘致や企業活動の支援	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
40. 観光地としての魅力づくり	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
41. 働く場の確保	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E

その他行政運営について

42. 広報誌やホームページなどの情報提供	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
43. 町民と行政の協働によるまちづくり体制	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
44. 窓口での対応や窓口サービスの提供	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E

上の全44項目の中で、今後のまちづくりの中で特に重要だと思う項目を優先順位の高いものから5つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

また、限られた予算の中で、どのようなことが実施できるか(すべきか)、具体的に考えられるものがあればご記入ください。

優先順位	番号(1~44)	特に実施すべきことがあればお書きください
1 番目		
2 番目		
3 番目		
4 番目		
5 番目		

【問2】総合的にみて、現在の音更町の住み良さはいかがですか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

1. 住み良い
2. どちらかといえば住み良い
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

【問3】これからも、音更町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

1. 今の場所に住み続けたい
2. 町内の別の場所に移りたい
3. 近くの市や町村に移りたい [例えば:]
4. 道内のどこかへ移りたい [例えば:]
5. 道外に移りたい [例えば:]

【問4】前問(問3)で、3～5に 印をつけられた方におたずねします。

町外に移りたいと思う主な理由はどのようなことですか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

1. 自分にあう仕事(職場)がないから(自分の力を発揮できる仕事をしたいから)
2. 商売や事業経営に不利だから。生計を保つ収入が得られないから
3. 勤務地や通学地が遠いから
4. 交通が不便だから
5. 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)
6. 災害や交通事故、犯罪などが不安だから
7. 騒音・振動・悪臭などの公害が多いから
8. 住宅環境が悪いから
9. 土地代・家賃が高いから
10. 医療や福祉面が不安だから
11. 進学や子育て環境など、子どもの教育上の問題から
12. 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから(今後不安だから)
13. 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから
14. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから
15. その他()

【問5】音更町の将来像としてどのような姿を望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に印をつけてください。

1. 美しい自然環境が豊かなまち
2. 活力ある産業のまち
3. 多くの人が訪れる観光・交流のまち
4. 便利で快適に暮らせるまち
5. 健康で安心して暮らせるまち
6. 教育・文化水準の高いまち
7. 町民同士がふれあい豊かに暮らすまち

【問6】音更町の産業振興について、特にどの分野に力を注ぐべきだとお考えでしょうか。次の中から2つまで選んで、番号に印をつけてください。

1. 農業の振興
2. 商業の振興
3. 既存の製造業や建設業の振興
4. 工場などの企業誘致
5. 福祉や情報、教育など新たな事業所の誘致、起業の支援
6. 観光・交流関連産業の振興
7. 地域物産や特産品などの開発・振興
8. その他 ()

【問7】音更町の基幹産業である農業を振興するために、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えでしょうか。次の中から3つまで選んで、番号に印をつけてください。

1. 土地基盤の整備
2. 農村部の環境や景観の向上、保全
3. 経営の合理化や近代化
4. 低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な食べ物づくり
5. 流通・販売対策の強化
6. 農畜産物のブランド化、製品開発など付加価値を高めるための取り組み
7. 観光・体験型農林業の育成
8. 後継者、農業労働力の確保、育成
9. 学校給食や飲食店等での地産地消（地元産を地元で消費する取り組み）
10. 農畜産物直売所など生産者と消費者が直接ふれあう環境の整備
11. その他 ()

【問8】音更町の基幹産業である農業とのかかわりを深めるために、どのようなことがしたい(できる)と思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

- | |
|---|
| 1. できるかぎり地元の農産物を食べたい(家族や友人に食べさせたい)
2. 地元の農産物を贈答品などで利用したり、町外にPRしたい
3. 農地を借りるなどして、自分で耕作したい
4. 自分の経験や技術を、音更町の農業振興に役立てたい
5. 農業のことを体験したり、学びたい(体験させたり、学ばせたい)
6. その他() |
|---|

【問9】行政運営(まちづくり)や町民参加に関する次の項目について、それぞれどのようにお考えですか。下の各選択肢(A~D)から、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、印をつけてください。

項 目	A そう 思っ つ	B や や 思っ つ	C あ ま り 思 わ な い	D そ う 思 わ な い
1. 音更町の行政活動(まちづくり)に関心がある	A	B	C	D
2. 音更町の行政活動(まちづくり)には町民の意向が反映されている	A	B	C	D
3. 音更町の行政活動(まちづくり)は、町民の意見を聞く機会が充実している	A	B	C	D
4. 音更町の行政活動(まちづくり)は、町民に対する情報提供が十分に行われている	A	B	C	D
5. 「町政声のポスト」やパブリックコメント(意見募集)などの機会を利用し、音更町の行政活動(まちづくり)に意見を述べたい	A	B	C	D
6. 審議会や町民会議など、音更町の行政活動(まちづくり)に意見を提言する機会に参加したい	A	B	C	D

【問12】町政（まちづくり）や地域に関する情報を伝える方法として、何を重視（充実）すべきと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に 印をつけてください。

- 1. 町の広報紙
- 2. 町のホームページ
- 3. 町内会を通じた回覧など
- 4. 新聞記事など
- 5. その他（)

【問13】町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容が欲しいと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

- 1. 町の政策や事業、予算などに関する情報
- 2. 各種制度の内容やそれを利用するための情報
- 3. 防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報
- 4. 健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報
- 5. 子育てや子どもの教育、健全育成に関する情報
- 6. ごみの減量化や省資源、リサイクル、環境保全に関する情報
- 7. 福祉に関する情報
- 8. 公共施設やその利用方法に関する情報
- 9. 生涯学習や文化・スポーツなどの各種講座・教室に関する情報
- 10. 町内の自然や歴史、名所などに関する情報
- 11. 町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報
- 12. ボランティア活動全般に関する情報
- 13. 国や北海道、周辺市町村に関する情報
- 14. その他（)

【問14】音更町では、毎月1回発行の「広報おとふけ」と町のホームページで、町に関する情報をお伝えしています。あなたは、それぞれ、どのぐらいご覧になりますか。次の中からそれぞれ1つずつ選んで、番号に 印をつけてください。

「広報おとふけ」について	音更町のホームページについて
<ul style="list-style-type: none"> 1. 毎月読んでいる 2. 必要・関心のある時だけ読んでいる 3. まったく読まない 4. 届かない、入手できない 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 週に2回以上 2. 週に1回ぐらい 3. 月に1～2回ぐらい 4. 年に数回 5. （見ることはできるが）見ない 6. ホームページを見ることができない

【問15】「広報おとふけ」とホームページについて、改善すべき点がありましたら、下の枠内にご記入ください。

--

【問16】地方自治体を取り巻く財政状況は依然として厳しく、今後も限られた財源をより効果的に配分・活用していくことが必要です。町でも経費の抑制や収入の確保に努めていますが、このような時代を迎え、これからの行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んで、番号に 印をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. サービスの受益者（サービスを受ける人）に一定の負担を求めるなどして収入を確保し、従前どおりのサービスの種類や水準を確保すべきである2. サービスの種類と水準を見直してサービスの重点化を図るべきである3. サービスの種類・水準が低下するのは仕方のないことである4. その他（） |
|--|

【問17】音更町の行政改革を進めるうえで、重点をおくべき項目は何だと思われますか。次の中から3つまで選んで、番号に 印をつけてください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 町民に分かりやすく、効率的な組織・機構づくり2. 職員の意識改革、能力向上（人材育成）3. 職員数の削減、人件費の抑制4. 町民参画による事業の検討、実施5. 行政評価の導入（費用対効果の分析、事前評価システムの導入など）6. 補助金などの整理、合理化7. 使用料、手数料などの受益者負担（利用者の費用負担）の適正化8. 各種事務事業や公共施設運営などの民間委託の推進9. 町有地や公共施設の整理、合理化、有効活用10. 窓口サービスの向上（申請、届出などの簡素化）11. 情報公開の推進12. 近隣市町村との連携強化と効果的・効率的な広域連携事務の推進13. その他（） |
|--|

【問18】 将来にわたり持続可能な行政運営（まちづくり）を進めるために、大胆な見直しも必要です。今後、音更町の現行の制度や施設、事業の廃止など、なくしても良いと思うものがあれば、具体的にご記入ください。

--

【問19】 最後に、今後のまちづくりにおける新たな取り組みや重点的に行うべき取り組み、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、下の枠内にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。同封の返信封筒に入れて、切手を貼らず、そのままポストに投函してください。